

平成 28 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

# 長野県の結果について

平成 29 年 3 月

長野県教育委員会事務局スポーツ課



しあわせ信州

# 目 次

## I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の名称	1
3	調査の対象及び調査校数・調査児童生徒数	1
4	調査事項	1
5	調査実施日	1

## II 実技に関する本県の調査結果の概要

1	平成 28 年度調査結果及び過去 7 回（平成 20 年度～平成 27 年度）の調査結果	2
2	体力合計点の分布状況と総合評価	3
3	各種目の結果	5

## III 種目別得点の分布状況及び平均点の年度推移

1	握力	7
2	上体起こし	8
3	長座体前屈	9
4	反復横とび	10
5	20mシャトルラン	11
6	50m走	12
7	立ち幅とび	13
8	ソフトボール・ハンドボール投げ	14

## IV 授業外における 1 週間の総運動時間

1	授業外における 1 週間の運動時間の前年度比及び全国比	15
2	授業外における 1 週間の運動時間と体力合計点総合評価との相関	17

## V 中学校の運動部活動

1	本県の運動部等の所属状況と総合評価との相関	19
2	部活動等の所属状況及び運動部加入率と体力合計点との相関	19
3	運動部活動への参加条件	20
4	指導内容や指導方法の充実のための取組	21
5	休養日の設定	22
6	外部人材の活用	23
7	曜日ごとの運動実施と 1 週間の運動実施平均時間	23

## VI 体力合計点の上位群と下位群との比較

1	児童の体力・運動能力の向上に係る取組	25
2	学校の体育・保健体育授業	26
3	学校における体育・保健体育授業以外での取組	29
4	学校の組織体制	34
5	地域や関係機関、家庭との連携	35
6	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用状況	36
7	新体力テストの実施状況	37

## VII 郡市ごとの体力合計点の様子

1	郡市ごとの学校別体力合計点の分布	39
2	郡市ごとの児童生徒別体力合計点の分布	40

VIII	運動の好き嫌いと入学前の好き嫌いとの相関	
1	運動の好き嫌いの全国比	4 1
2	運動の好き嫌いと入学前の好き嫌いとの相関	4 1
IX	自己肯定観の全国比と体力との相関	
1	最後までやり遂げてうれしかったことがある	4 2
2	失敗を恐れなくて挑戦する	4 3
3	自分には、よいところがある	4 4
X	平成 28 年度調査（中学 2 年）と平成 25 年度調査（小学 5 年）の比較	
1	体力合計点と全国順位の推移	4 5
2	体格の比較	4 5
3	各種目の比較	4 5
XI	今後の体力向上に向けた取組	
1	学校の組織的な取組	4 6
2	体育・保健体育授業の指導方法の工夫・改善	4 6
3	運動習慣の確立	4 7
4	中学校運動部活動の活性化の取組	4 7
5	市町村教育委員会の支援	4 8
XII	資料	
1	新体力テスト種目と体力要素及び測定方法	4 9
2	項目別得点票と総合評価基準表	4 9

# I 調査の概要



## 1 調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

## 2 調査の名称

平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（以下「本調査」という。）

## 3 調査の対象及び調査校数・調査児童生徒数

- (1) 小学校調査…小学校第 5 学年、特別支援学校小学部第 5 学年、義務教育学校前期課程第 5 学年
  - (2) 中学校調査…中学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年、義務教育学校後期課程第 2 学年
- ただし、特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障害の状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断すること。

[表 1] 全国（国立、公立、政令市立、私立）の調査校数・調査児童生徒数

	調査学校数	参加率	調査児童生徒数		
			男子	女子	合計
小学校	20,272 校	98.8%	528,727 人	507,079 人	1,035,806 人
中学校	10,593 校	97.3%	533,395 人	510,172 人	1,043,567 人

[表 2] 本県（公立）の調査校数・調査児童生徒数

	調査学校数	参加率	調査児童生徒数		
			男子	女子	合計
小学校	367 校	95.8%	9,188 人	8,818 人	18,006 人
中学校	193 校	93.2%	9,305 人	8,910 人	18,215 人

## 4 調査事項

### (1) 児童生徒に対する調査

#### ① 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）

##### ア) 小学校調査

[8 種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

##### イ) 中学校調査

[8 種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子 1500m、女子 1000m）、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

（\*持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択できるが、本報告書は 20m シャトルランの調査のみ分析）

#### ② 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という。）

### (2) 学校に対する質問紙調査

子供の体力・運動能力等の向上等に係る取組等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）

## 5 調査実施日

- (1) 児童生徒質問紙調査 調査票到着から 7 月末までの期間
- (2) 学校質問紙調査 調査票到着から 6 月 30 日までの期間

## II 実技に関する本県の調査結果の概要



### 1 平成 28 年度調査結果及び過去 7 回（平成 20～27 年度）の調査結果

\* 以下、本調査結果は、本県並びに全国とも公立学校のみの数値を示す。

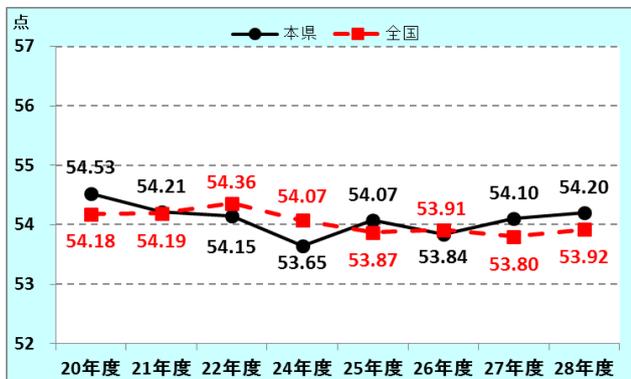
【表 3】本県と全国の体力合計点（平均）の一覧

\* 平成 23 年度は震災のため調査中止

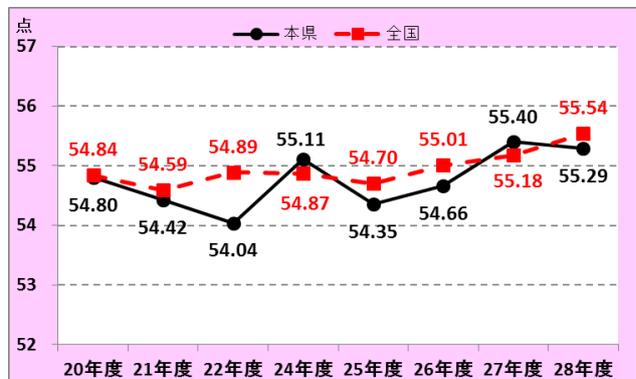
		20年度	21年度	22年度	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		全国と差引
		(悉皆)	(悉皆)	(抽出)	(抽出)	順位	(悉皆)	順位	(悉皆)	順位	(悉皆)	順位	(悉皆)	順位	
小5男子	本県	54.53	54.21	54.15	53.65	29位	↑ 54.07	19位	↓ 53.84	22位	↑ 54.10	18位	↑ 54.20	17位	0.28
	全国	54.18	54.19	54.36	54.07		↓ 53.87		→ 53.91		↓ 53.80		↑ 53.92		
小5女子	本県	54.80	54.42	54.04	55.11	23位	↓ 54.35	30位	↑ 54.66	30位	↑ 55.40	23位	↓ 55.29	27位	▲ 0.25
	全国	54.84	54.59	54.89	54.87		↓ 54.70		→ 55.01		↑ 55.18		↑ 55.54		
中2男子	本県	41.69	41.04	41.68	42.18	22位	↓ 41.87	24位	↑ 42.11	20位	↑ 42.33	20位	↑ 42.39	23位	0.26
	全国	41.50	41.36	41.71	42.11		↓ 41.78		↓ 41.63		↑ 41.89		↑ 42.13		
中2女子	本県	47.14	46.28	46.34	46.23	44位	↑ 47.01	39位	↑ 47.38	41位	↑ 48.83	26位	↓ 48.65	34位	▲ 0.91
	全国	48.38	47.94	48.14	48.62		↓ 48.42		↑ 48.55		↑ 49.08		↑ 49.56		
総合	本県	198.16	195.95	196.21	197.17	31位	↑ 197.30	29位	↑ 197.99	27位	↑ 200.66	19位	↓ 200.53	23位	▲ 0.62
	全国	198.90	198.08	199.10	199.67		↓ 198.77		↑ 199.10		↑ 199.95		↑ 201.15		
総合差引		▲ 0.74	▲ 2.13	▲ 2.89	▲ 2.50		▲ 1.47		▲ 1.11		0.71		▲ 0.62		

\* 赤字は全国平均より下回り、↑は前年度との比較、ただし 0.05 未満は→で示す。

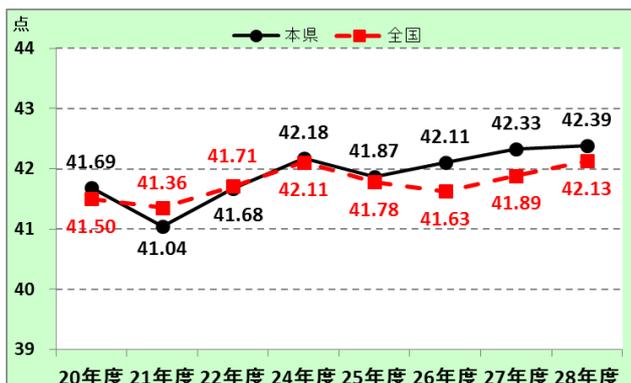
【グラフ 1】小学校男子 体力合計点（平均）の推移



【グラフ 2】小学校女子 体力合計点（平均）の推移



【グラフ 3】中学校男子 体力合計点（平均）の推移



【グラフ 4】中学校女子 体力合計点（平均）の推移



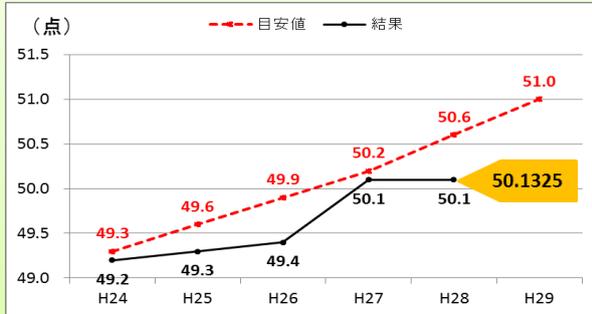
\* 体力合計点：小中学校各8種目の記録を男女別に点数化(1～10点)した合計点。(80点満点)

**体力合計点（平均）の推移と全国順位** (表3、グラフ1~4)

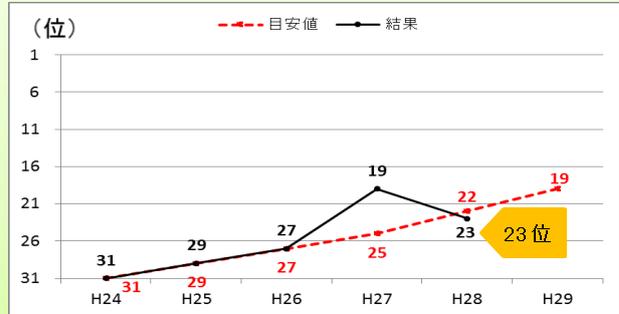
- ・小学校男子及び中学校男子の体力合計点（平均）は、前年度より向上し、全国平均を上回った。
- ・小学校女子及び中学校女子の体力合計点（平均）は、前年度より低下し、全国平均を下回った。
- ・体力合計点総合の平均は、昨年度に引き続き 200 点を超えたが、全国が 201 点台と大きく向上し、「県総合5か年計画達成目標」における平成28年度の目標目安値（22位）に届かず23位となった。

**<参考> 長野県総合5か年計画達成目標の目安値と結果**

**[グラフ5] 体力合計点総合の平均点**



**[グラフ6] 体力合計点総合の順位**

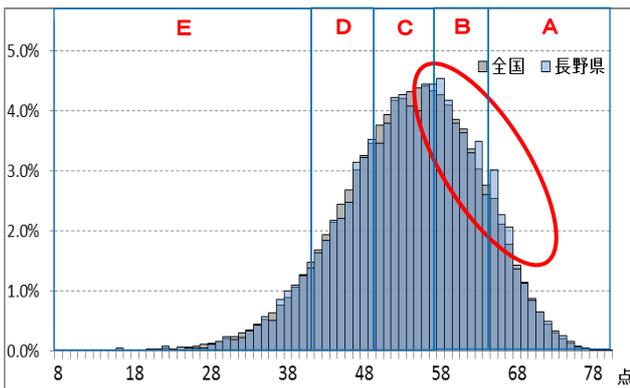


\* 体力合計点総合の平均点:小中学校男女の体力合計点(平均)の合計を4で割った数値。

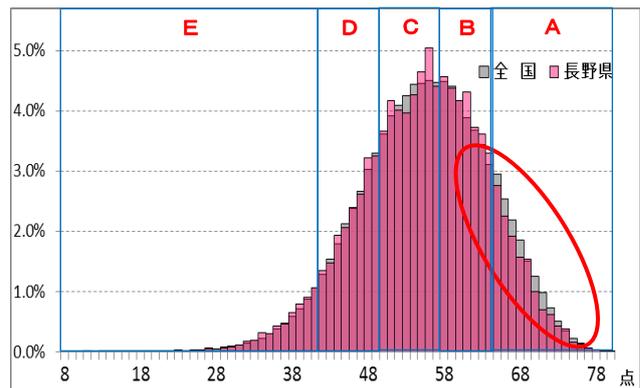
**2 体力合計点の分布状況と総合評価**

(1) 体力合計点の分布状況による本県と全国との比較

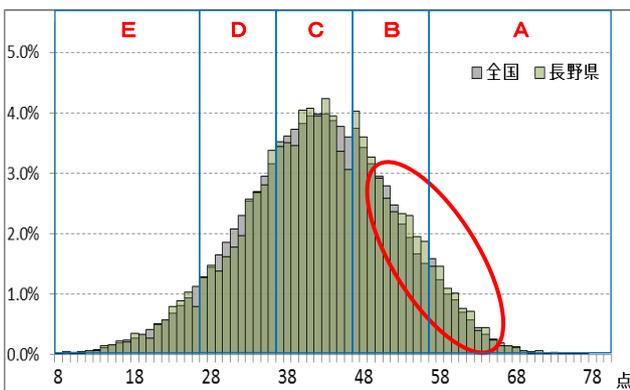
**[グラフ7] 小学校男子 体力合計点の分布**



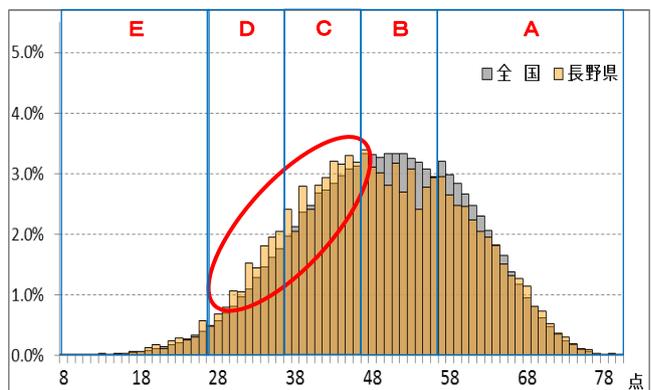
**[グラフ8] 小学校女子 体力合計点の分布**



**[グラフ9] 中学校男子 体力合計点の分布**



**[グラフ10] 中学校女子 体力合計点の分布**



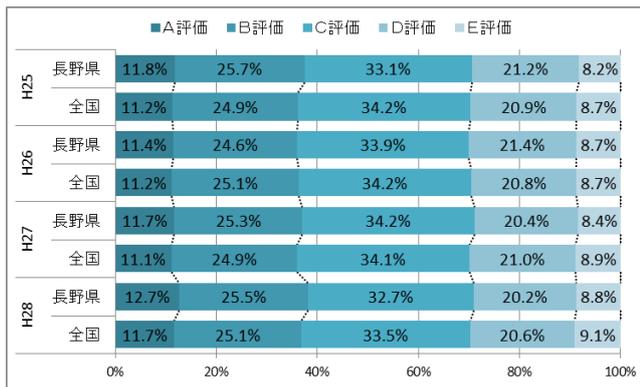
\* A~Eは総合評価を表す。総合評価とは、8種目全実施者を基準表に5段階で示す評定値。

**体力合計点の分布状況による本県と全国との比較** (グラフ7~10)

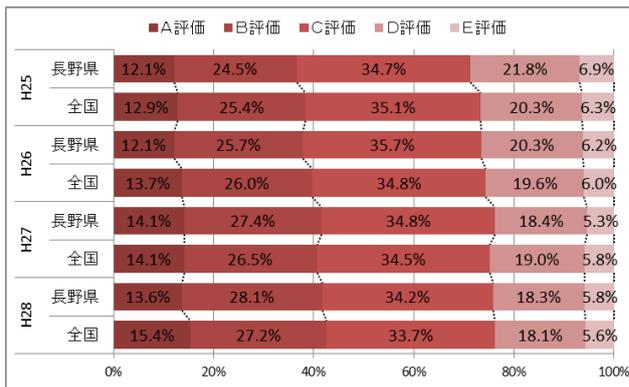
- ・小学校男子は、58~68点台、中学校男子は50~60点台以上の高得点者の割合が全国平均より多い。
- ・小学校女子は、58点前後の中得点者が多く、高得点者の割合が、全国平均より少ない。
- ・中学校女子は、38点前後のやや低得点者の割合が、全国平均より多い。

(2) 総合評価の割合による本県と全国との比較と推移

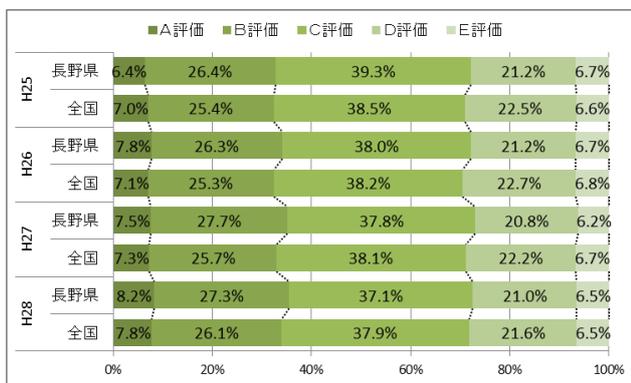
[グラフ 11] 小学校男子 総合評価割合 (H25~28)



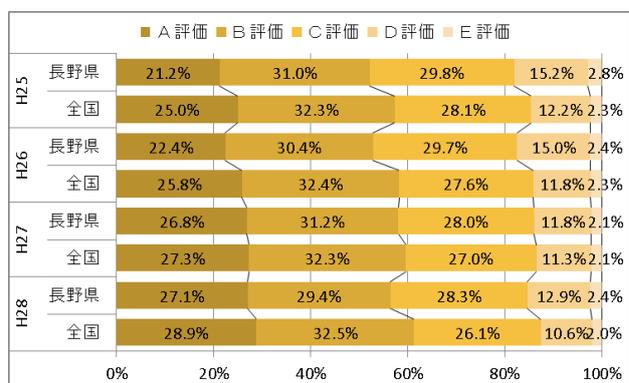
[グラフ 12] 小学校女子 総合評価割合 (H25~28)



[グラフ 13] 中学校男子 総合評価割合 (H25~28)



[グラフ 14] 中学校女子 総合評価割合 (H25~28)

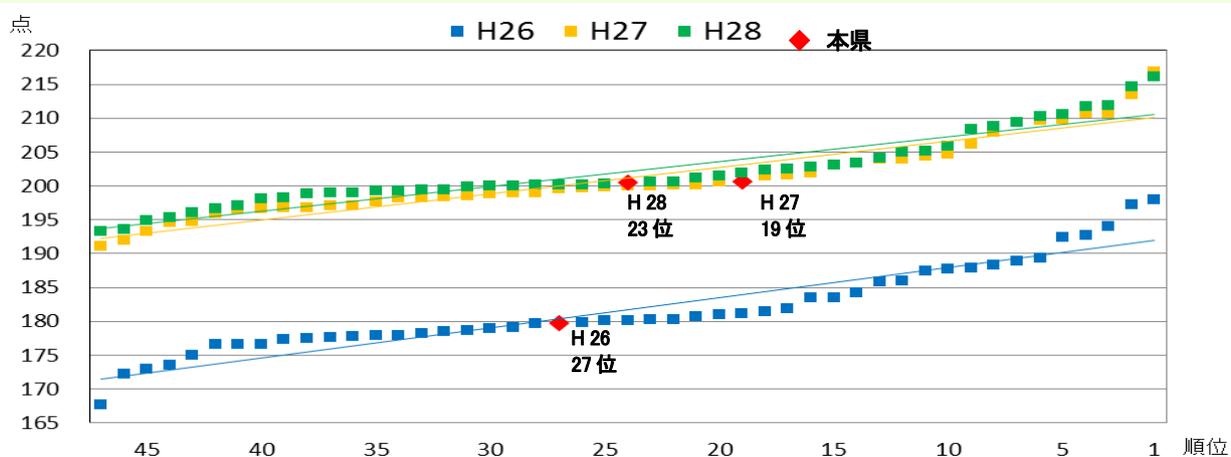


総合評価の割合による本県と全国との比較と推移

(グラフ 11~14)

- ・小学校男子のA・B評価は、前年度と比較して、本県 (+1.2)、全国 (+0.8) 増加した。
- ・小学校女子のA・B評価は、前年度と比較して、本県 (+0.2)、全国 (+2.0) 増加した。
- ・中学校男子のA・B評価は、前年度と比較して、本県 (+0.3)、全国 (+0.9) 増加した。
- ・中学校女子のA・B評価は、前年度と比較して、本県 (-1.5) が減少、全国 (+1.8) 増加した。
- ・過去4年間の推移から、小中学校とも女子のA・B評価の割合が増加していると顕著に見られる。

<参考> [グラフ 15] 体力合計点総値と3年間の全国順位の推移



子どもの体力低下を危惧した取組が全国で展開されるようになり、一定の成果が全国平均値にあらわれている。特に、近年の向上は著しく、平成26年度上位の体力合計点総値は、現在では下位に位置するなど底上げが図られている。

### 3 各種目の結果

(1) 小学校における各種目の結果と全国平均との比較

[表4] 小学校男子 各種目の結果及び前年度との比較

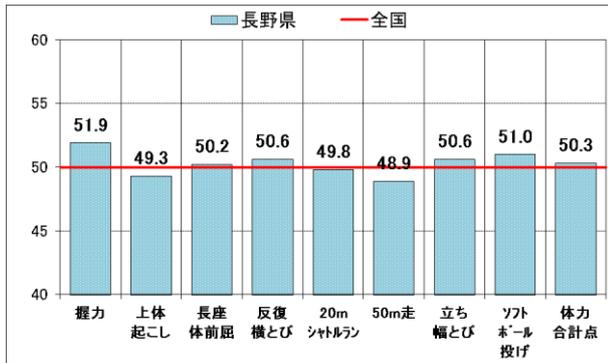
\* 赤字は全国平均より下回り、↑は前年度より向上したことを示す。

		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点(点)
長野県	H28	↑ 17.20	↑ 19.28	33.03	↑ 42.47	51.55	9.49	↑ 152.61	↑ 23.20	↑ 54.20
	H27	17.00	19.21	33.20	42.14	51.84	9.47	152.32	23.00	54.10
全国	H28	↑ 16.47	↑ 19.67	↑ 32.87	↑ 41.97	↑ 51.89	9.38	↑ 151.39	22.42	↑ 53.92
	H27	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	53.80

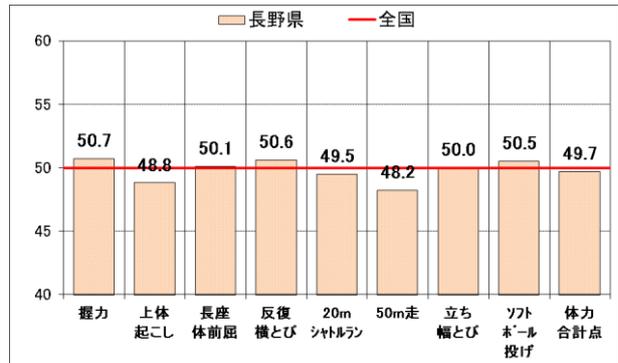
[表5] 小学校女子 各種目の結果及び前年度との比較

		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点(点)
長野県	H28	16.38	↑ 17.96	37.27	↑ 40.45	40.50	9.76	↑ 145.30	14.14	55.29
	H27	16.41	17.94	37.57	40.08	41.04	9.72	145.21	14.17	55.40
全国	H28	↑ 16.13	↑ 18.60	37.21	↑ 40.06	↑ 41.29	↑ 9.61	↑ 145.31	↑ 13.88	↑ 55.54
	H27	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	55.18

[グラフ16] 小学校男子 T得点による全国との比較



[グラフ17] 小学校女子 得点による全国との比較



\* T得点: 全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。  
 平均値 50 点、標準偏差 10 点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

(2) 中学校における各種目の結果と全国平均との比較

[表6] 中学校男子 各種目の結果及び前年度との比較

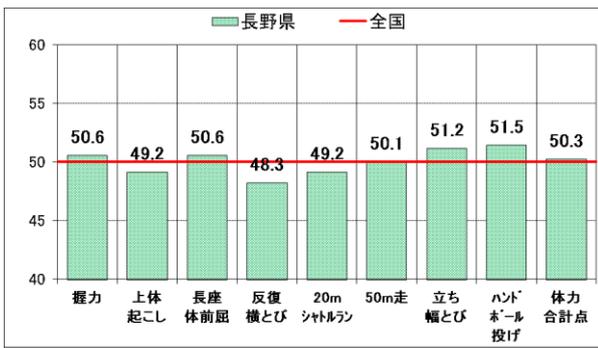
\* 赤字は全国平均より下回り、↑は前年度より向上したことを示す。

		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)	体力合計点(点)
長野県	H28	↑ 29.33	↑ 26.97	43.66	50.58	↑ 84.37	8.01	↑ 197.91	↑ 21.44	↑ 42.39
	H27	29.20	26.82	44.09	50.76	83.72	7.95	197.14	21.32	42.33
全国	H28	28.91	↑ 27.46	43.06	↑ 51.93	↑ 86.24	8.03	↑ 194.69	20.59	↑ 42.13
	H27	28.93	27.43	43.08	51.62	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89

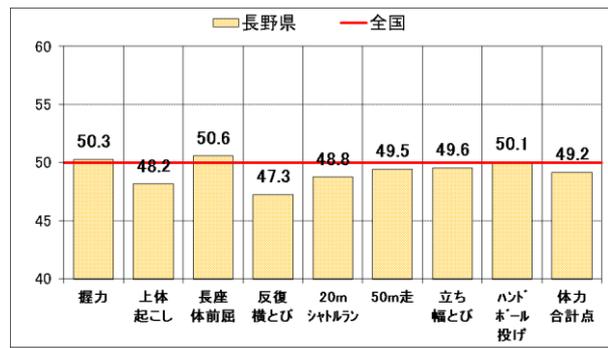
[表7] 中学校女子 各種目の結果及び前年度との比較

		握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)	体力合計点(点)
長野県	H28	23.87	↑ 22.44	46.08	↑ 44.78	↑ 56.37	8.87	167.34	12.91	48.65
	H27	23.89	22.32	46.46	44.72	55.87	8.82	167.37	13.04	48.83
全国	H28	↑ 23.75	↑ 23.48	45.46	↑ 46.60	↑ 58.80	↑ 8.83	↑ 168.28	↑ 12.85	↑ 49.56
	H27	23.68	23.26	45.53	46.09	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08

【グラフ18】 中学校男子 T得点による全国との比較



【グラフ19】 中学校女子 T得点による全国との比較

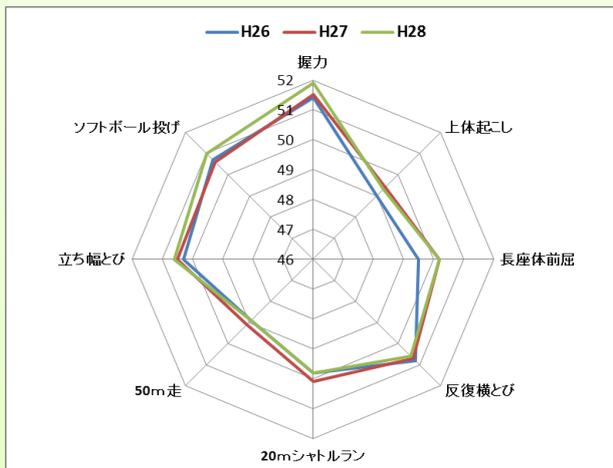


**各種目における前年度比較と全国比較** (表4~7、グラフ11~18)

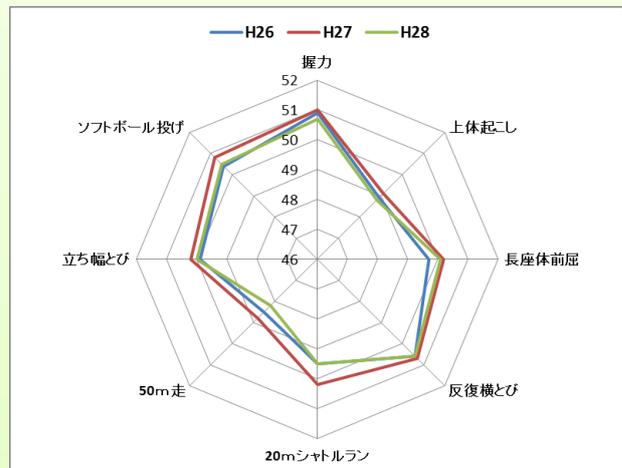
- ・小学校男子並びに中学校男子が、前年度と比較して5種目、記録が向上した。
- ・小学校女子並びに中学校女子が、前年度と比較して5種目、記録が低下した。
- ・全国においては、小学校男子6種目、中学校男子4種目が前年度より記録が向上する一方、小学校女子並びに中学校女子は、長座体前屈を除く7種目で前年度の記録を上回った。
- ・T得点による全国比較では、本県小学校は、男女とも上体起こし(筋力)、50m走(スピード)、20mシャトルラン(全身持久力)が課題の種目(体力)となり、中学校では、50m走がやや改善されるものの、反復横とび(敏捷性)、新たな課題の種目(体力)となっている。
- ・この傾向は、本年度に限らず過去の本県と全国比較を見ても同様である。(下記〈参考〉を参照)

〈参考〉 過去3年間の各種目のT得点による全国との比較

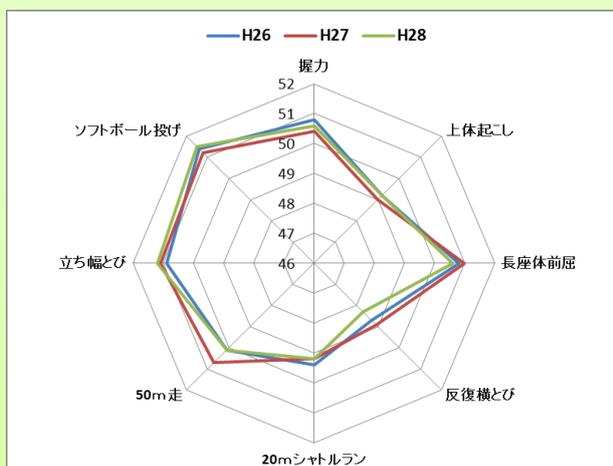
【グラフ20】 小学校男子 T得点による全国比較(3年間)



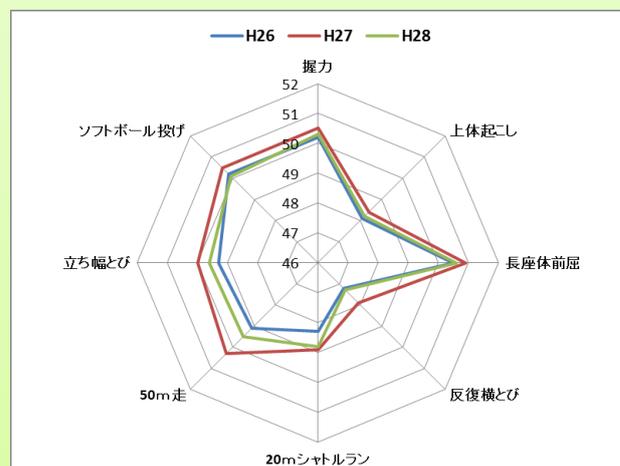
【グラフ21】 小学校女子 T得点による全国比較(3年間)



【グラフ22】 中学校男子 T得点による全国比較(3年間)



【グラフ23】 中学校女子 T得点による全国比較(3年間)

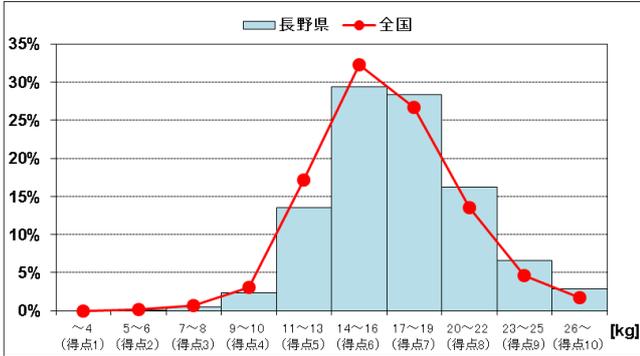


### Ⅲ 種目別得点の分布状況及び平均点の推移

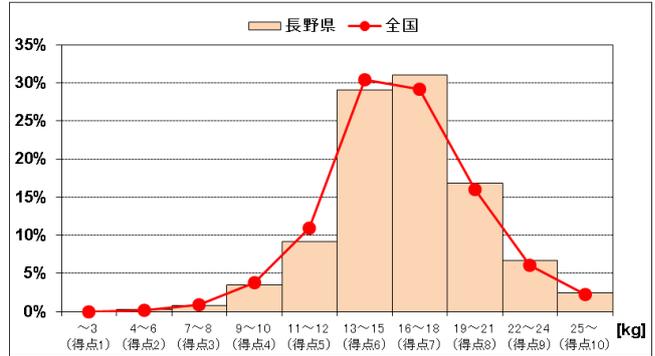


#### 1 握力（筋力）

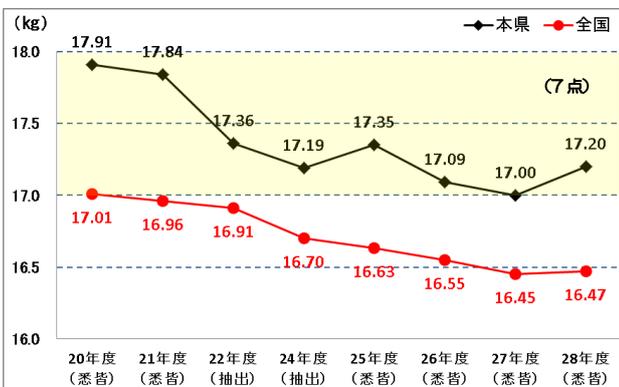
【グラフ24】 小学校男子 握力得点分布



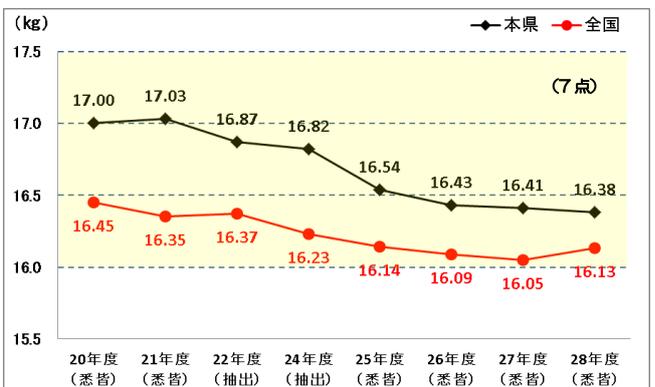
【グラフ25】 小学校女子 握力得点分布



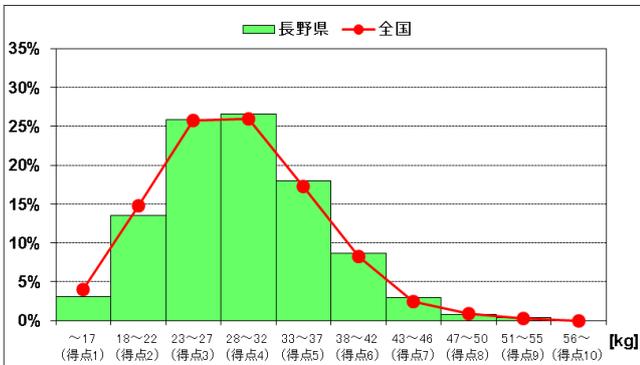
【グラフ26】 小学校男子 握力平均点の推移



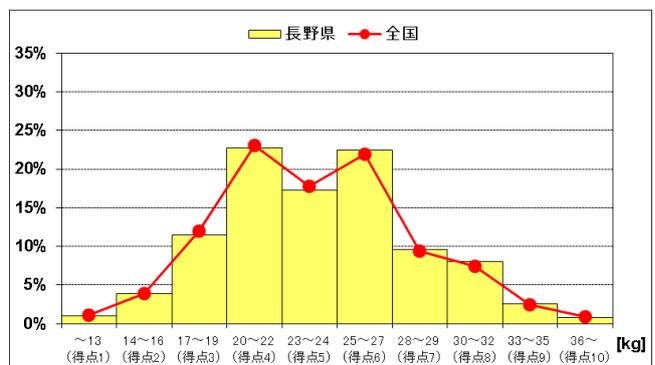
【グラフ27】 小学校女子 握力平均点の推移



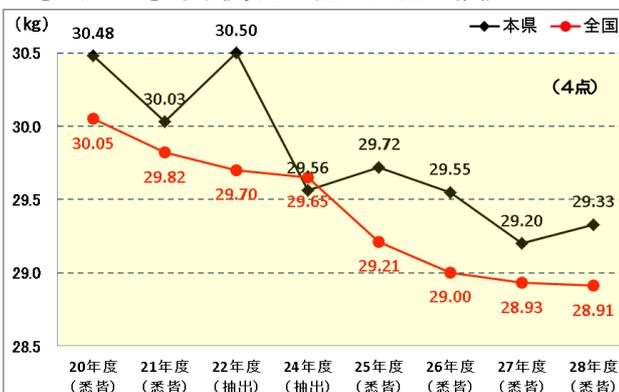
【グラフ28】 中学校男子 握力得点分布



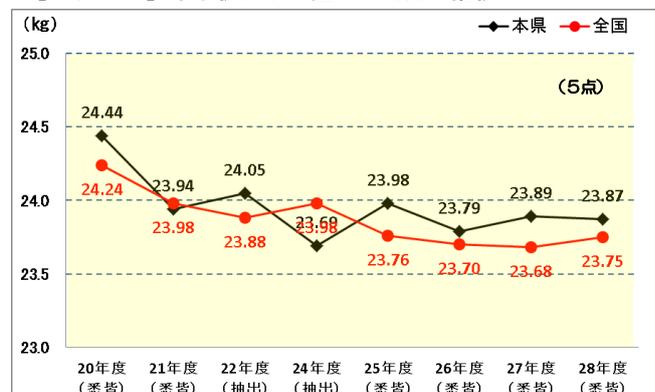
【グラフ29】 中学校女子 握力得点分布



【グラフ30】 中学校男子 握力平均点の推移



【グラフ31】 中学校女子 握力平均点の推移



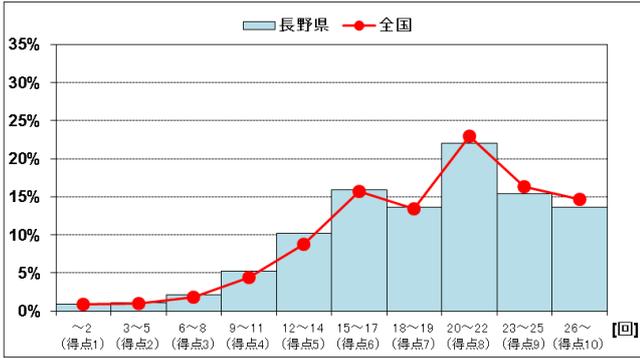
**握力における得点分布と平均点の推移**

(グラフ24~31)

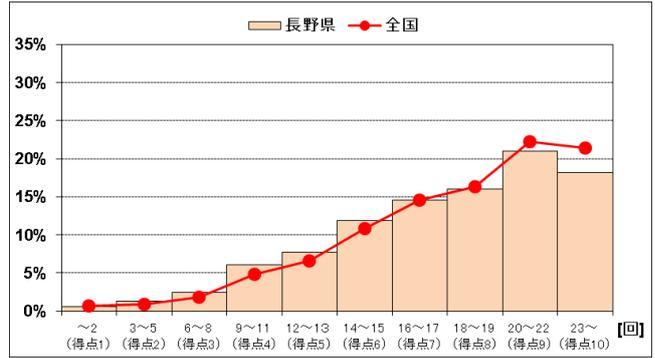
- ・本県の得意種目の握力は、本県並びに全国とも低下傾向にあったが、向上の兆しが見られる。
- ・本県並びに全国とも中学校女子の得点分布において正規分布が見られず、2局化の傾向が見られる。

## 2 上体起こし（筋パワー・筋持久力）

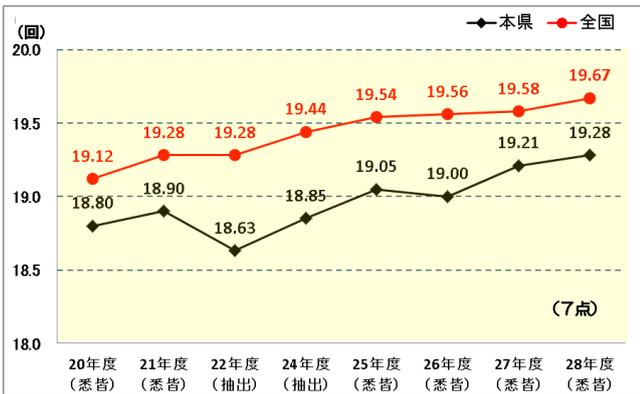
【グラフ32】 小学校男子 上体起こし得点分布



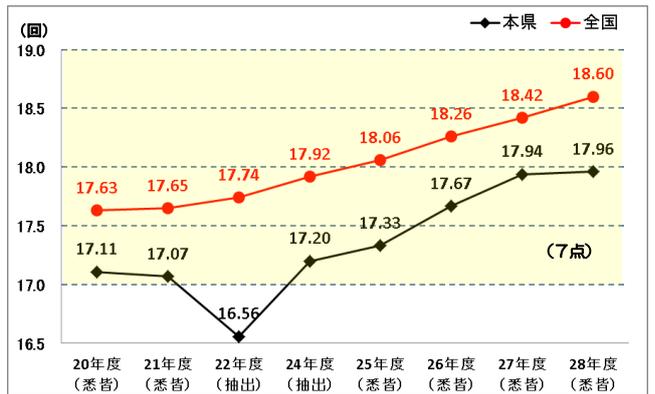
【グラフ33】 小学校女子 上体起こし得点分布



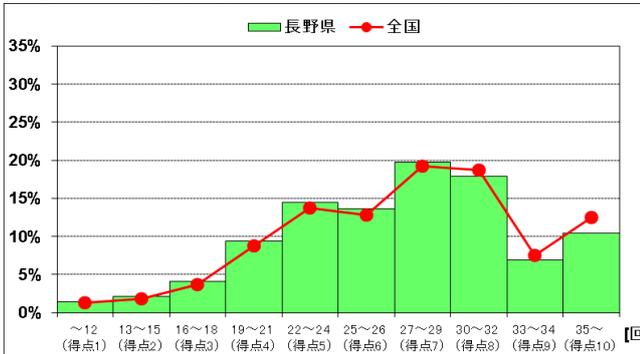
【グラフ34】 小学校男子 上体起こし平均点推移



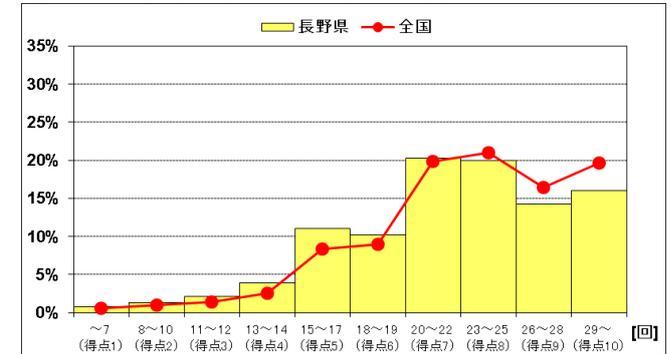
【グラフ35】 小学校女子 上体起こし平均点推移



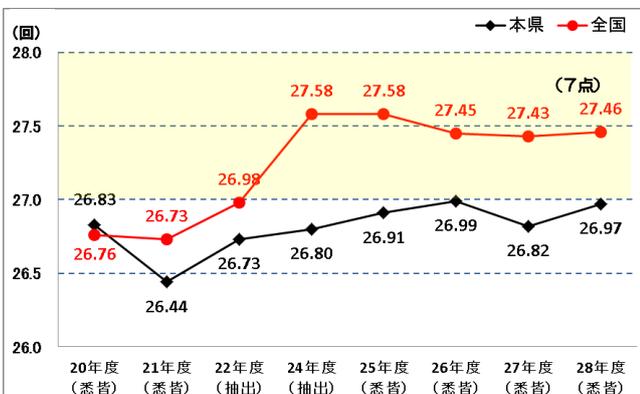
【グラフ36】 中学校男子 上体起こし得点分布



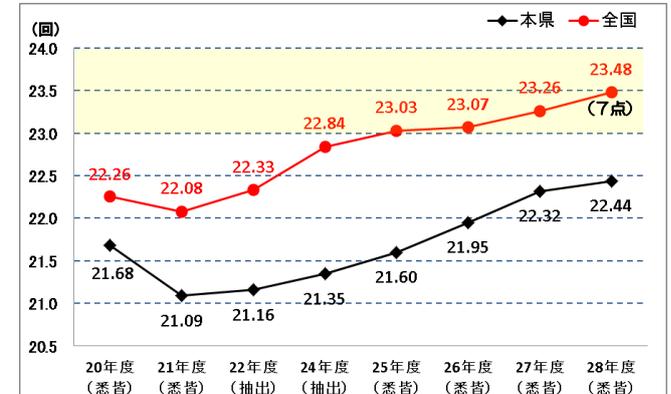
【グラフ37】 中学校女子 上体起こし得点分布



【グラフ38】 中学校男子 上体起こし平均点推移



【グラフ39】 中学校女子 上体起こし平均点推移



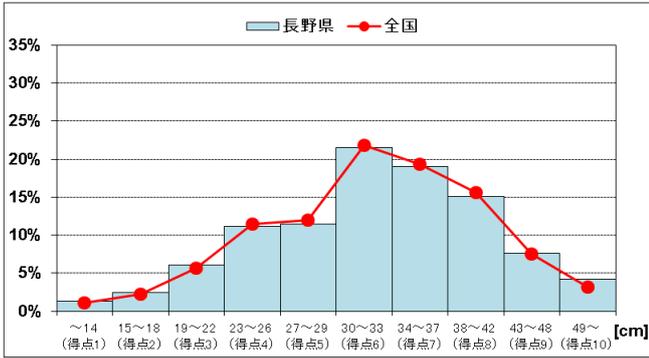
### 上体起こしにおける得点分布と平均点の推移

(グラフ32~39)

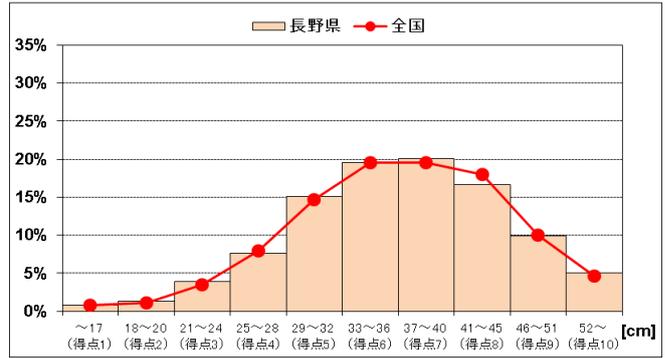
- ・本県の課題の種目の一つであるが、全国平均と同様に向上傾向を示している。特に、本県小学校男女、中学校女子においては、本調査開始以降、最高の平均点となった。
- ・中学校は、項目別得点6~7点上に平均値がある。意識的な取組により総合評価の向上に反映しやすい。

### 3 長座体前屈（柔軟性）

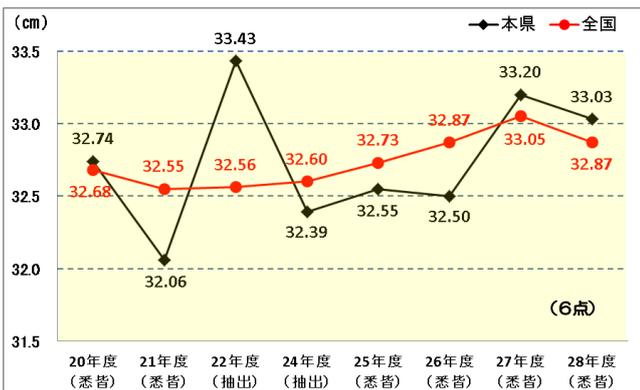
[グラフ40] 小学校男子 長座体前屈得点分布



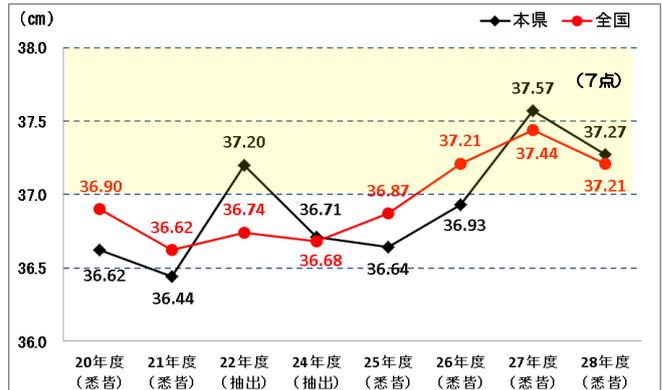
[グラフ41] 小学校女子 長座体前屈得点分布



[グラフ42] 小学校男子 長座体前屈平均点推移



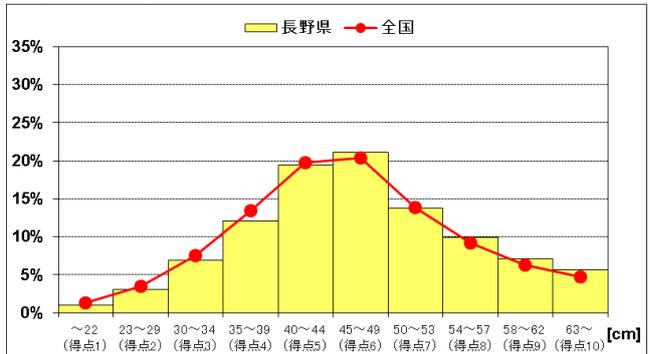
[グラフ43] 小学校女子 長座体前屈平均点推移



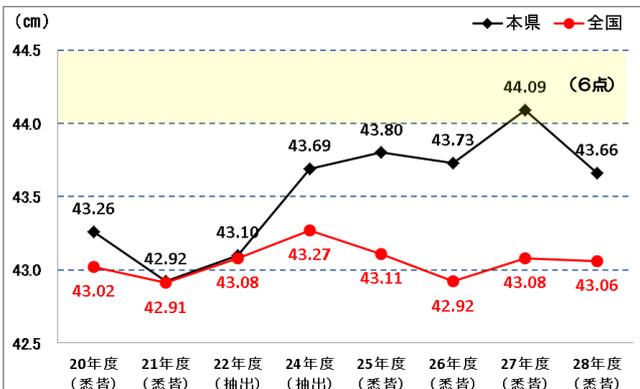
[グラフ44] 中学校男子 長座体前屈得点分布



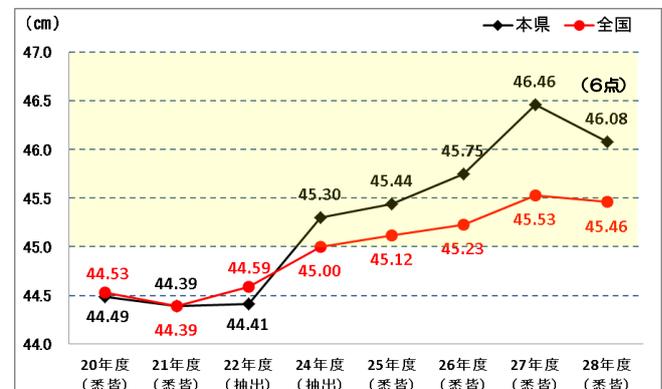
[グラフ45] 中学校女子 長座体前屈得点分布



[グラフ46] 中学校男子 長座体前屈平均点推移



[グラフ47] 中学校女子 長座体前屈平均点推移



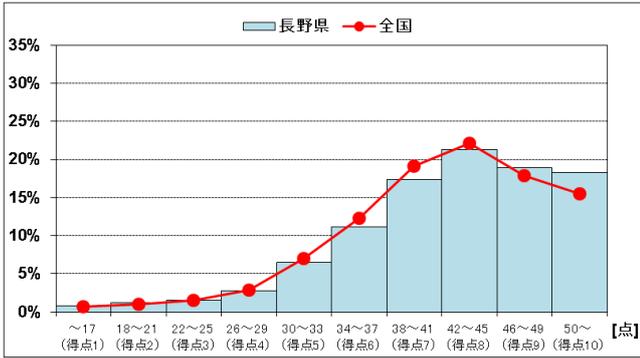
#### 長座体前屈における得点分布と平均点の推移

(グラフ40~47)

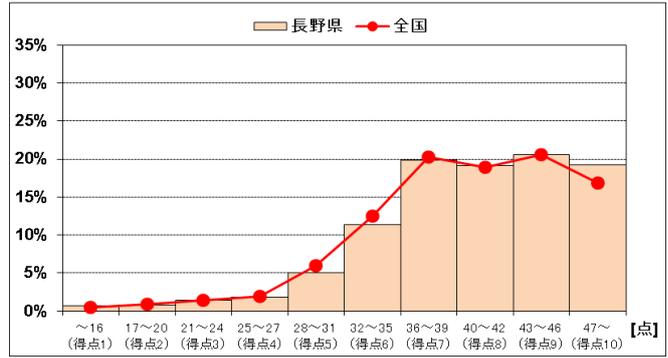
- ・前年度と比較して、本県及び全国ともに小中学校男女で記録を下げた。
- ・発育急進期にある中学生は身体がかたく、小学生に比べて、度数分布曲線がやや低得点傾向にある。

#### 4 反復横とび (敏捷性)

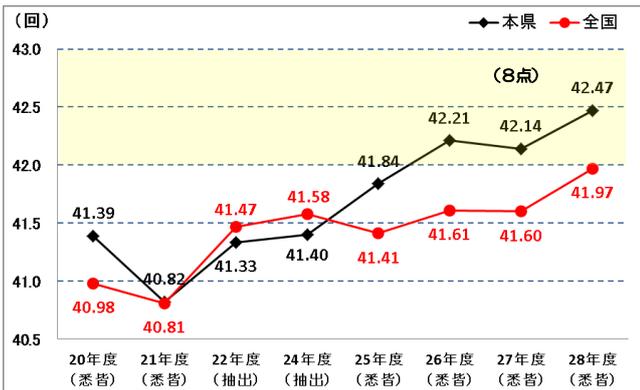
[グラフ 48] 小学校男子 反復横とび得点分布



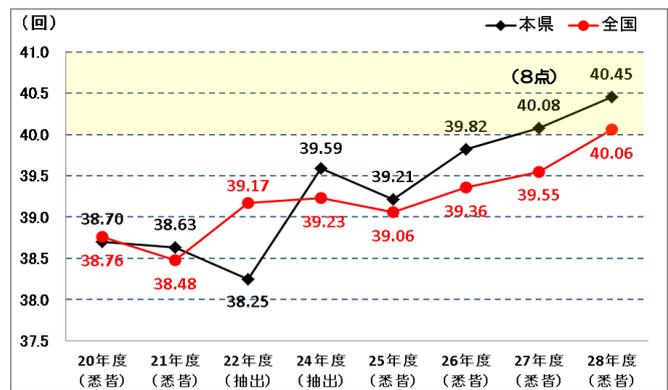
[グラフ 49] 小学校女子 反復横とび得点分布



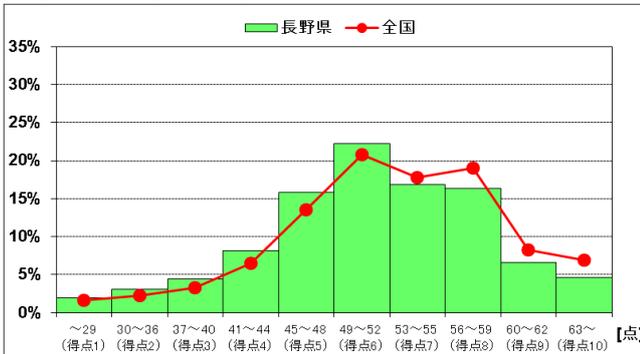
[グラフ 50] 小学校男子 反復横とび平均点推移



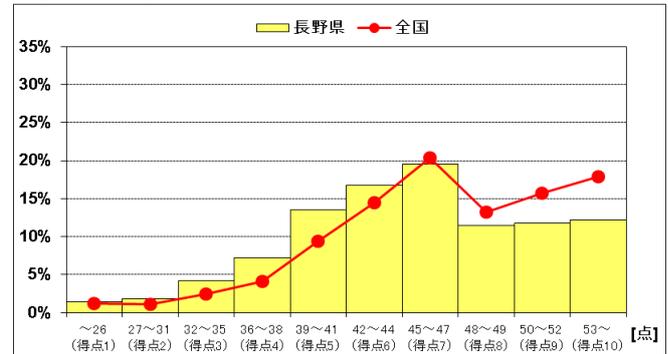
[グラフ 51] 小学校女子 反復横とび平均点推移



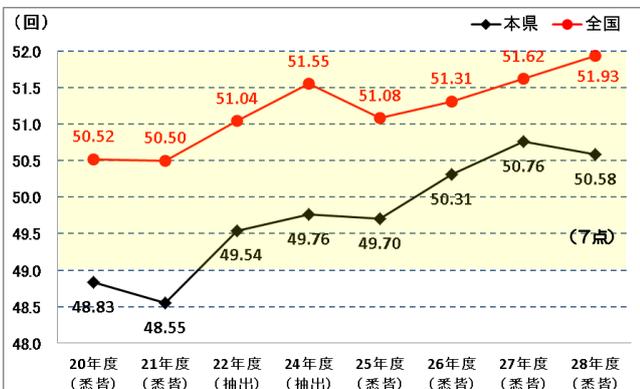
[グラフ 52] 中学校男子 反復横とび得点分布



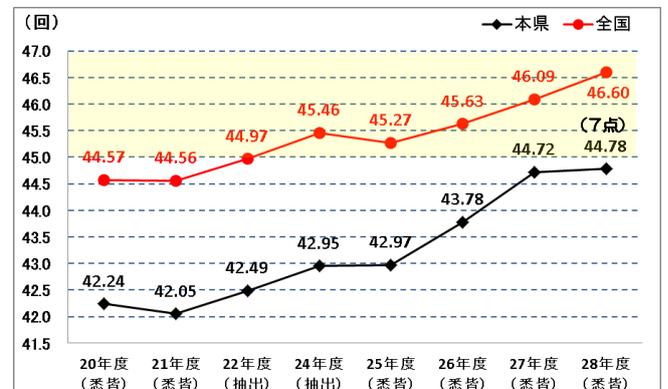
[グラフ 53] 中学校女子 反復横とび得点分布



[グラフ 54] 中学校男子 反復横とび平均点推移



[グラフ 55] 中学校女子 反復横とび平均点推移



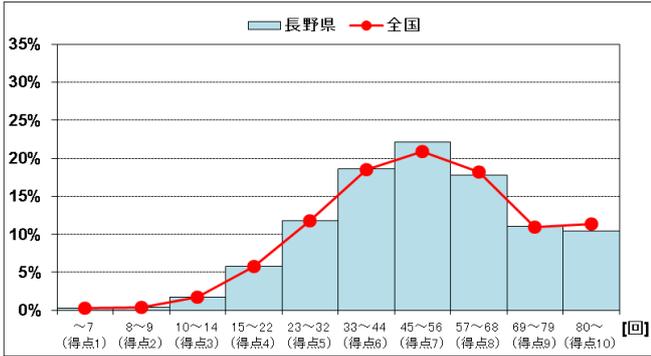
#### 反復横とびにおける得点分布と平均点の推移

(グラフ 48~55)

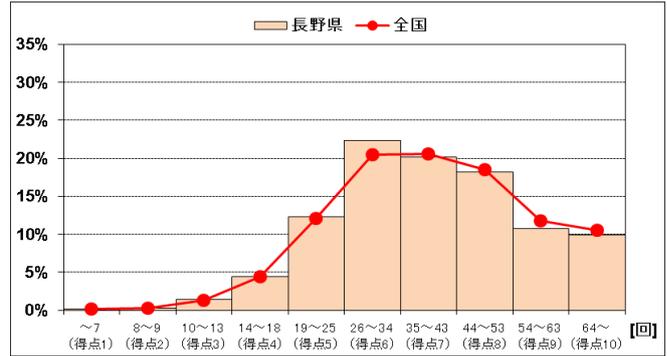
- ・全国においては、小中学校男女とも本調査開始以降、最高の平均点となった。本県も小学校男女、中学校女子が過去最高の平均点となったが、中学校男子が記録を下げ、全国との差が開いた。
- ・中学校女子における高得点者の割合が、全国平均に比べて少ない。

## 5 20mシャトルラン (全身持久力)

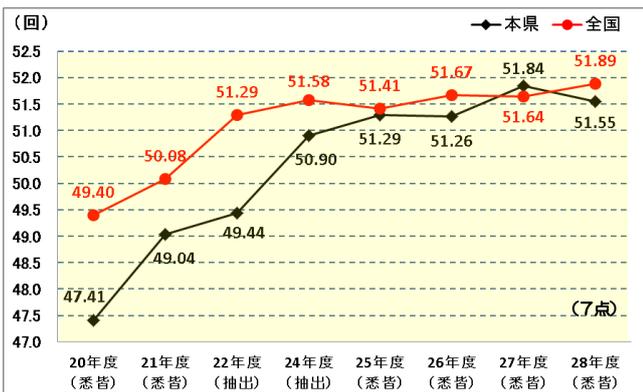
[グラフ 56] 小学校男子 20mシャトルラン得点分布



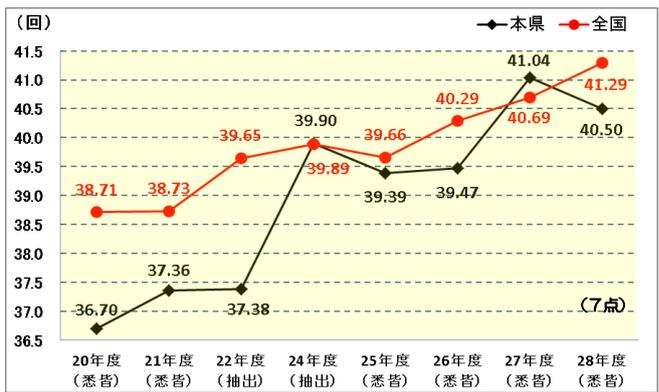
[グラフ 57] 小学校女子 20mシャトルラン得点分布



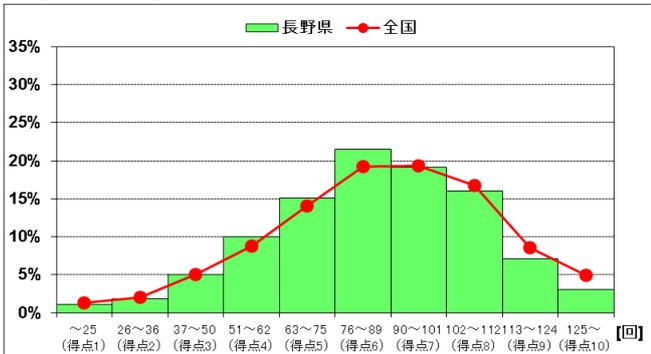
[グラフ 58] 小学校男子 20mシャトルラン平均点推移



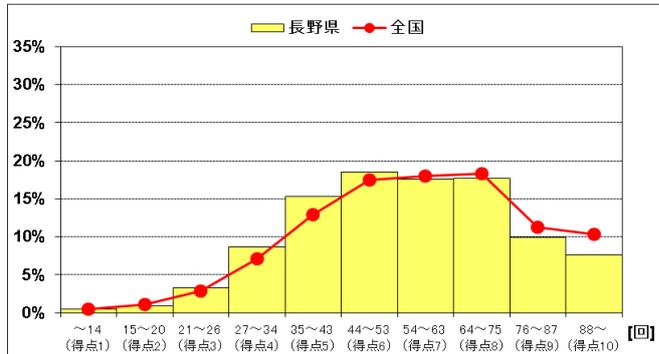
[グラフ 59] 小学校女子 20mシャトルラン平均点推移



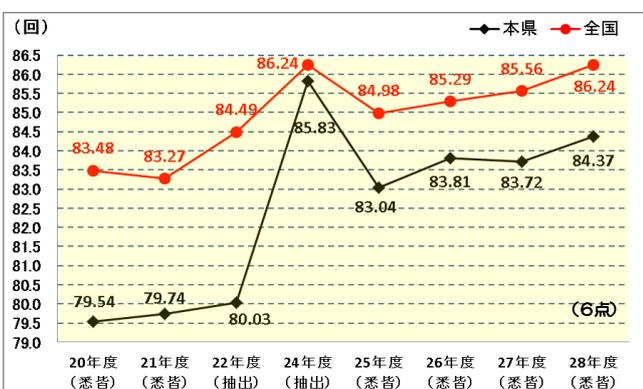
[グラフ 60] 中学校男子 20mシャトルラン得点分布



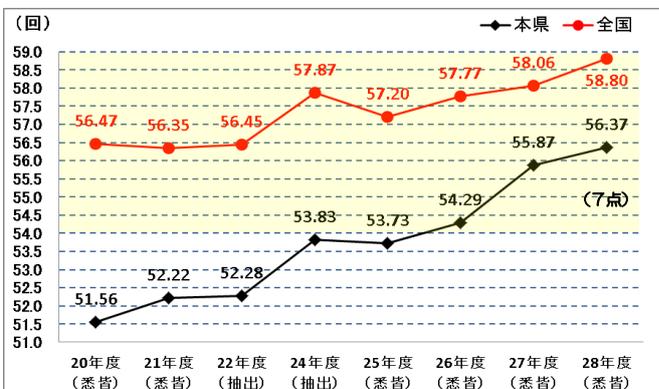
[グラフ 61] 中学校女子 20mシャトルラン得点分布



[グラフ 62] 中学校男子 20mシャトルラン平均点推移



[グラフ 63] 中学校女子 20mシャトルラン平均点推移



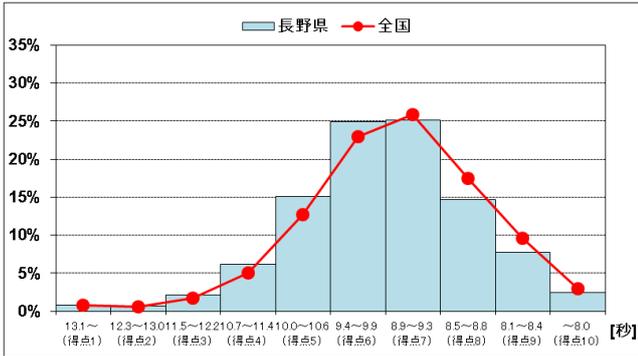
### 20m シャトルランにおける得点分布と平均点の推移

(グラフ 56~63)

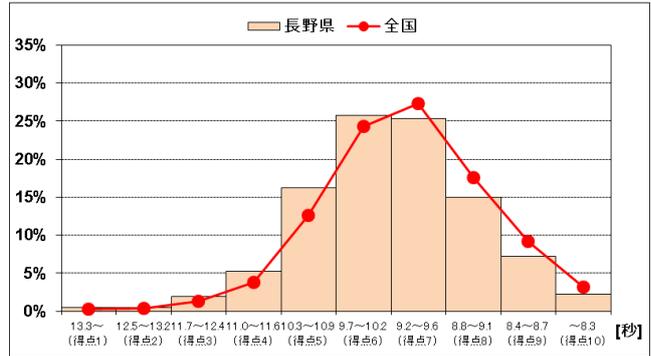
- ・全国においては、小中学校男女とも本調査開始以降、最高の平均点となった。
- ・本県においては、小学校男女とも昨年度より記録を下げ、全国平均を下回った。

## 6 50m走（疾走能力）

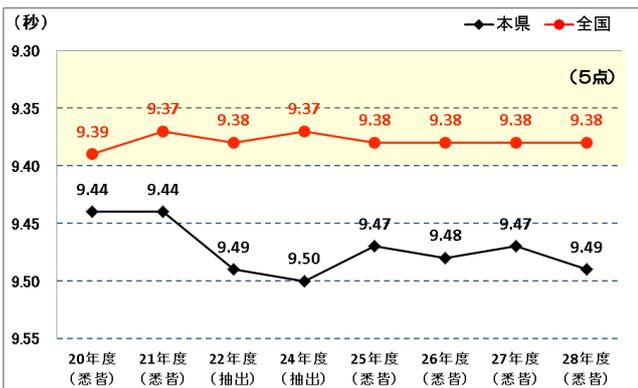
【グラフ 64】 小学校男子 50m走得点分布



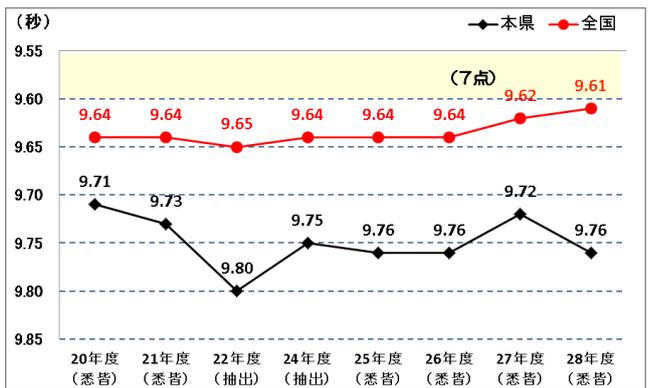
【グラフ 65】 小学校女子 50m走得点分布



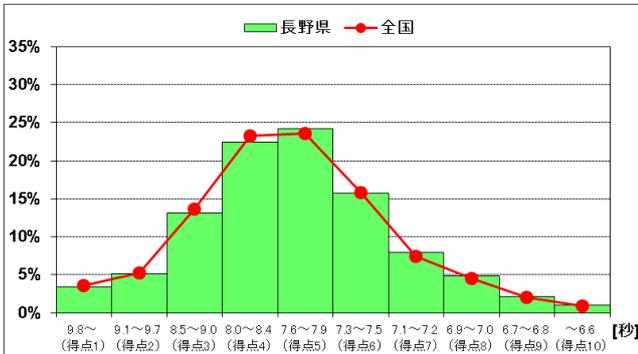
【グラフ 66】 小学校男子 50m走平均点推移



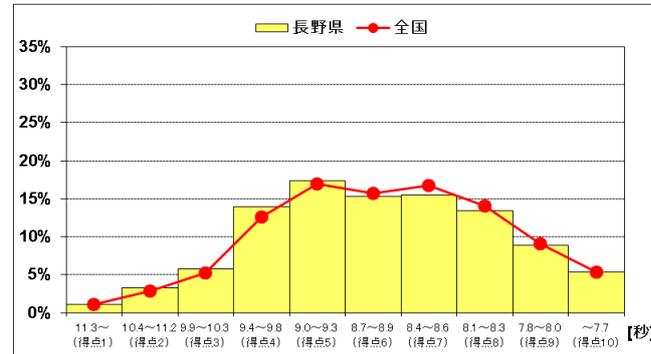
【グラフ 67】 小学校女子 50m走平均点推移



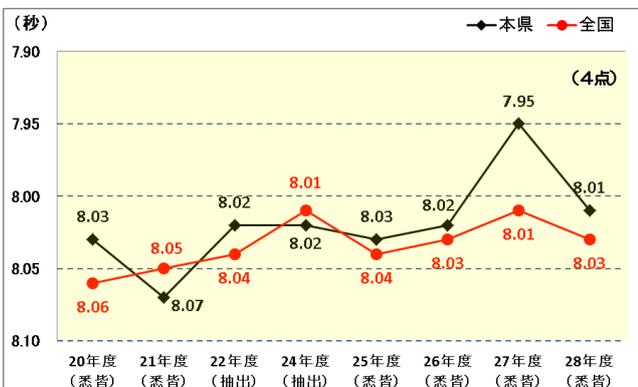
【グラフ 68】 中学校男子 50m走得点分布



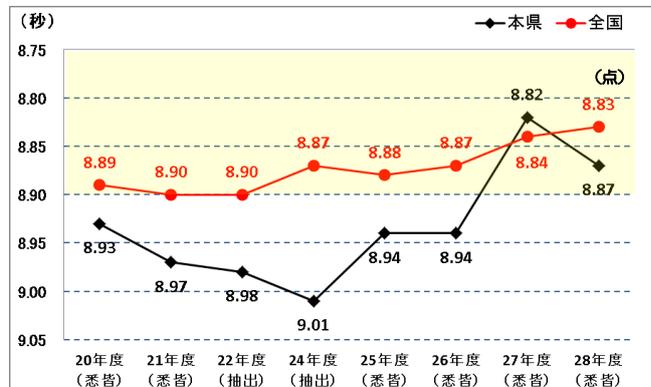
【グラフ 69】 中学校女子 50m走得点分布



【グラフ 70】 中学校男子 50m走平均点推移



【グラフ 71】 中学校女子 50m走平均点推移

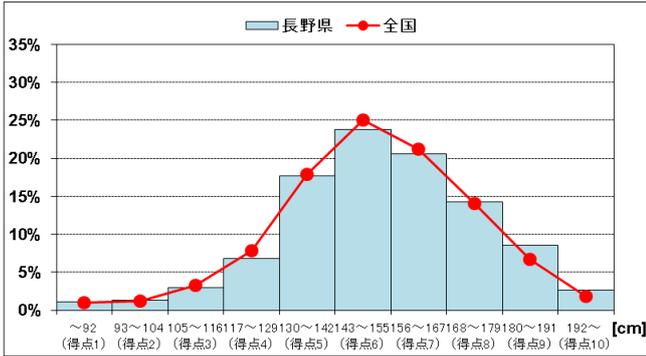


### 50m 走における得点分布と平均点の推移 (グラフ 64~71)

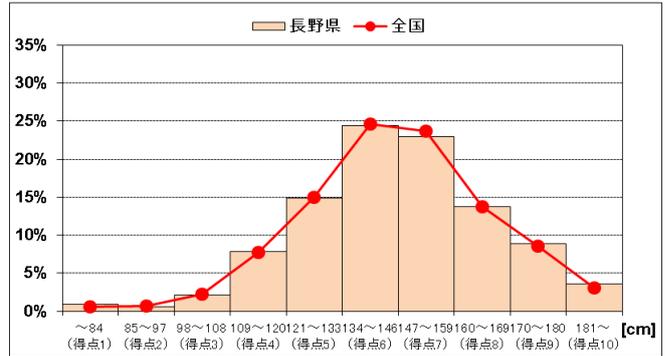
・本県小学校の課題種目の1つの50m走は向上傾向が見られず、0.1秒の全国平均との差がなかなか埋めることができない。特に、本年度は小中学校男女とも前年度の記録より下回り、小学校男女とも全国平均との差が開き、中学校女子においては、全国平均を下回った。

## 7 立ち幅とび (筋パワー・跳躍能力)

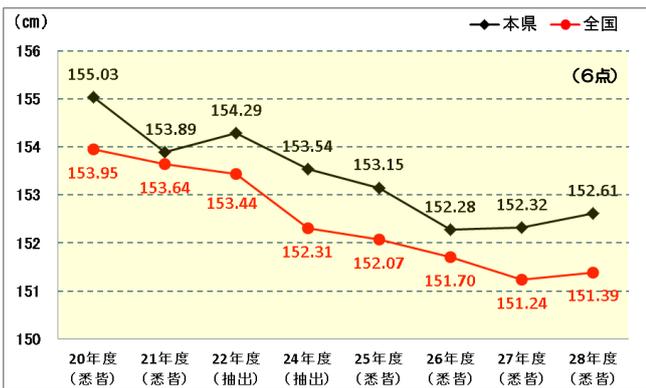
[グラフ 72] 小学校男子 立ち幅とび得点分布



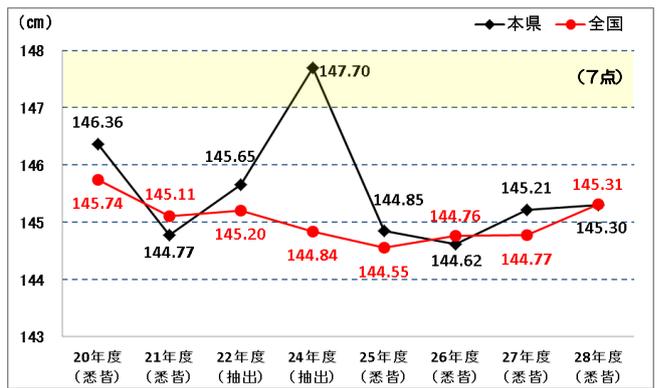
[グラフ 73] 小学校女子 立ち幅とび得点分布



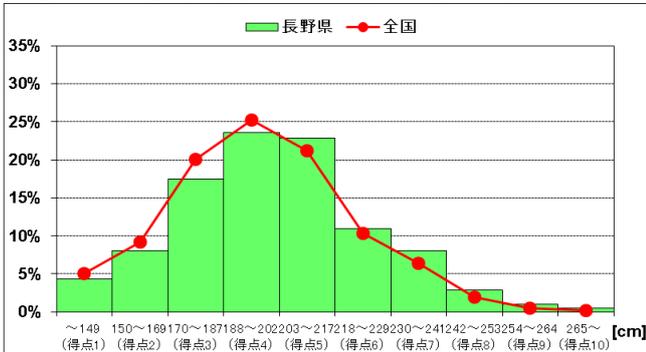
[グラフ 74] 小学校男子 立ち幅とび平均点推移



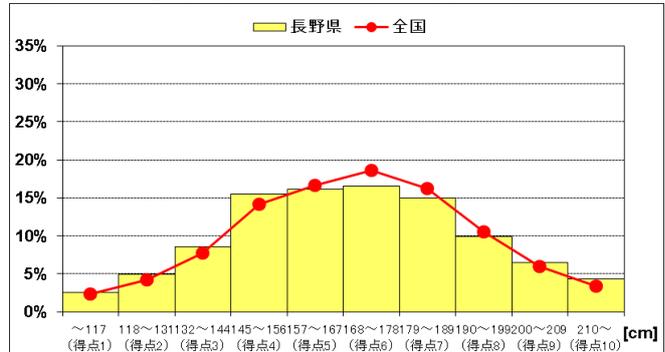
[グラフ 75] 小学校女子 立ち幅とび平均点推移



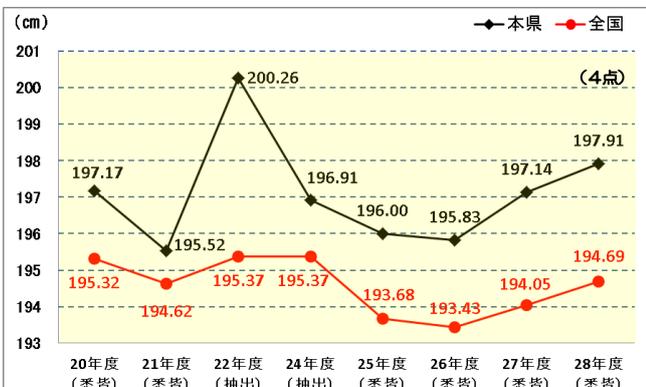
[グラフ 76] 中学校男子 立ち幅とび得点分布



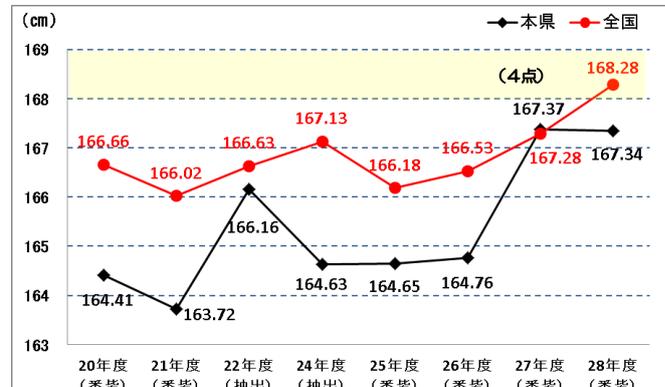
[グラフ 77] 中学校女子 立ち幅とび得点分布



[グラフ 78] 中学校男子 立ち幅とび平均点推移



[グラフ 79] 中学校女子 立ち幅とび平均点推移



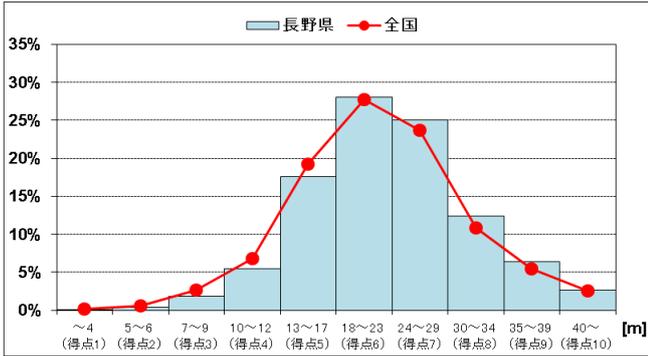
### 立ち幅とびにおける得点分布と平均点の推移

(グラフ 72~79)

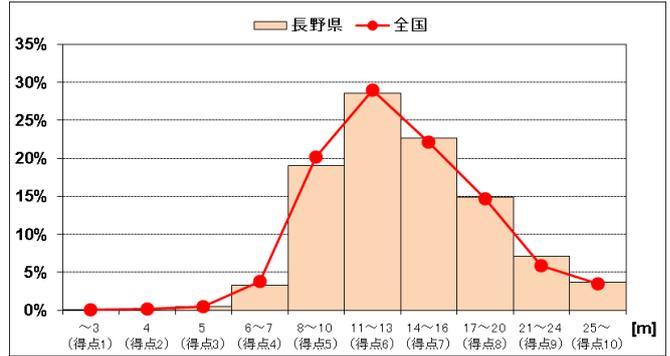
- ・低下傾向にあった種目だが、全国は27年度より、本県では本年度より向上傾向に転じた。
- ・中学校女子は、昨年度は全国平均を上回ったが、本年度は前年度より記録を下げたため、全国平均を下回った。得点分布を見ると、本県は低得点者の割合が多く、高原状を示している。

## 8 ソフトボール・ハンドボール投げ（巧緻性・投球能力）

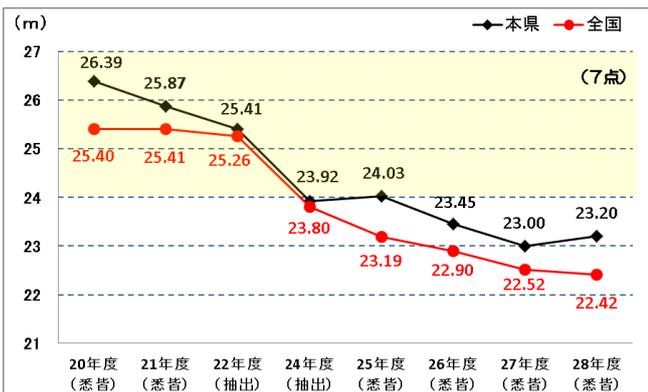
[グラフ 80] 小学校男子 ソフトボール投げ得点分布



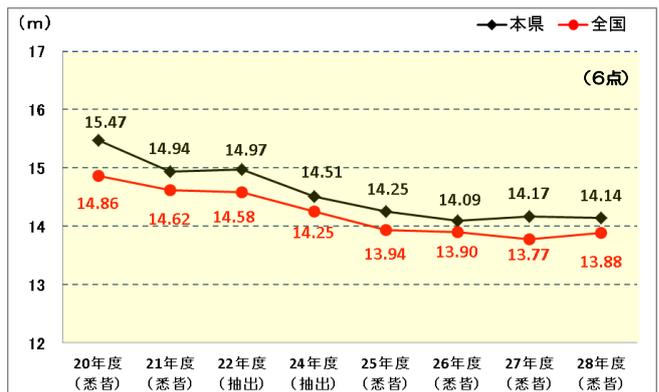
[グラフ 81] 小学校女子 ソフトボール投げ得点分布



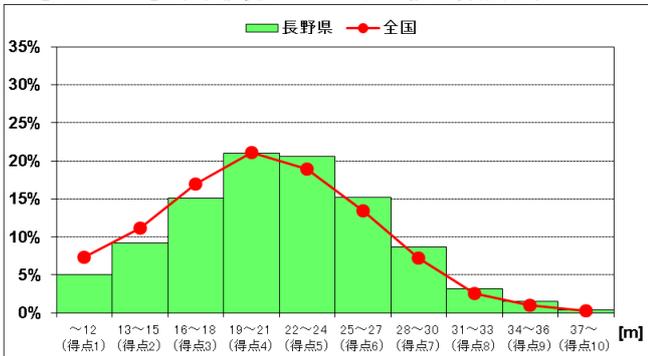
[グラフ 82] 小学校男子 ソフトボール投げ平均点推移



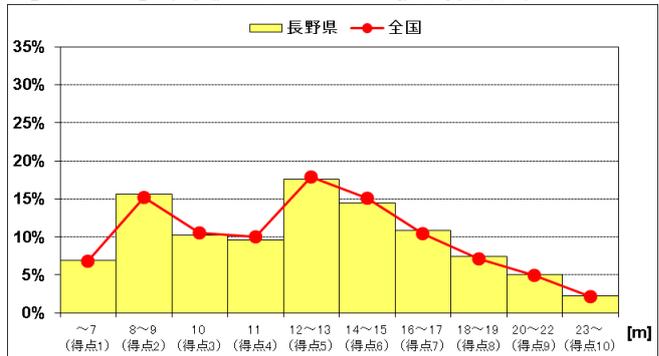
[グラフ 83] 小学校女子 ソフトボール投げ平均点推移



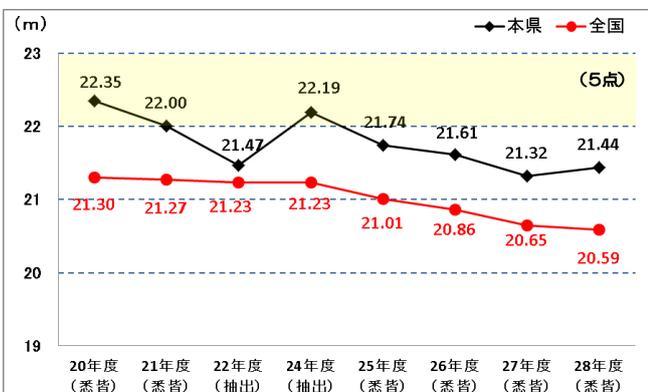
[グラフ 84] 中学校男子 ハンドボール投げ得点分布



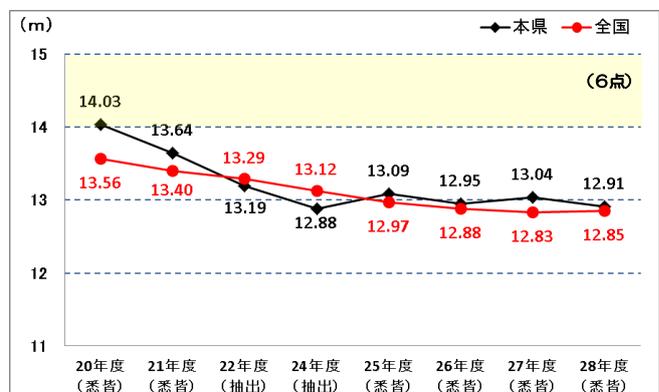
[グラフ 85] 中学校女子 ハンドボール投げ得点分布



[グラフ 86] 中学校男子 ハンドボール投げ平均点推移



[グラフ 87] 中学校女子 ハンドボール投げ平均点推移



### ソフトボール・ハンドボール投げにおける得点分布と平均点の推移

(グラフ 80~87)

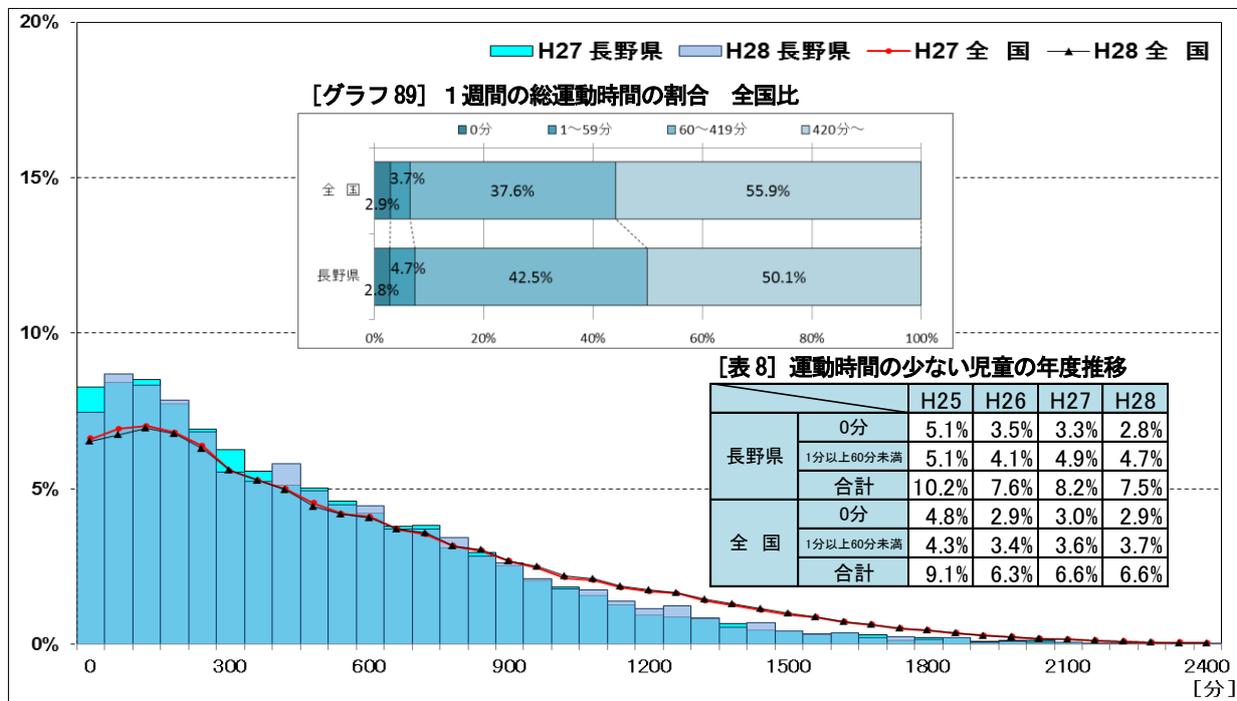
- ・低下傾向が止まらず全国的に課題の種目（体力）とされてきたが、全国では小中学校女子において、本県では小中学校とも男子においてやや向上傾向が見られる。
- ・中学校女子の得点分布においては、本県、全国とも正規曲線を描かず、二局化が垣間見られる。

## IV 授業外における1週間の総運動時間

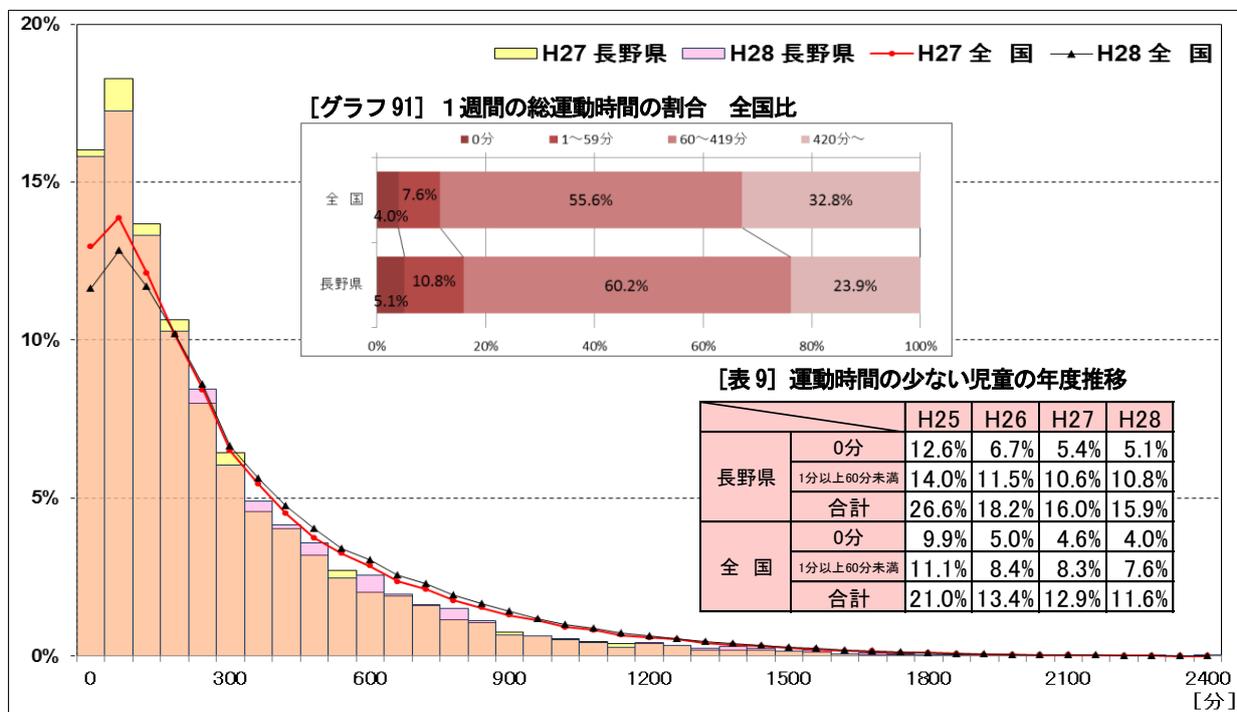


### 1 授業外における1週間の運動時間の前年度比及び全国比

[グラフ 88] 小学校男子 授業外における1週間の総運動時間



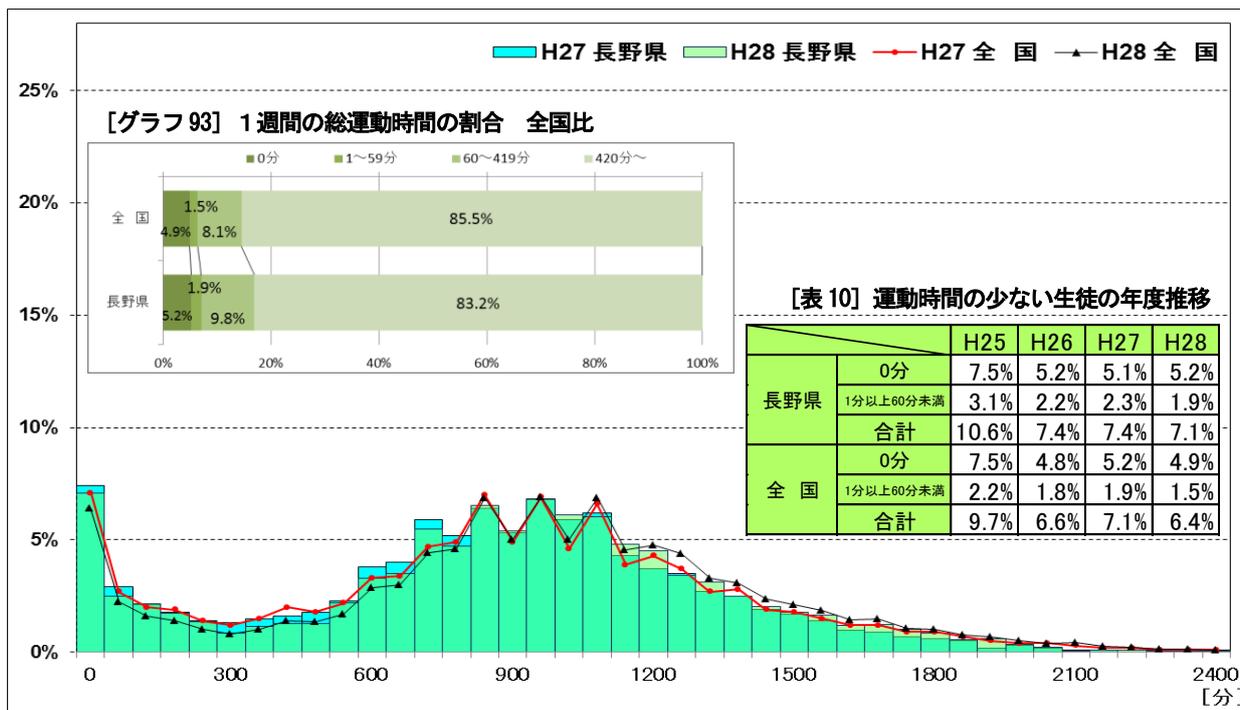
[グラフ 90] 小学校女子 授業外における1週間の総運動時間



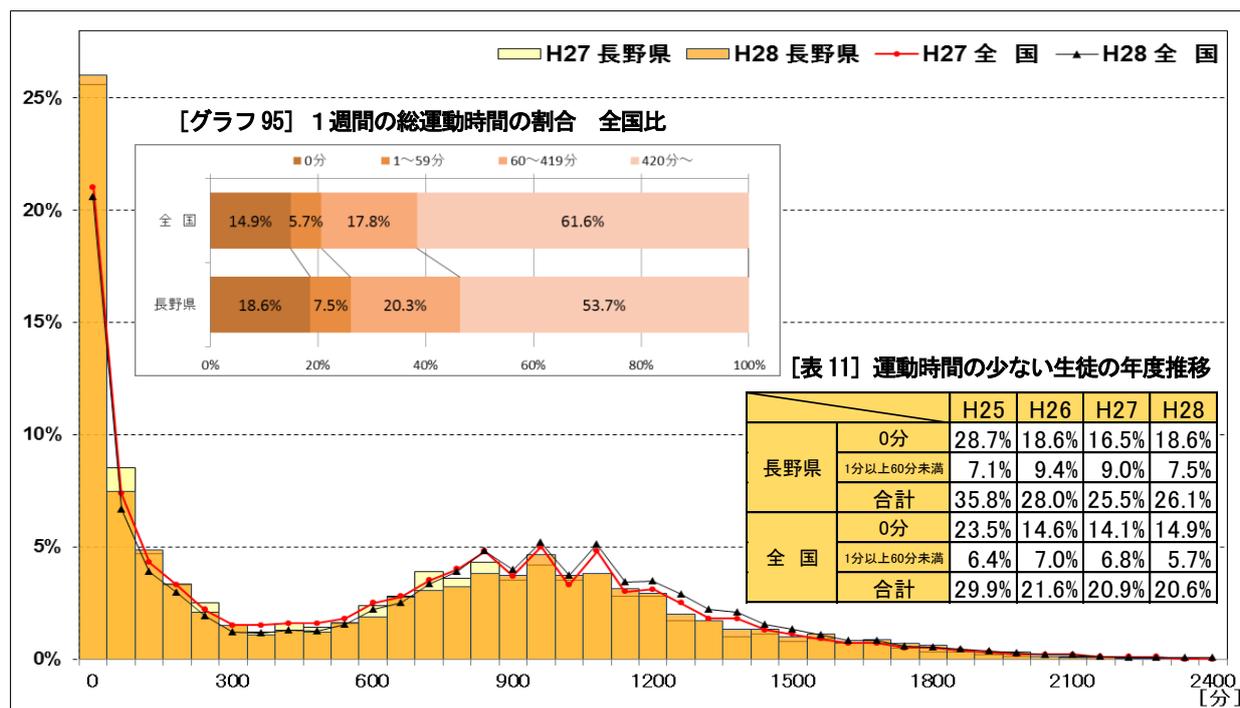
#### 小学校 授業外における1週間の総運動時間 (グラフ 88～91、表 8、9)

- ・本県の小学校男女とも1週間の総運動時間が0分の児童が減少した。特に、女子は60分未満の児童が減少するも全国と比較すると依然多い。
- ・本県の小学校男女とも1週間の総運動時間420分（1日60分）以上の割合が全国より少ない。

[グラフ 92] 中学校男子 授業外における 1 週間の総運動時間



[グラフ 94] 中学校女子 授業外における 1 週間の総運動時間

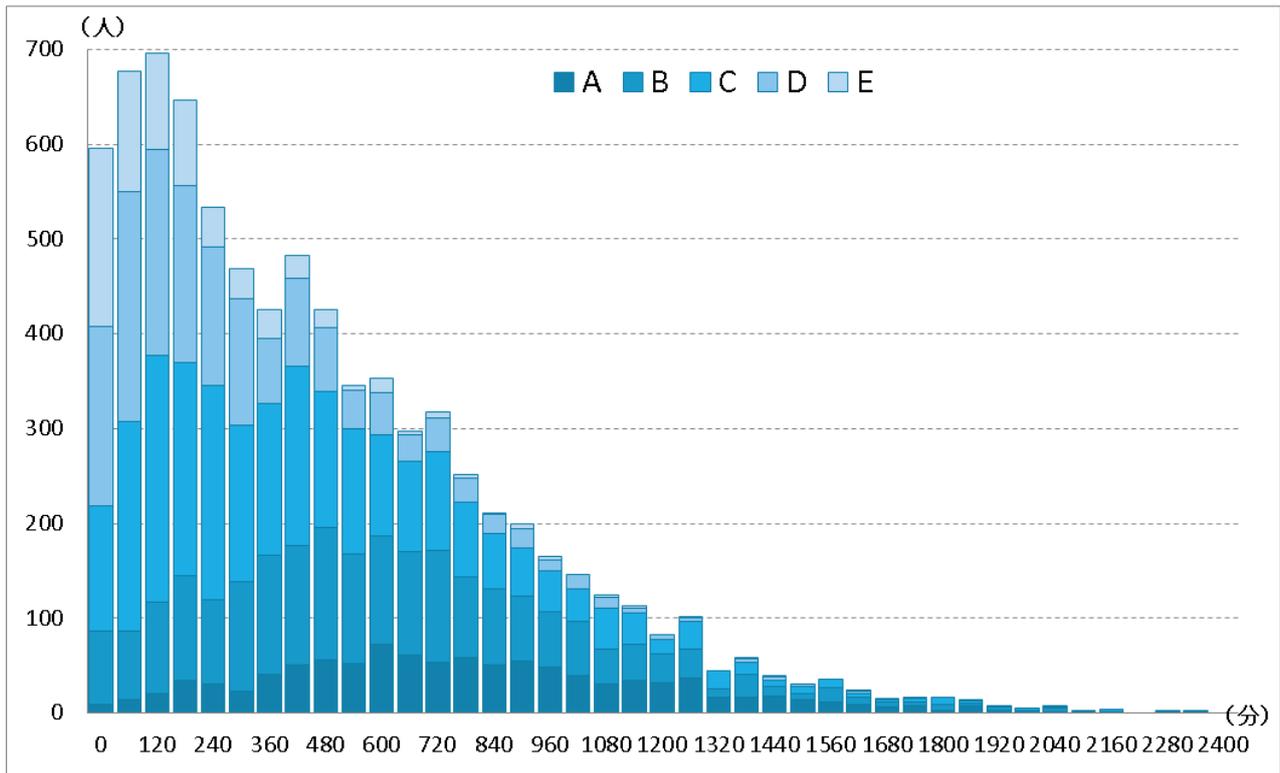


**中学校 授業外における 1 週間の総運動時間** (グラフ 92~95、表 10、11)

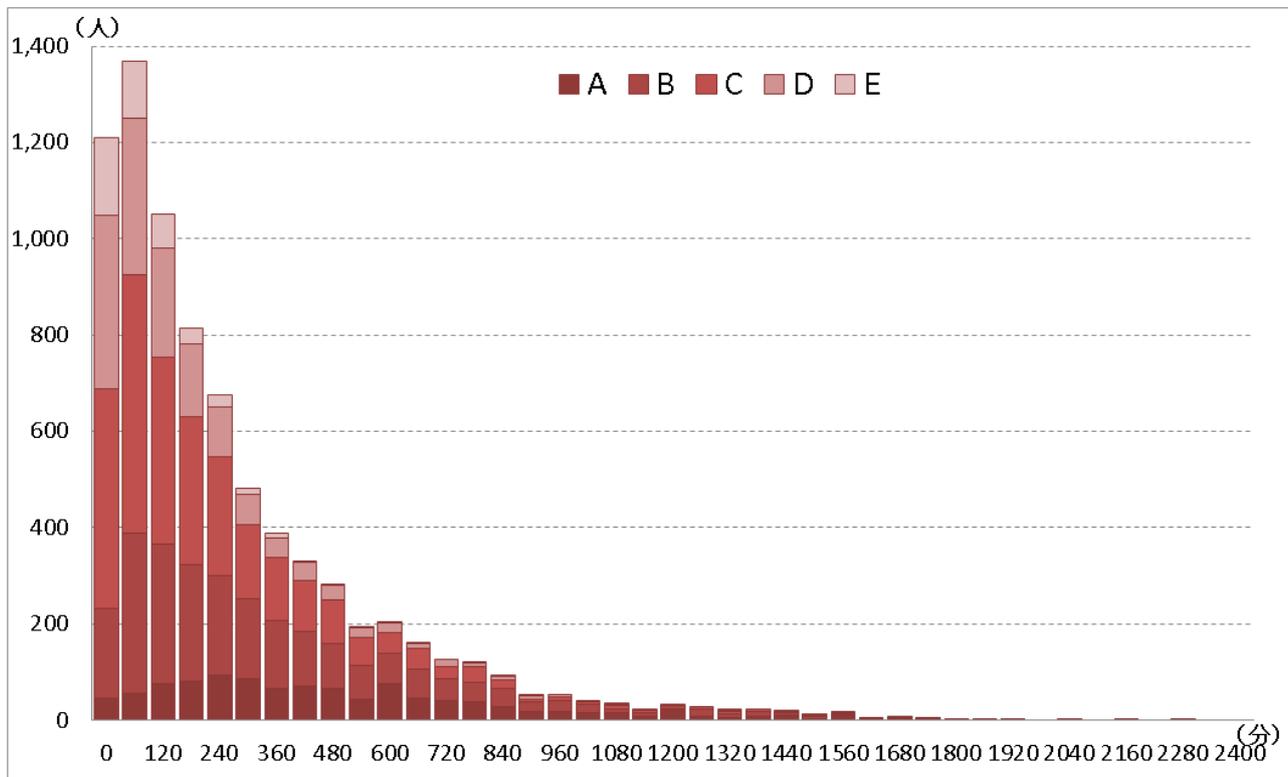
- ・本県の中学校男女とも 1 週間の総運動時間が 0 分の割合が増加し、男子は 0 分と 1 分以上 60 分未満と合わせると、3 ポイント減少したが、女子は 0.6 ポイント増加した。
- ・全国的に平成 25 年度から一定の成果を見ることはできるが、女子においては、0 分の生徒が前年度より増加した。

## 2 授業外における1週間の運動時間と体力合計点総合評価との相関

[グラフ 96] 小学校男子 授業外における1週間の総運動時間と体力合計点総合評価との相関



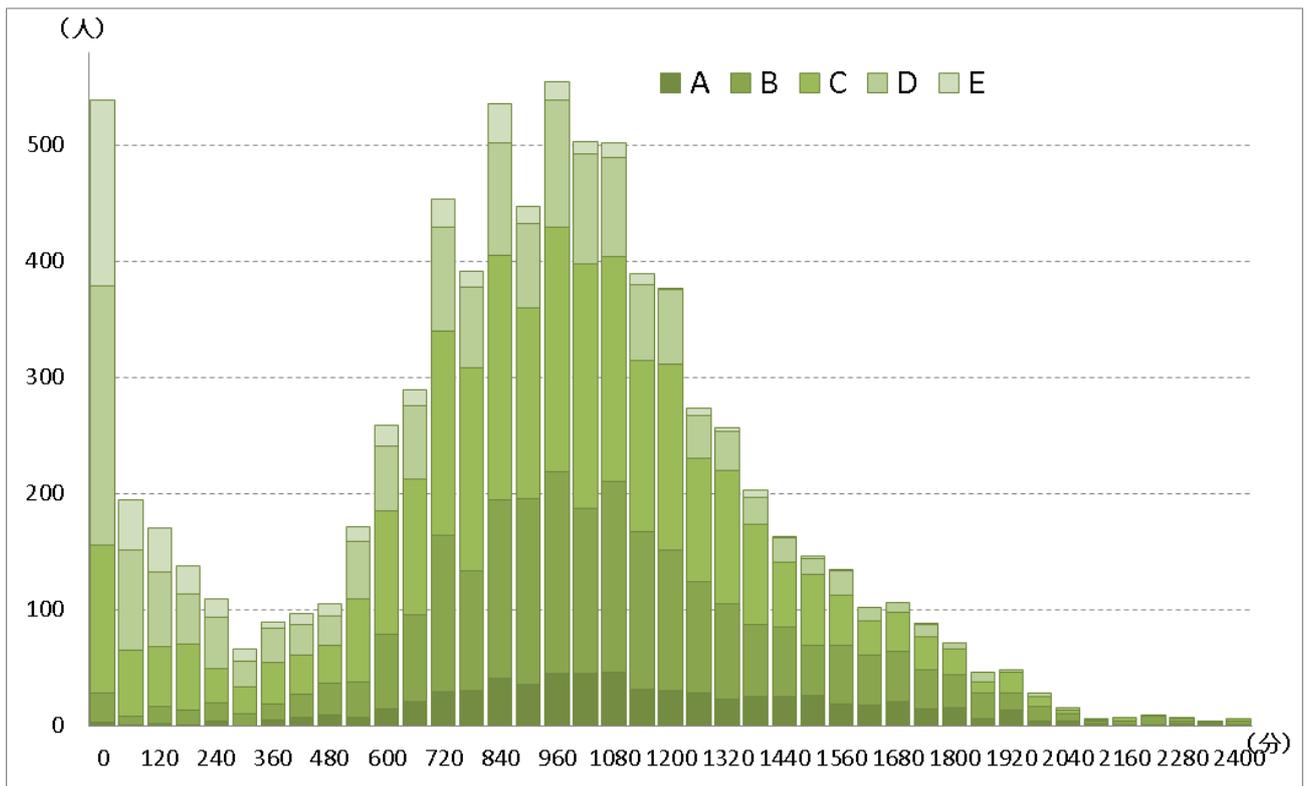
[グラフ 97] 小学校女子 授業外における1週間の総運動時間と体力合計点総合評価との相関



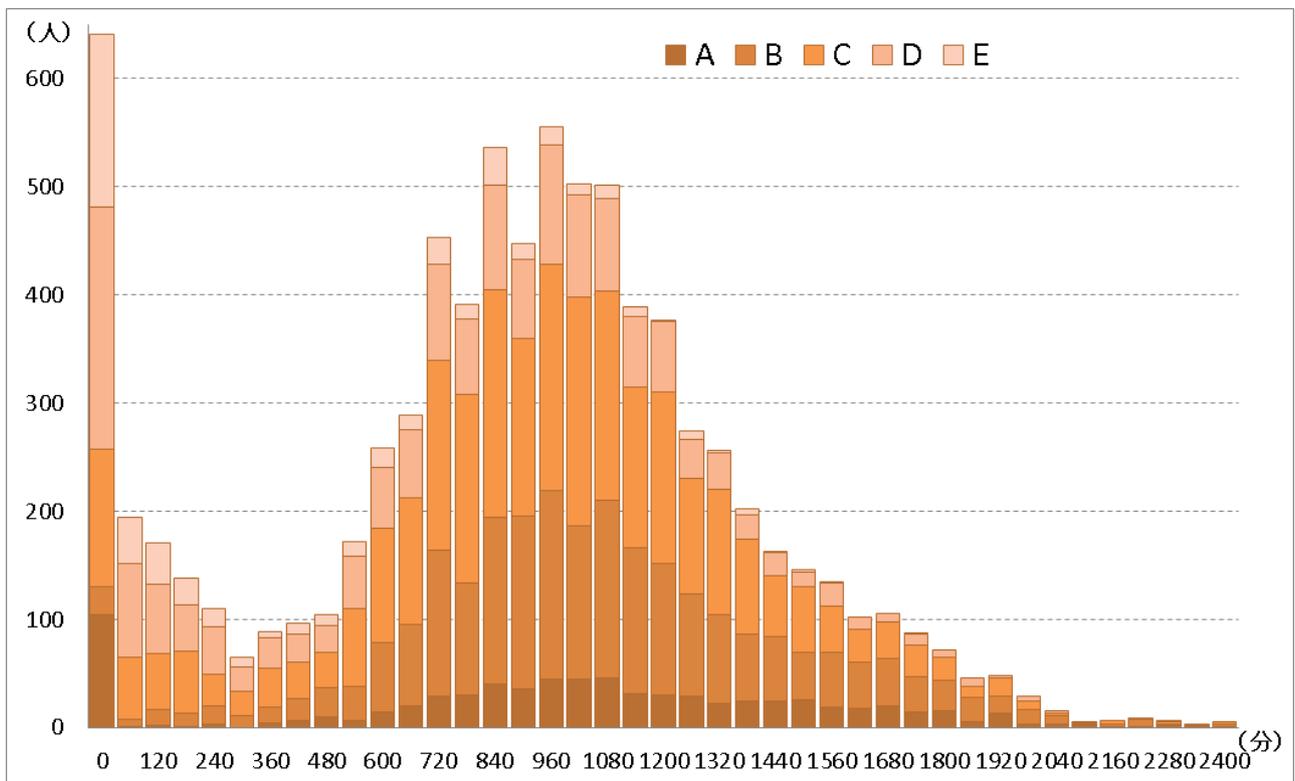
小学校 授業外における1週間の総運動時間と体力合計点総合評価との相関 (グラフ 96、97)

- ・男女とも0分及び1分以上60分未満の児童にD、E評価が多く、その傾向は男子の方が顕著に合われている。
- ・男子では600分、女子では300分を超えたところからA、B評価の割合が高くなる。

[グラフ 98] 中学校男子 授業外における1週間の総運動時間と体力合計点総合評価との相関



[グラフ 99] 中学校女子 授業外における1週間の総運動時間と体力合計点総合評価との相関



**中学校 授業外における1週間の総運動時間と体力合計点総合評価との相関**

(グラフ 98、99)

- ・男女とも0分の生徒にD、E評価が多い。
- ・男女とも960分を頂点にA、B評価の正規曲線が見られる。

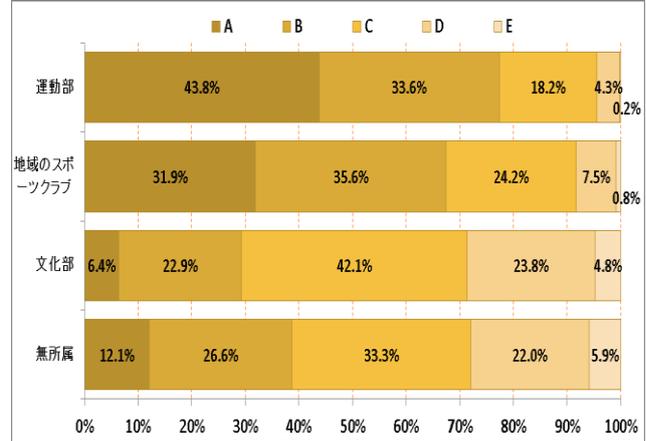
## V 中学校の運動部活動



スポーツ庁では「運動部活動の総合的なガイドライン」を策定するにあたり、本年度の本調査「生徒質問紙」「学校質問紙」において、運動部活動に関する調査を実施した。

### 1 本県の運動部等の所属状況と総合評価との相関

【グラフ100】中学校男子 所属状況と体力合計点総合評価 【グラフ101】中学校女子 所属状況と体力合計点総合評価



\* 運動部は、「運動部+文化部」「運動部+地域スポーツクラブ」「運動部+文化部+地域スポーツクラブ」を含む。  
また、地域スポーツクラブは、「地域スポーツクラブ+文化部」を含む。

#### 所属状況と体力合計点総合評価との相関

(グラフ100、101)

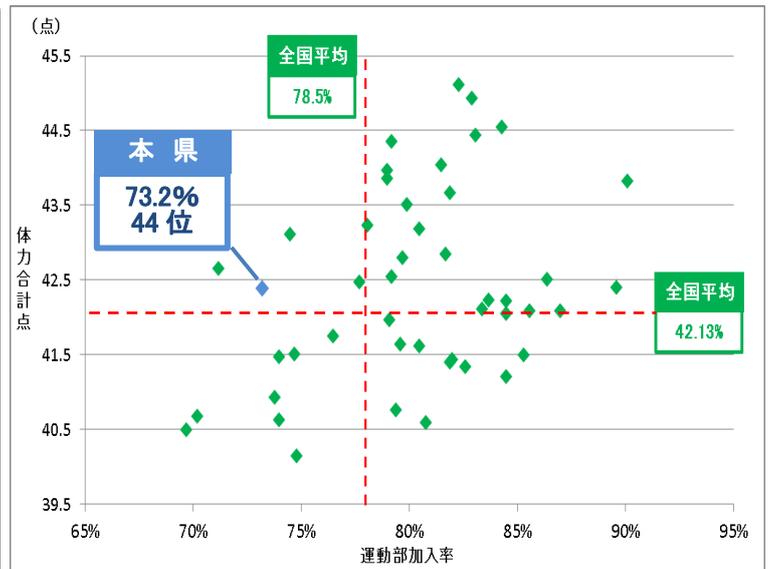
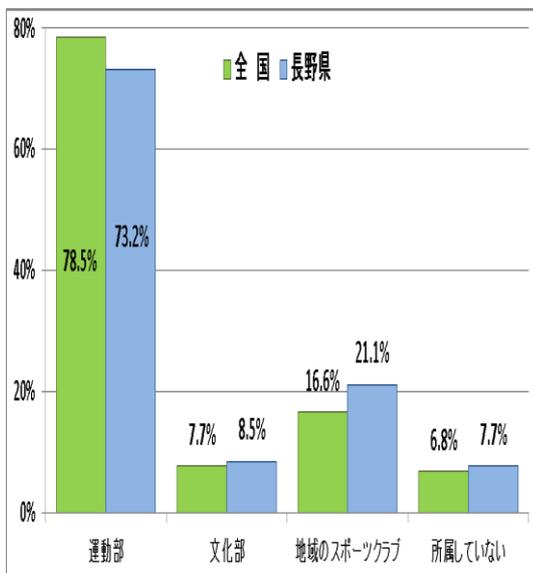
- ・男女とも運動部や地域のスポーツクラブに所属している生徒の方が、体力合計点総合評価におけるA・B判定の割合が高い。
- ・運動部や地域のスポーツクラブに所属している生徒の体力合計点総合評価におけるA、B判定の割合が高いのは、女子の方が顕著である。

### 2 部活動等の所属状況及び運動部加入率と体力合計点との相関

【生徒質問紙10】学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。\*複数回答可

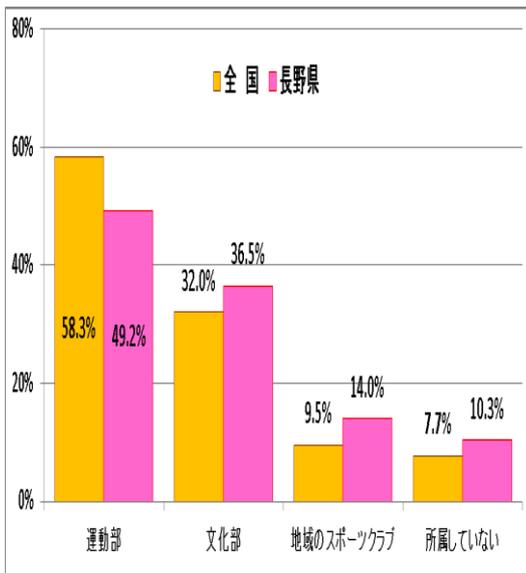
【グラフ102】中学校男子 所属状況(全国比)

【グラフ103】運動部加入率と体力合計点の相関

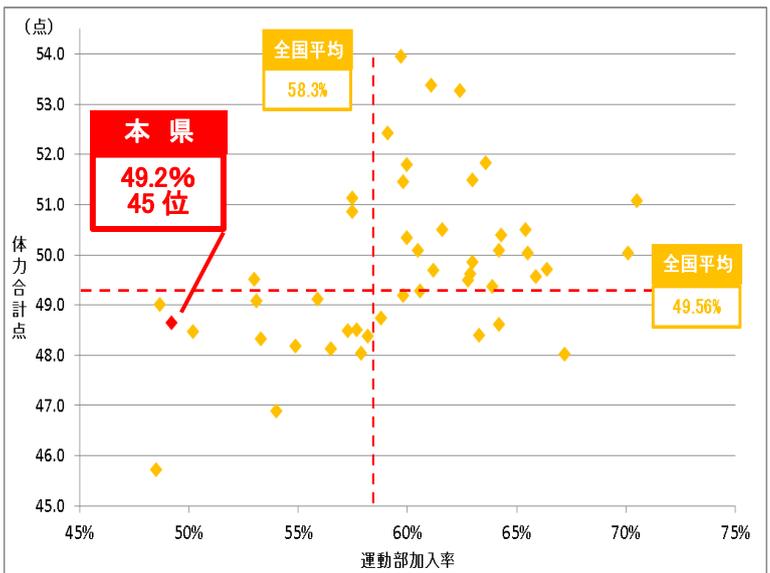


\* 47都道府県のそれぞれの運動加入率と体力合計点を散布図に表した。

【グラフ104】中学校女子 所属状況（全国比）



【グラフ105】運動部加入率と体力合計点の相関



\* 47都道府県のそれぞれの運動加入率と体力合計点を散布図に表した。

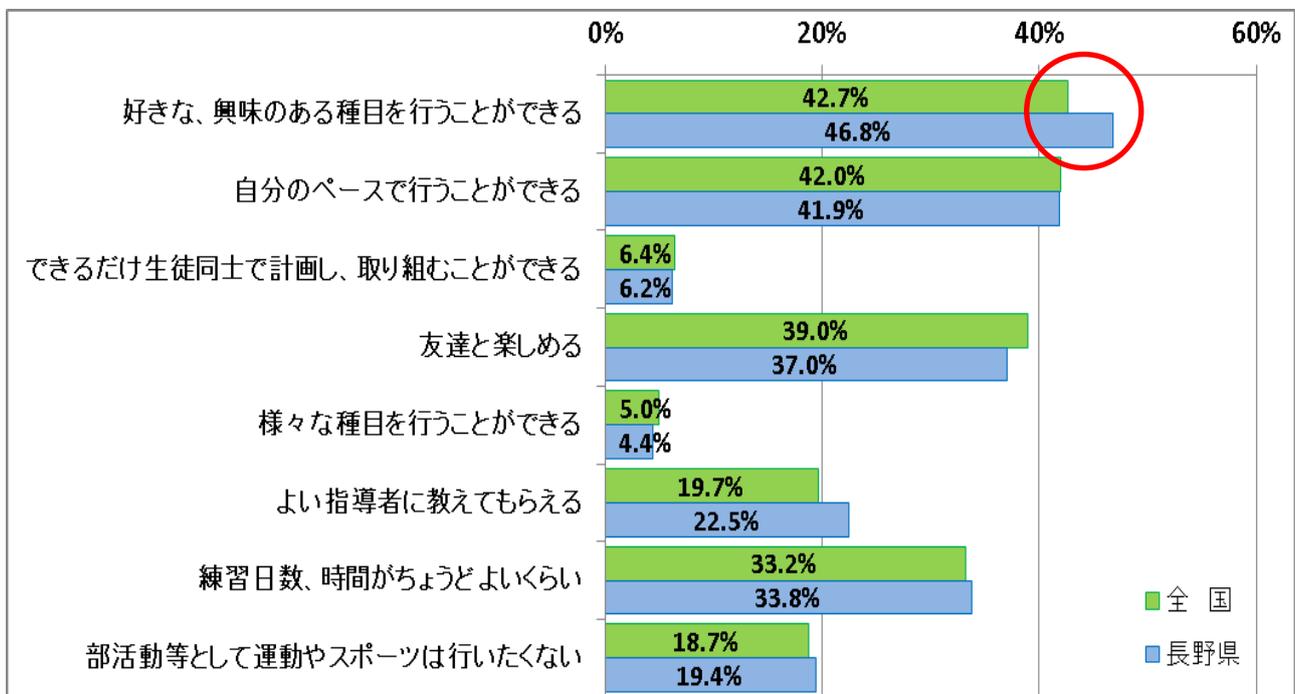
**部活動等の所属状況及び運動部加入率と体力合計点の相関 (グラフ102~105)**

- ・男女とも運動部の所属率は全国平均より低い。(男子44位、女子45位)
- ・男女とも文化部と地域のスポーツクラブの所属率は高く、特に、女子の文化部所属率は全国3位。
- ・男女とも部活動や地域のスポーツクラブに所属していない割合が全国より高い。
- ・運動部加入率が全国平均より低い都道府県は、体力合計点も低い傾向にある。

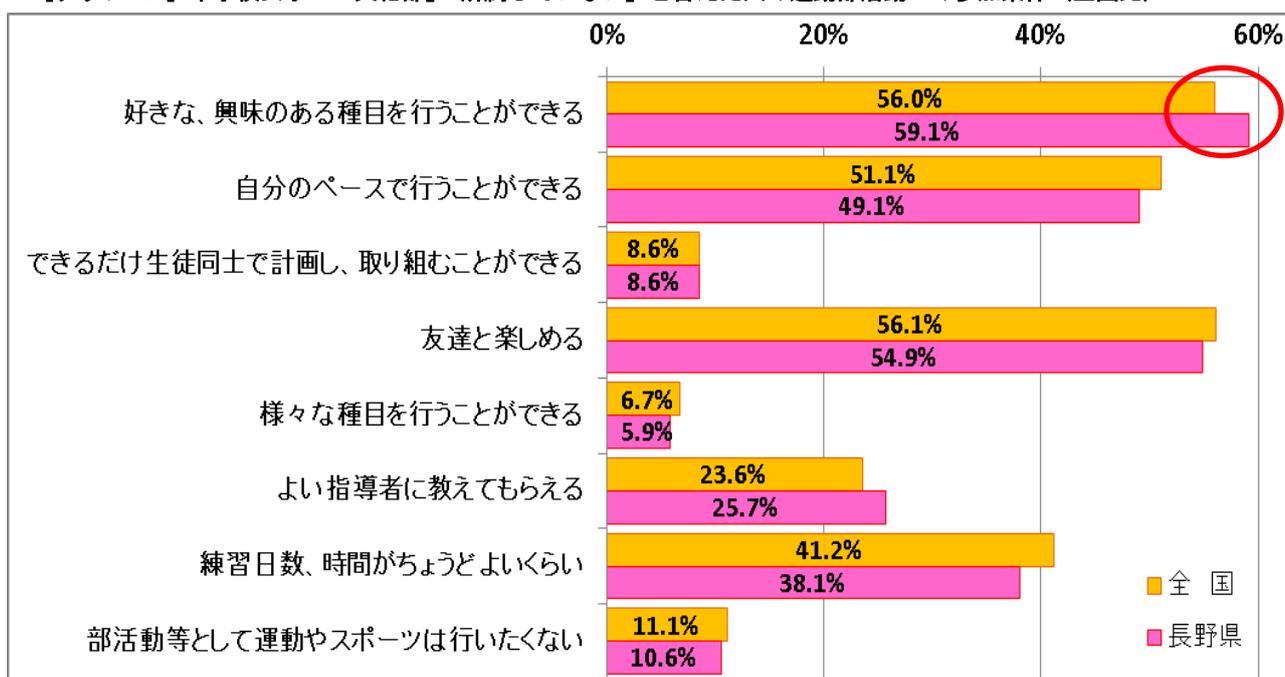
**3 運動部活動への参加条件**

【生徒質問紙10-2】どのような条件があれば、運動部活動に参加したいと思いますか。 \*複数回答可

【グラフ106】中学校男子 「文化部」「所属していない」と答えた人の運動部活動への参加条件（全国比）



【グラフ 107】 中学校女子 「文化部」「所属していない」と答えた人の運動部活動への参加条件（全国比）



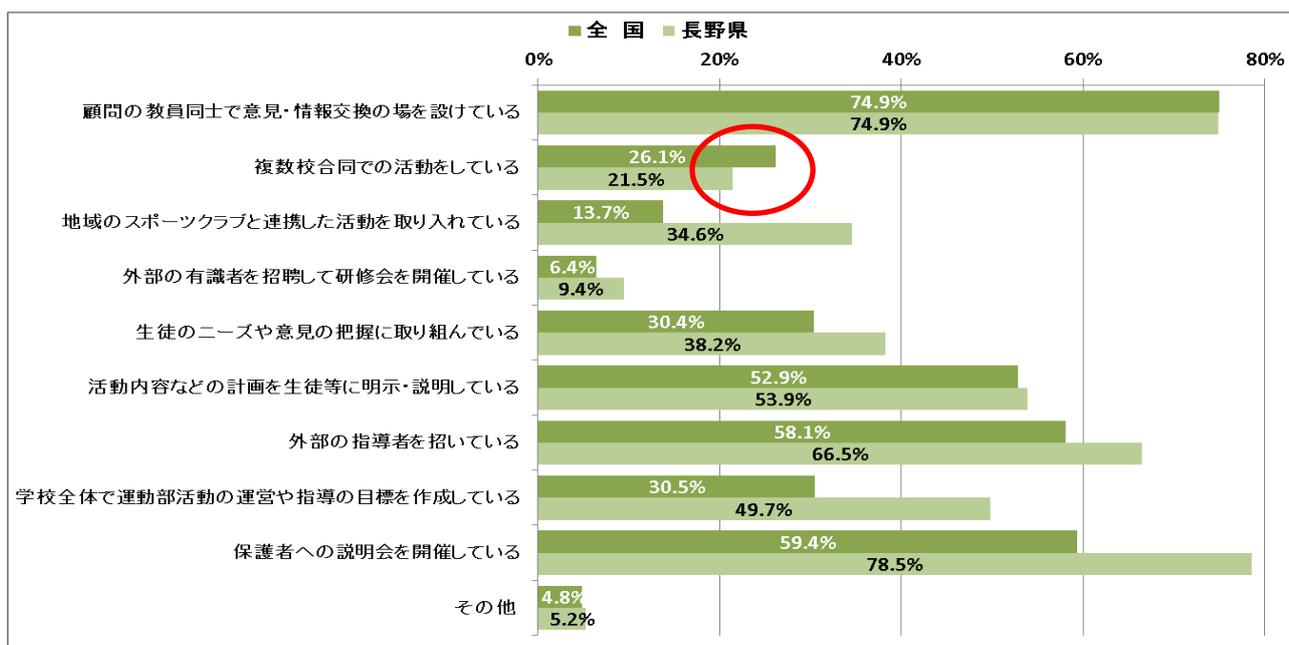
**運動部活動への参加条件** (グラフ 106、107)

- ・男女とも「好きな、興味のある種目を行うことができる」が全国平均より高く、小中規模校が多いために部の設置数が限られ、自分のやりたい種目ができない本県の特徴が浮かび上がっている。
- ・男女の比較では、女子が「友だちと楽しめる」ことや「自分のペースで行うことができる」「練習日数、時間がちょうどよい」等の条件を挙げている生徒が多い。

**4 指導内容や指導方法の充実のための取組**

【学校質問紙 18】 運動部活動での指導内容や指導方法の充実のためにどのような取組を行っていますか。

【グラフ 108】 運動部活動での指導内容や指導方法の充実のための取組

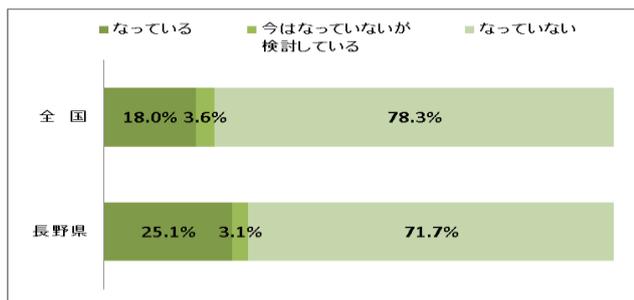


**指導内容や指導方法の充実のための取組** (グラフ 108)

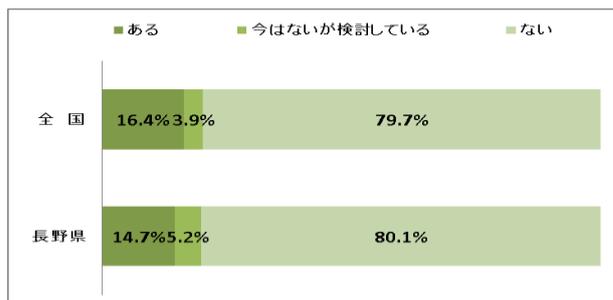
- ・本県は「保護者への説明会の開催」をはじめ指導内容・方法の充実のため様々な取組を行っている。
- ・「複数校合同での活動をしている」が全国より低く、近隣校と遠距離が影響するものと考えられる。

【学校質問紙 19】 生徒のニーズに応じて、複数の運動部に所属できるようになっていますか。

【グラフ 109】 複数運動部への所属可否



【グラフ 110】 運動を含む複数活動の部活動の可否



【表 12】 複数の運動部に所属可能の割合が高い上位都道府県

1	福島県	44.6%
2	山梨県	41.3%
3	東京都	31.0%
4	岩手県	28.7%
5	徳島県	28.2%
6	長野県	25.1%
7	高知県	25.0%
8	北海道	24.7%
9	栃木県	24.1%
10	新潟県	23.9%

**生徒のニーズに応じた複数の活動の可否** (グラフ 109、110、表 12)

- 近年、生徒のニーズに応じた部活動の形態が課題とされており「総合運動部」等を設置する学校もあるが、普及には至っていない。
- 本県では、冬季種目と夏季種目を複数の運動部に所属できる学校があり、複数所属可能の割合が高い都道府県に位置する。

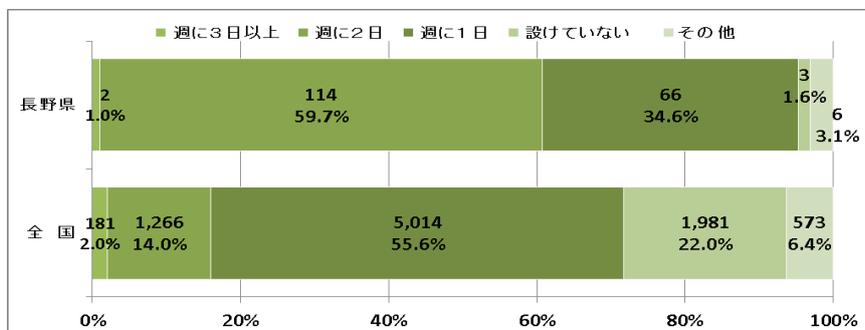
**5 休養日の設定**

【学校質問紙 21】 学校の決まりとして、部活動において、週に何日程度の休養日を設けていますか。

【学校質問紙 21-2】 土日に休養日を設けていますか。(質問21で「週に1~3日」または「その他」と回答した学校)

【グラフ 111】 学校の決まりとしての部活動の休養日の設定

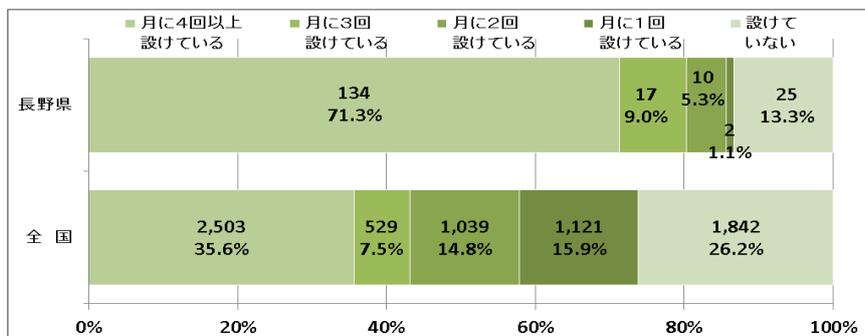
\*「その他」は、「月に2日」等



【表 13】 学校の決まりとして週2日以上の休養日の設定

1	山形県	71.88%
2	長野県	60.73%
3	静岡県	58.57%
4	茨城県	54.05%
5	岐阜県	46.63%
45	長崎県	3.37%
46	大阪府	2.86%
47	石川県	1.22%

【グラフ 112】 土日の休養日の設定



【表 14】 学校の決まりと土日の週1回の休養日の設定

1	福井県	77.27%
2	山形県	73.96%
3	長野県	71.28%
4	宮城県	65.45%
5	福島県	61.50%
45	宮崎県	11.86%
46	岩手県	11.27%
47	香川県	10.42%

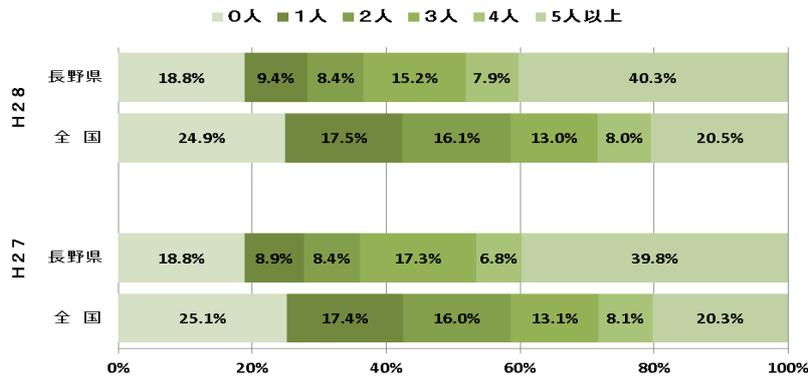
**休養日の設定** (グラフ 111、112、表 13、14)

- 本県では、長野県中学生期のスポーツ活動指針の策定以降、「平日に1日、休日に1日の休養日」を設定している学校が多い。

## 6 外部人材の活用

[学校質問紙 22] 平成 27、28 年度に運動部活動に外部人材を何人活用していますか。(H28 は予定を含む)

[グラフ 113] 外部人材の活用について



【表 15 1校あたりの外部人材の活用平均数】

1	山形県	4.24
2	富山県	3.80
3	岩手県	3.60
4	岐阜県	3.53
5	長崎県	3.40
6	熊本県	3.33
7	石川県	3.28
8	沖縄県	3.18
9	東京都	3.08
10	長野県	3.05

\*「5人以上」の回答を5人とした概算

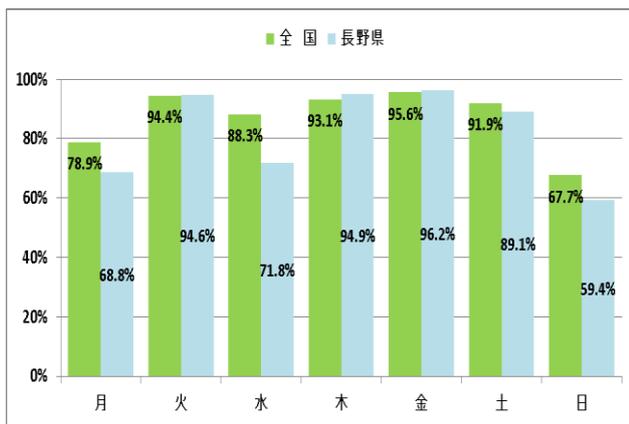
### 外部人材の活用 (グラフ 113、表 15)

- ・本県では、学習指導要領にも示されているように、運営上の工夫として地域の人々の協力を得た外部人材の活用が積極的に図られている。

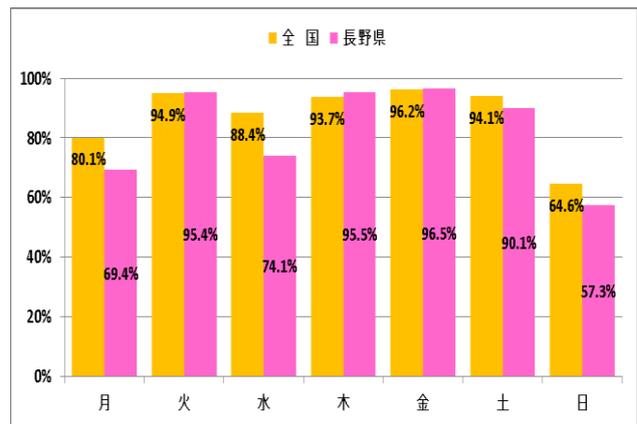
## 7 曜日ごとの運動実施と1週間の運動実施平均時間

[生徒質問紙 5] 運動部活動に所属している場合、部活動が占める時間について記入してください。

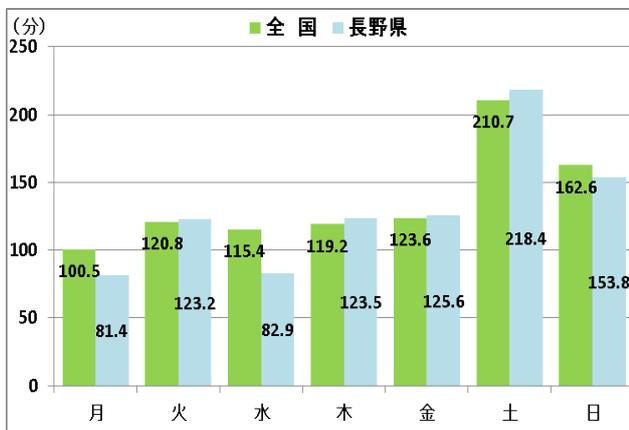
[グラフ 114] 男子の曜日ごとの運動実施率



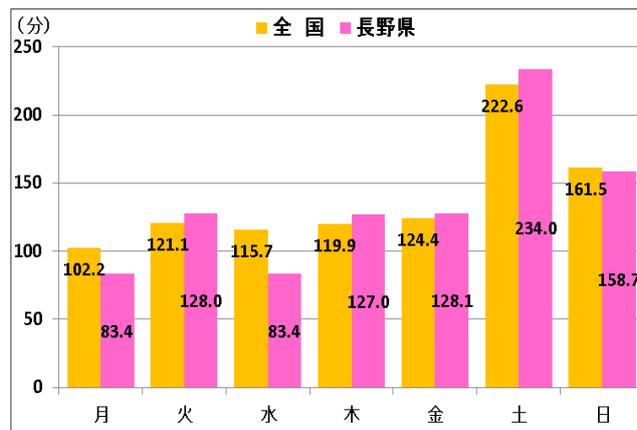
[グラフ 115] 女子の曜日ごとの運動実施率



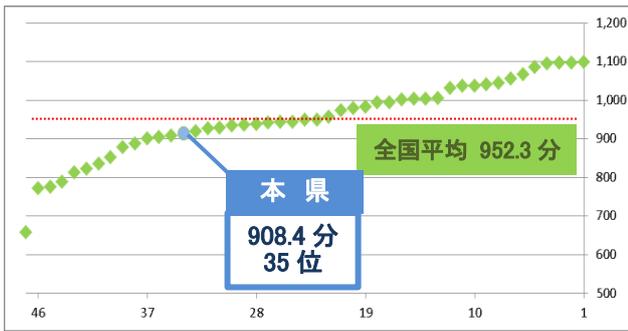
[グラフ 116] 男子の曜日ごとの運動実施平均時間



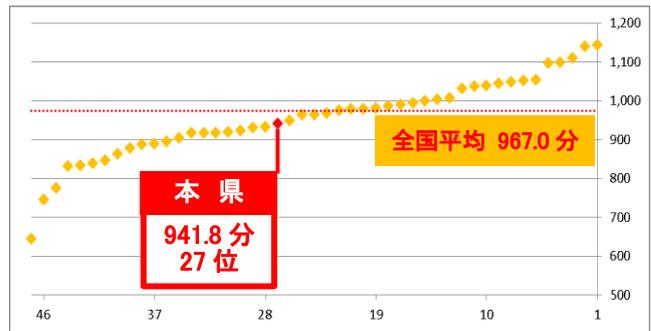
[グラフ 117] 女子の曜日ごとの運動実施平均時間



[グラフ 118] 男子 1 週間運動実施平均時間（都道府県比）



[グラフ 119] 女子 1 週間運動実施平均時間（都道府県比）



**曜日ごとの運動実施と1週間の運動実施平均時間**

(グラフ 118~119)

- ・本県ではノー部活デーを月曜又は水曜に設定する学校が多く、実施率並びに実施時間が全国平均より低い。
- ・1週間における運動部活動の運動実施平均時間は、男子 44 分（1日あたり 6分）女子 25 分（1日あたり 3分半）全国平均より少ない。

## VI 体力合計点の上位群と下位群との比較



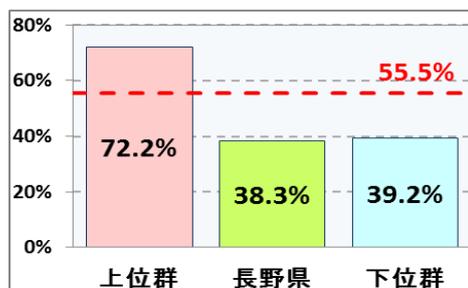
男女の体力合計平均点が上位と下位5都道府県と本県の「学校質問紙結果」における平均値を比較した。

〈平均値算出方法 上位群の例〉 上位5県回答学校数÷上位5県調査対象学校数(公立) \* 点線は、全国平均(公立)を示す。

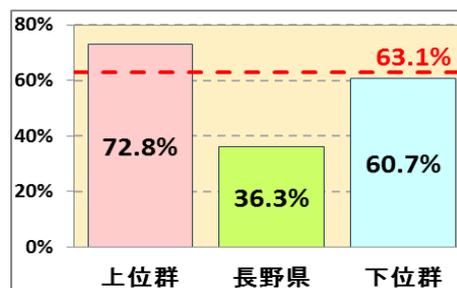
### 1 児童の体力・運動能力の向上に係る取組

(1) 前年度、小4、中1の体力・運動能力向上の目標設定を行った

〔グラフ120〕 小学校 当該学年の目標設定

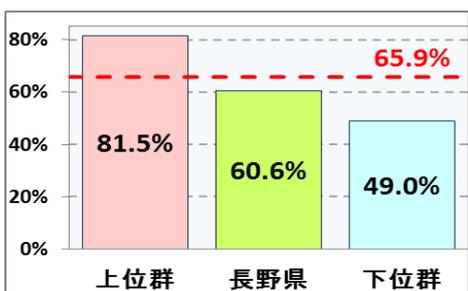


〔グラフ121〕 中学校 当該学年の目標設定

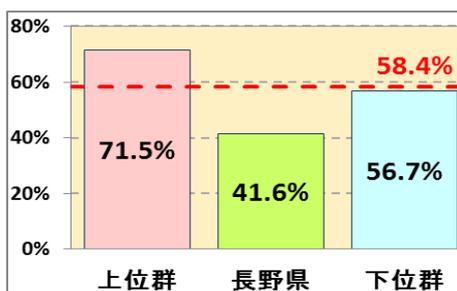


(2) 前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定を行った

〔グラフ122〕 小学校 学校全体の目標設定

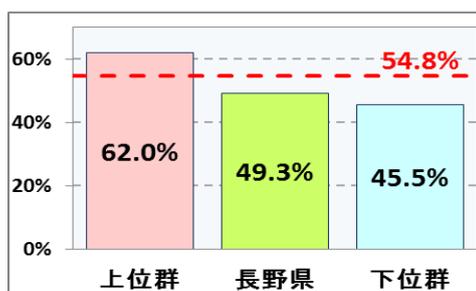


〔グラフ123〕 中学校 学校全体の目標設定

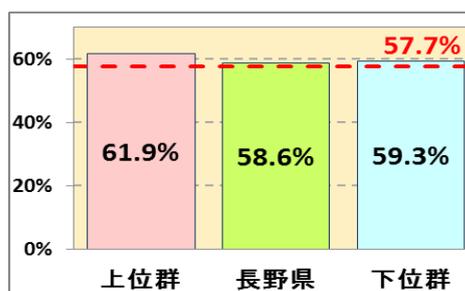


(3) 運動・スポーツが苦手な児童・生徒向けの取組、性別に応じた取組を行った

〔グラフ124〕 小学校 苦手な児童への取組等



〔グラフ125〕 中学校 苦手な生徒への取組等



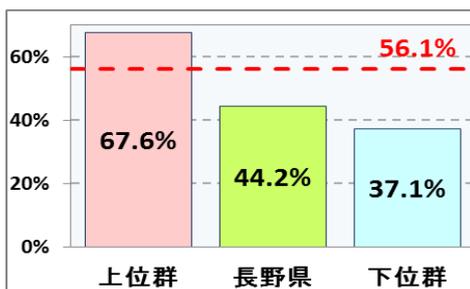
### 児童の体力・運動能力の向上に係る取組 (グラフ120～125)

- ・「前年度、小4、中1や学校全体の目標」においては、上位群と下位群の差が顕著に表れている。本県は、下位群または全国平均を下回っており、特に中学校においては、その差が顕著に表れている。
- ・「運動・スポーツが苦手な児童・生徒向けの取組、性別に応じた取組」は、中学校においては、上位群、本県、下位群の差がほとんどないが、小学校においては、上位群における取組の割合が本県や下位群に比べて高い。教科担任制ではない小学校においても上位群の積極的な指導等の取組が伺える。

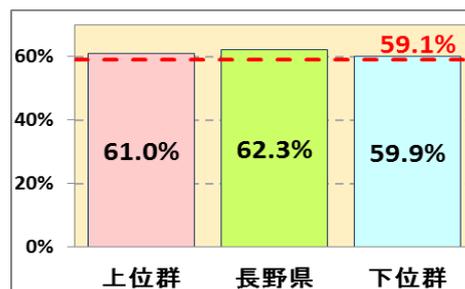
## 2 学校の体育・保健体育授業

(1) 調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行った

[グラフ 126] 小学校 調査結果と授業改善

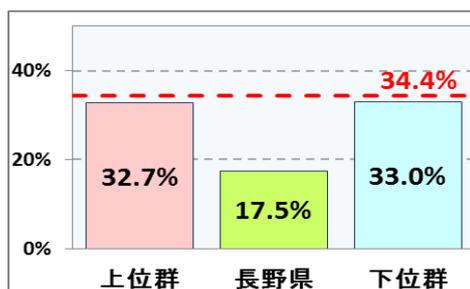


[グラフ 127] 中学校 調査結果と授業改善

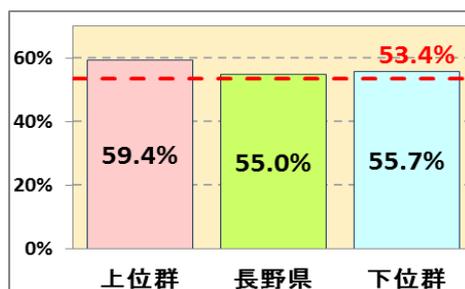


(2) 体育・保健体育授業の目標を児童・生徒に示す活動を行った

[グラフ 128] 小学校 授業の目標設定

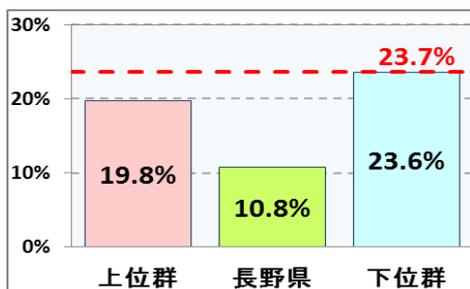


[グラフ 129] 中学校 授業の目標設定

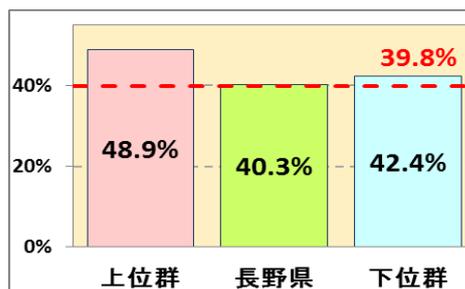


(3) 体育・保健体育授業で学習したことを振り返る活動を行った

[グラフ 130] 小学校 授業の振り返り

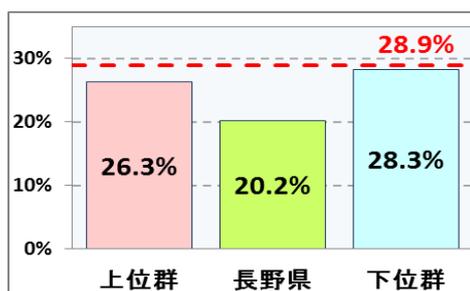


[グラフ 131] 中学校 授業の振り返り

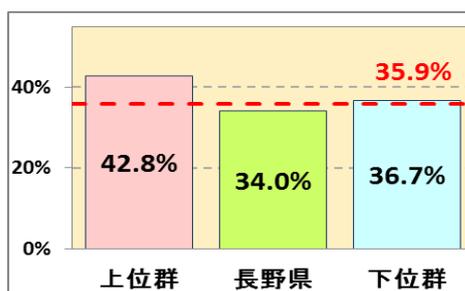


(4) 体育・保健体育授業で児童・生徒同士が助け合い、役割を果たす活動を行った

[グラフ 132] 小学校 協働的な学習活動

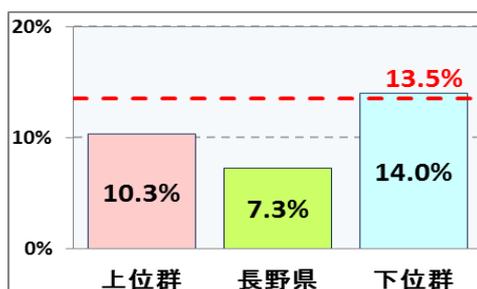


[グラフ 133] 中学校 協働的な学習活動

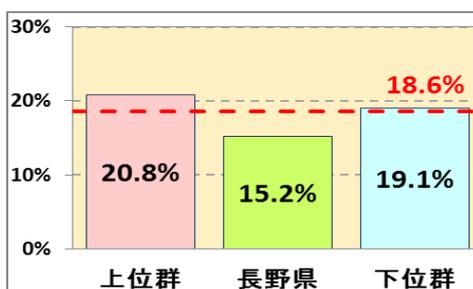


(5) 体育・保健体育授業で児童・生徒同士で話し合う活動を行った

[グラフ 134] 小学校 話し合い活動



[グラフ 135] 中学校 話し合い活動

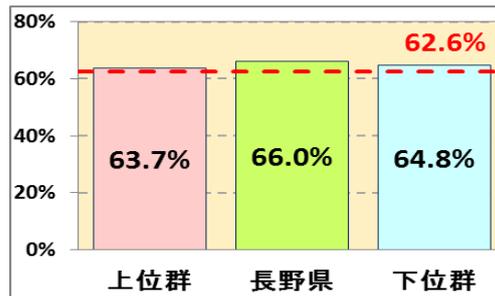


(6) 体育・保健体育指導で授業中のICTの活用した

[グラフ136] 小学校 ICTの活用

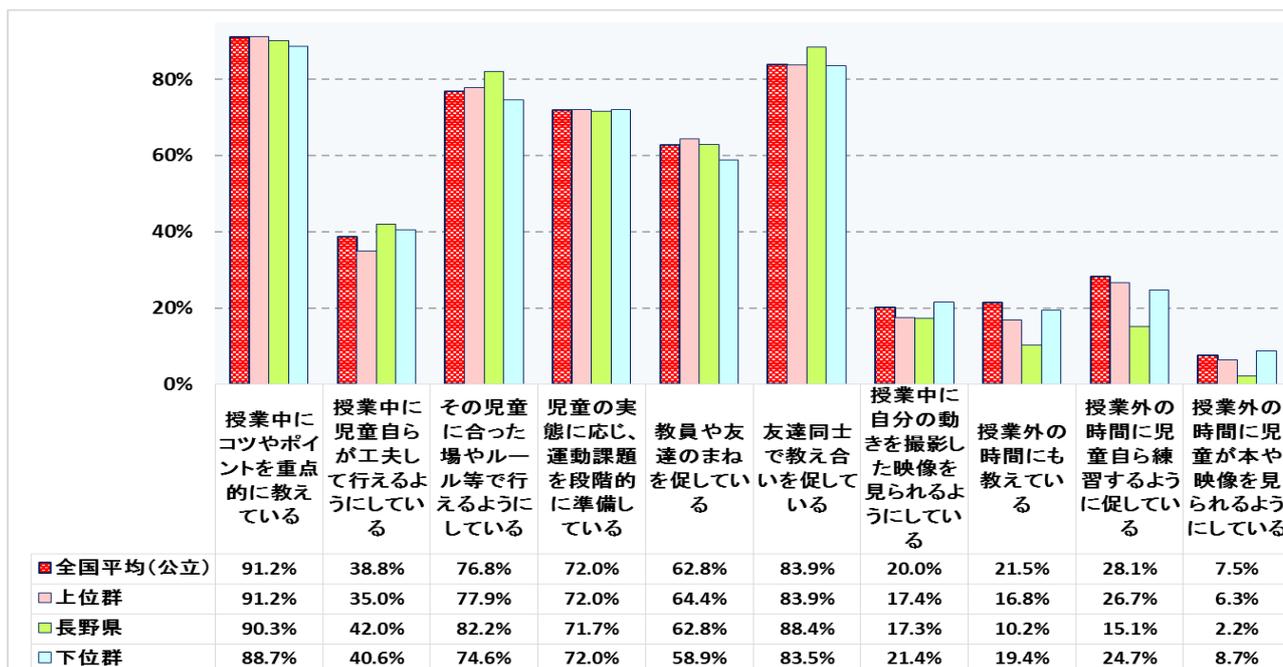


[グラフ137] 中学校 ICTの活用

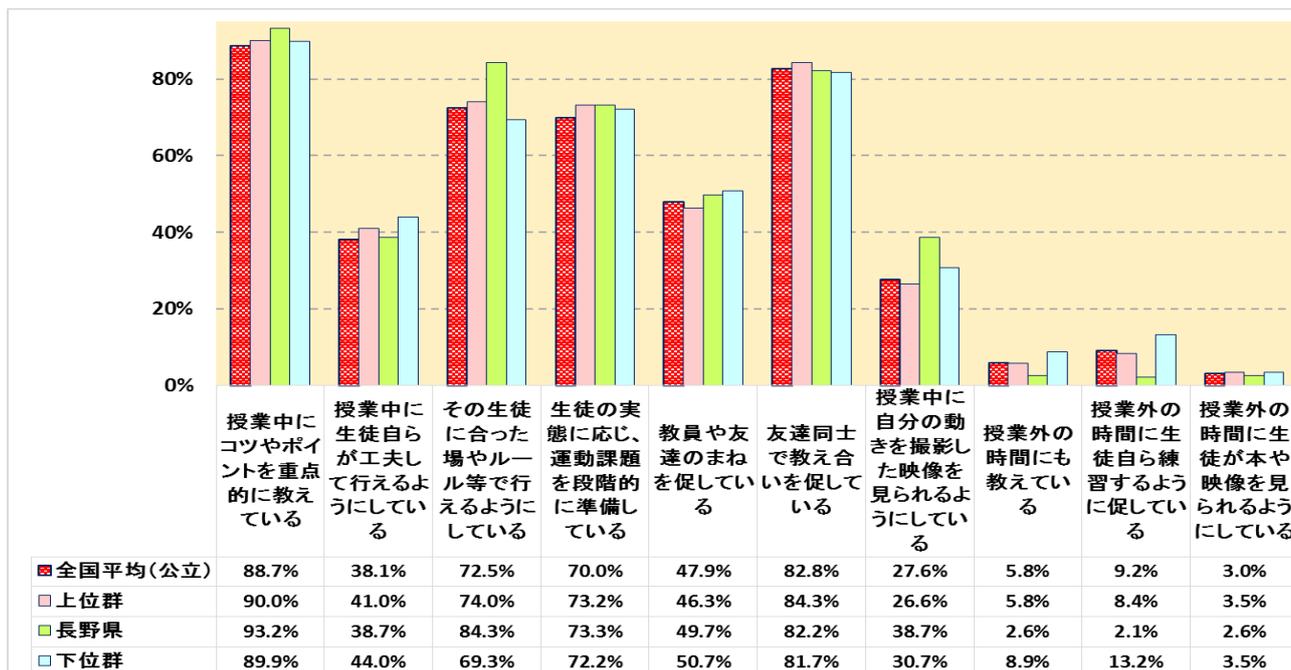


(7) 体育・保健体育授業で努力を要する児童・生徒に対する取組を行った (複数回答可)

[グラフ138] 小学校 努力を要する児童に対する取組

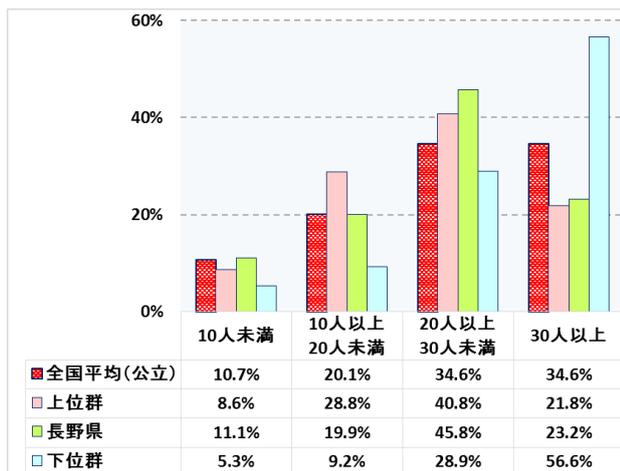


[グラフ139] 中学校 努力を要する生徒に対する取組

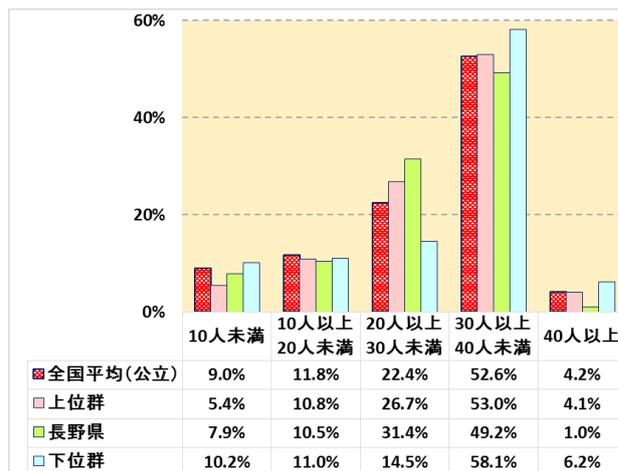


(8) 教員1名あたりの指導する児童・生徒人数

[グラフ140] 小学校 教員一人の指導児童数

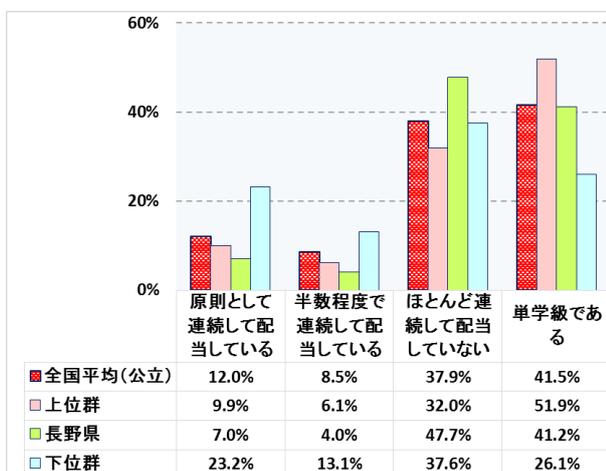


[グラフ141] 中学校 教員一人の指導生徒数

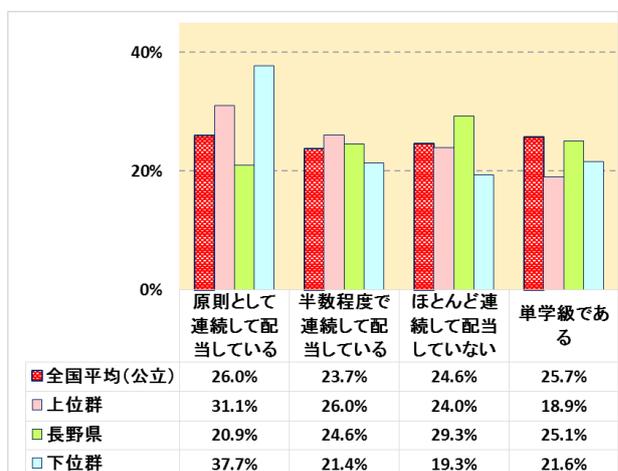


(9) 準備・片付けの時間を短縮するなどの理由による小5・中2の体育・保健体育授業の連続配当

[グラフ142] 小学校 当該学年授業の連続配当



[グラフ143] 中学校 当該学年授業の連続配当

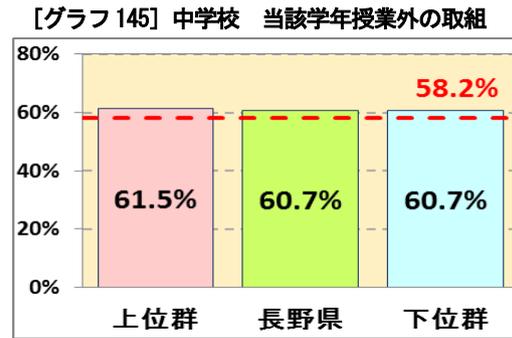
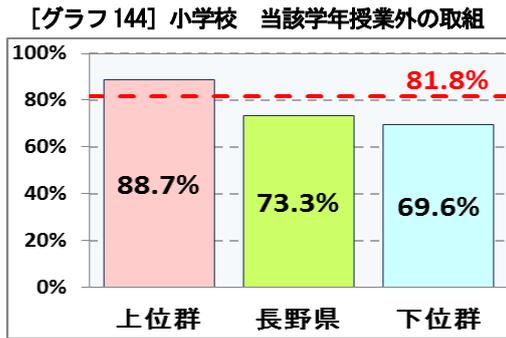


学校の体育・保健体育授業 (グラフ126~143)

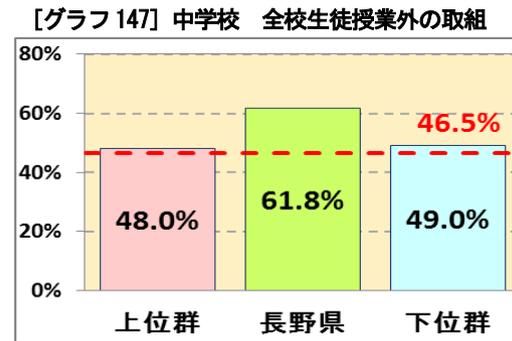
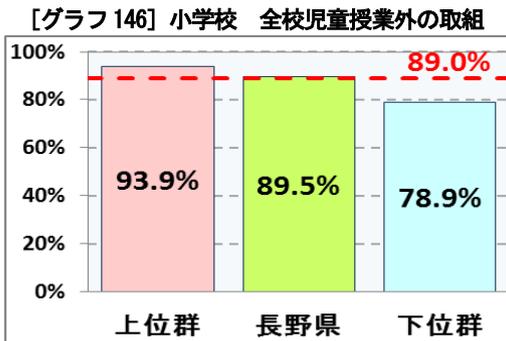
- 「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善」が、小中学校とも上位群と下位群の差が見られた。しかし、小学校では「目標の設定」「振り返り」「協力」「話し合い」などの体育授業の学習活動は、上位群と下位群の差が見られない。
- 本県中学校においては、「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善」や「目標の設定」「振り返り」「協働」の体育授業の学習活動は、上位群には及ばないものの全国平均を上回った。
- 本県小学校においては、「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善」は下位群を上回ったものの、「目標の設定」「振り返り」「協働」の体育授業の学習活動は、全国平均及び下位群を大きく下回った。
- ICTの活用においては、本県中学校は、上位群や全国平均を上回ったが、小学校では、全国平均を大きく下回った。
- 「努力を要する児童への取組」は、本県中学校は、「授業中にポイントやコツを重点的に教える」が高いのに対し、本県小学校は、児童の主体性を尊重する授業を心がけていることから、「児童自ら工夫させる」「児童に合った場やルールへの提示」「友だち同士で教え合いを促す」が全国平均より高く、直接的な教授行動が少ないことが伺える。
- 「教員1名あたりの指導する児童・生徒人数」は、小中学校とも下位群が30人以上の割合が高い。

### 3 学校における体育・保健体育授業以外の取組

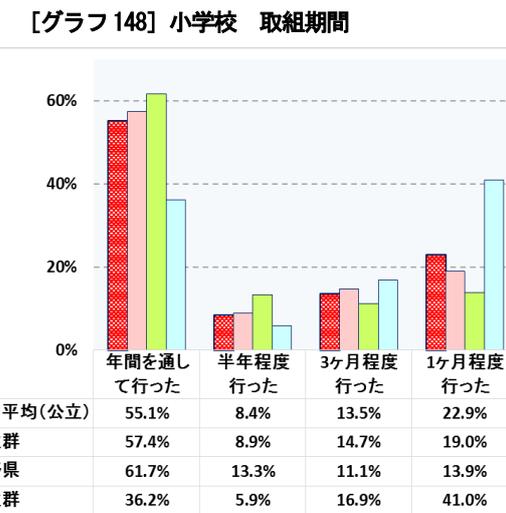
(1) 前年度、小4・中2に体育・保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を行った



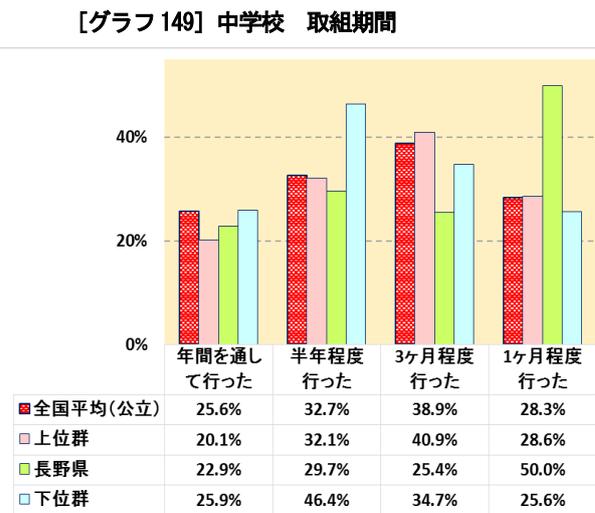
(2-1) 前年度、全児童・生徒に体育・保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を行った



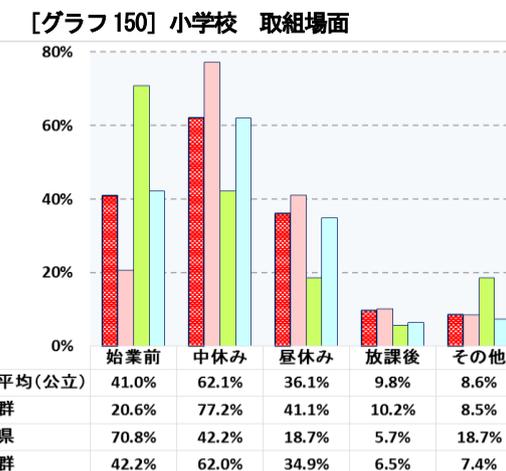
(2-2) その取組の期間 (複数回答可)



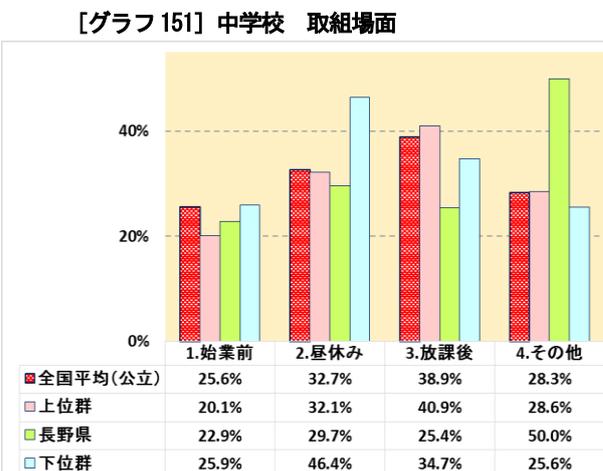
\* 2-1で「行った」と回答の学校のみ回答



(2-3) その取組の実施場面(複数回答可)



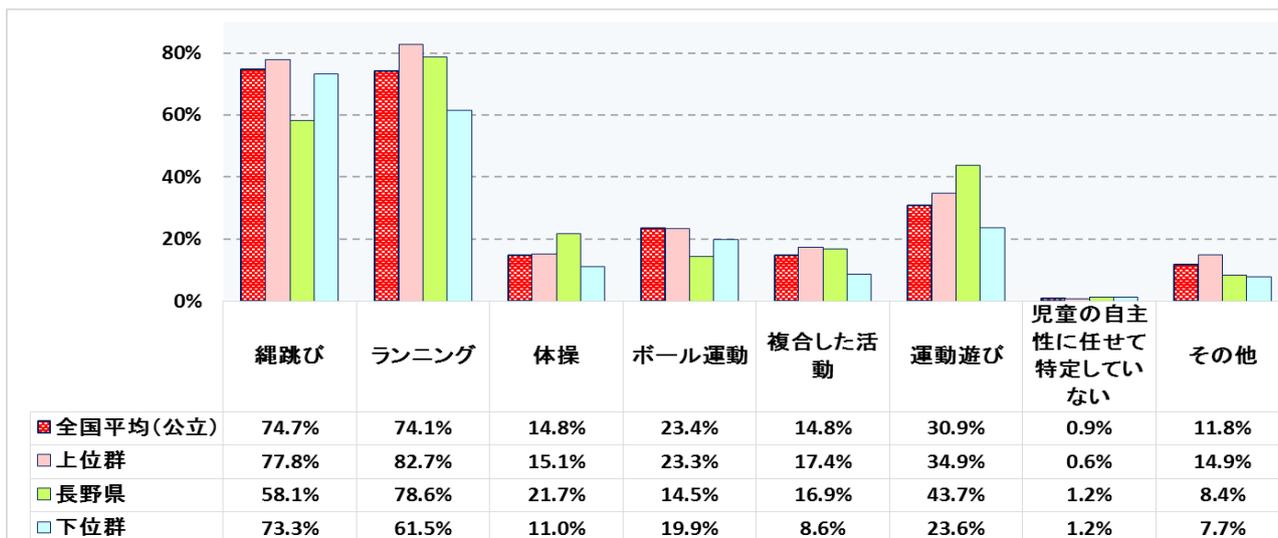
\* 2-1で「行った」回答の学校のみ回答



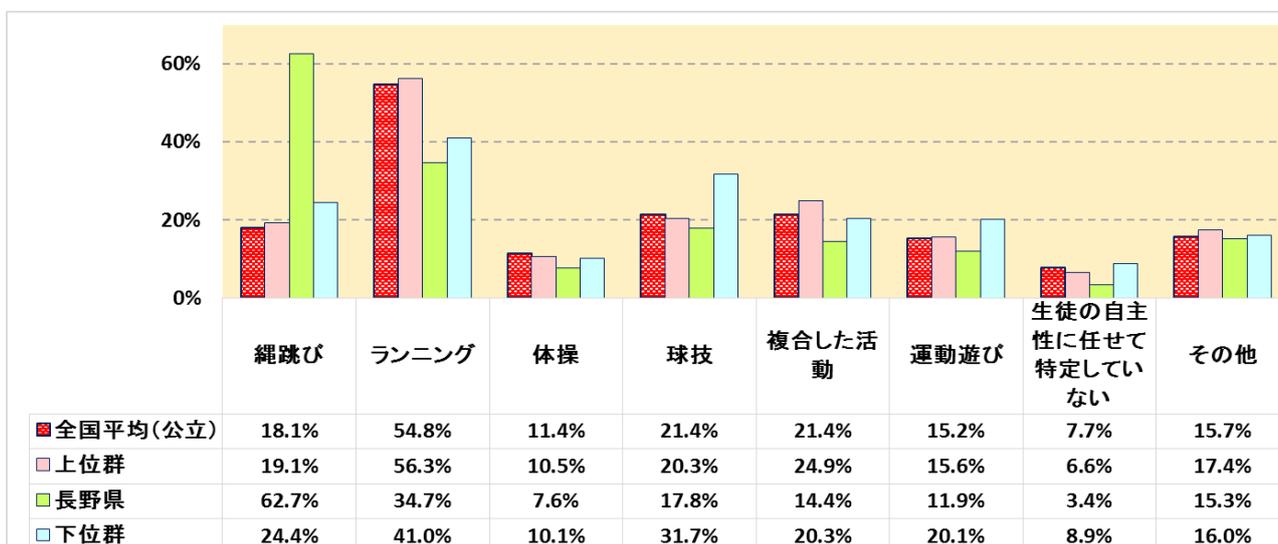
(2-4) その取組の期間 (複数回答可)

\* 2-1で「行った」回答の学校のみ回答

[グラフ152] 小学校 取組内容



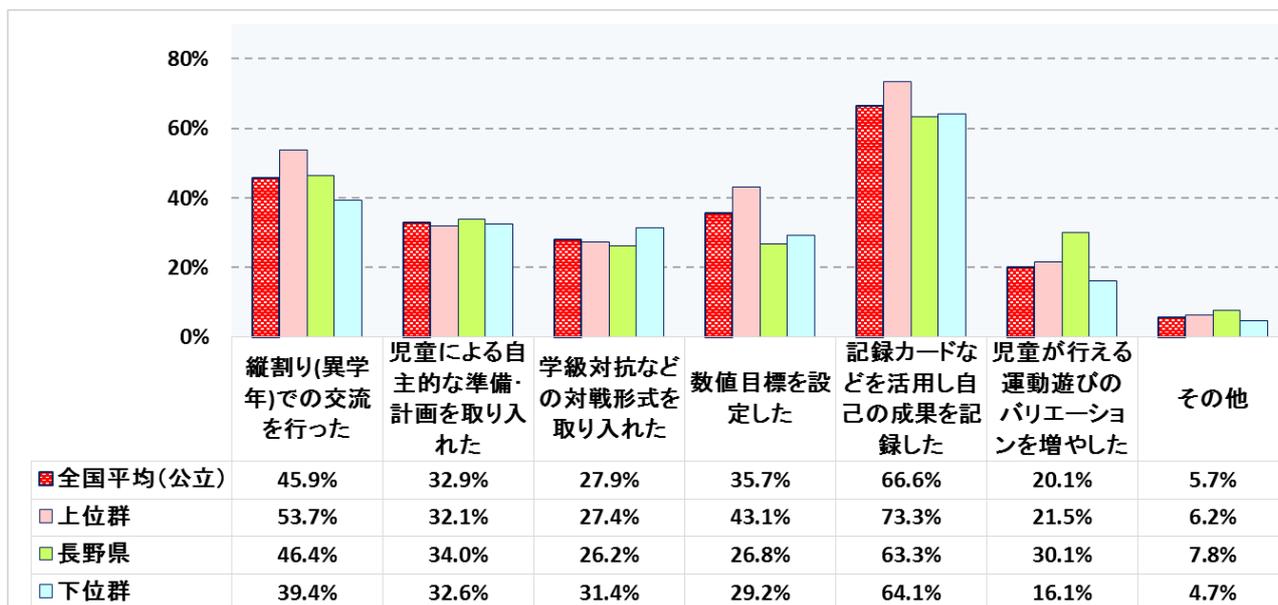
[グラフ153] 中学校 取組内容



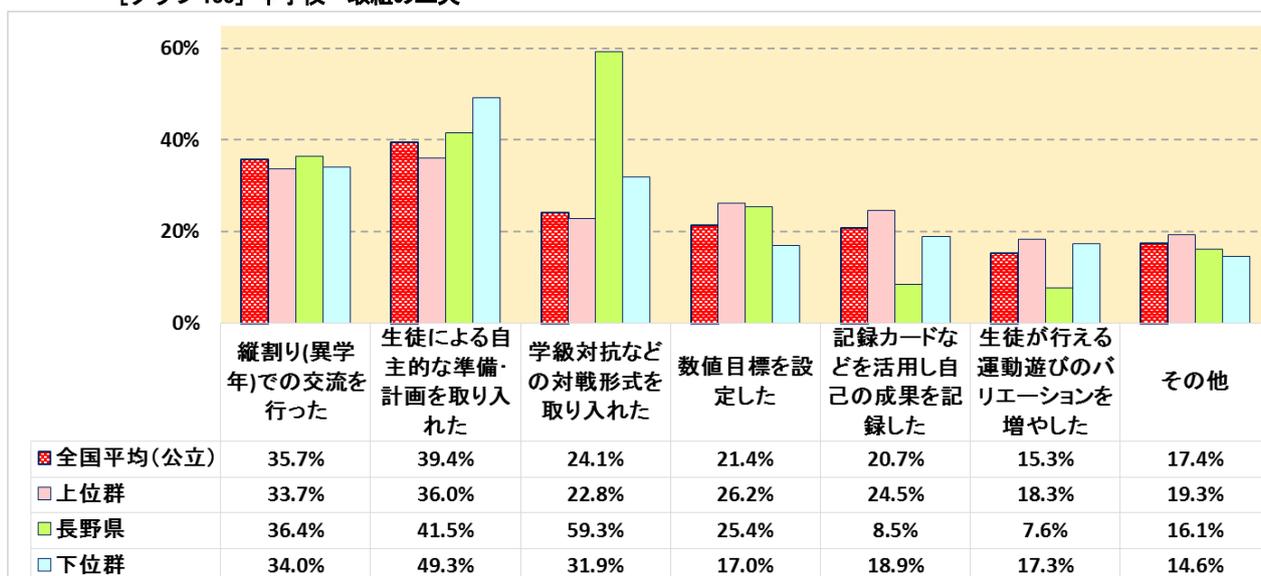
(2-5) その活動を行う上での取組(複数回答可)

\* 2-1で「行った」回答の学校のみ回答

[グラフ154] 小学校 取組の工夫

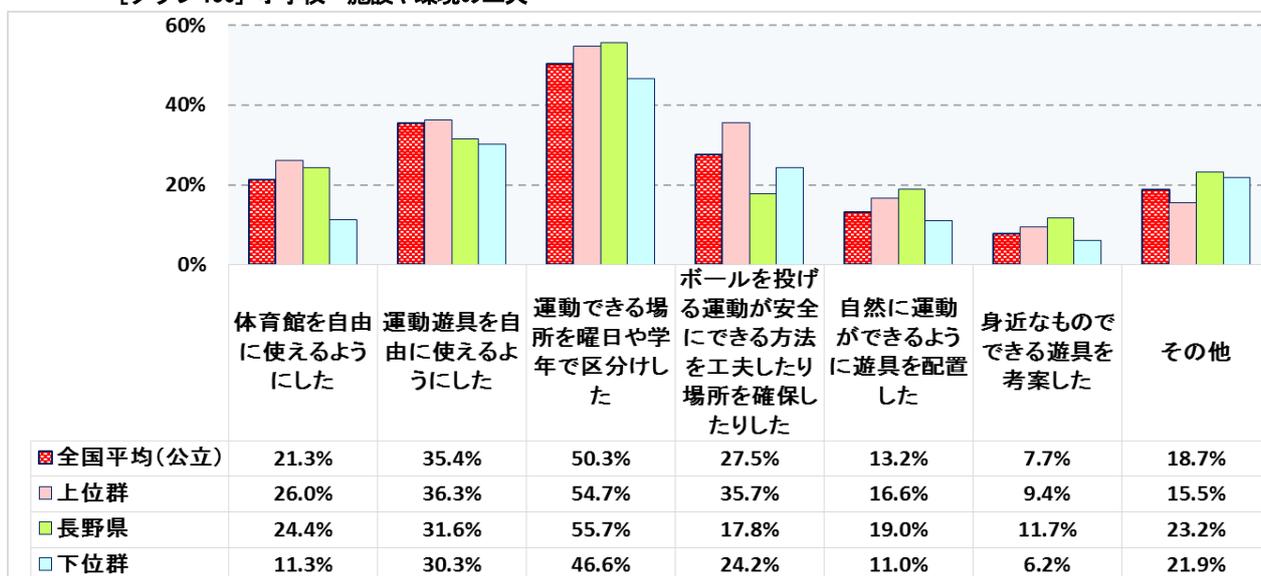


【グラフ 155】 中学校 取組の工夫

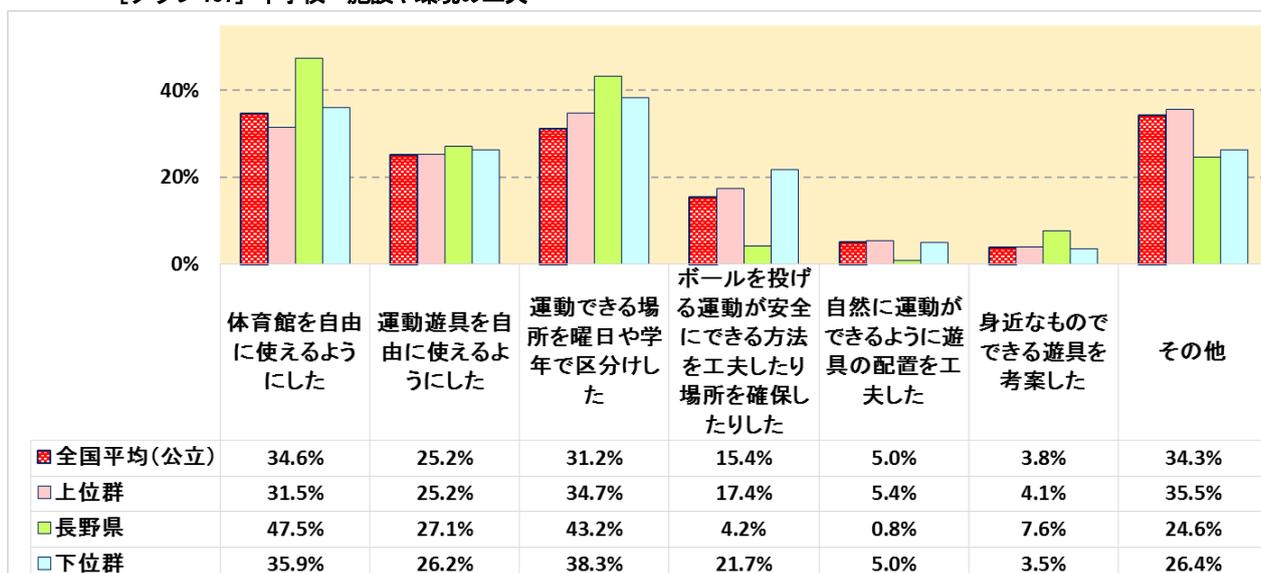


(2 - 6) その活動を行う上での施設や環境整備における工夫 \* 2 - 1で「行った」回答の学校のみ回答

【グラフ 156】 小学校 施設や環境の工夫

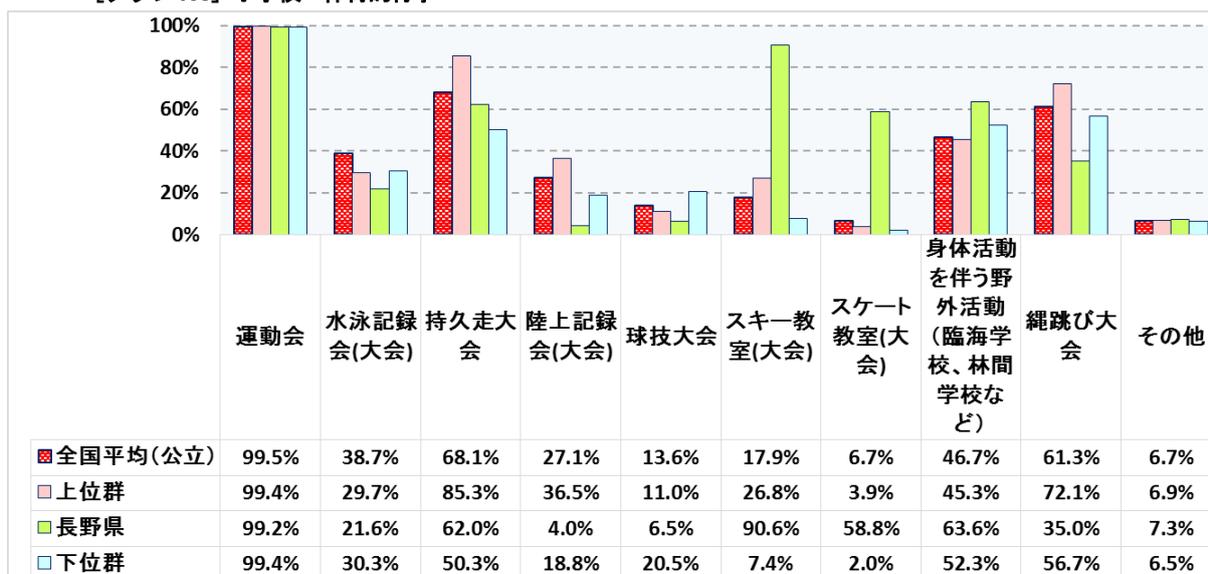


【グラフ 157】 中学校 施設や環境の工夫

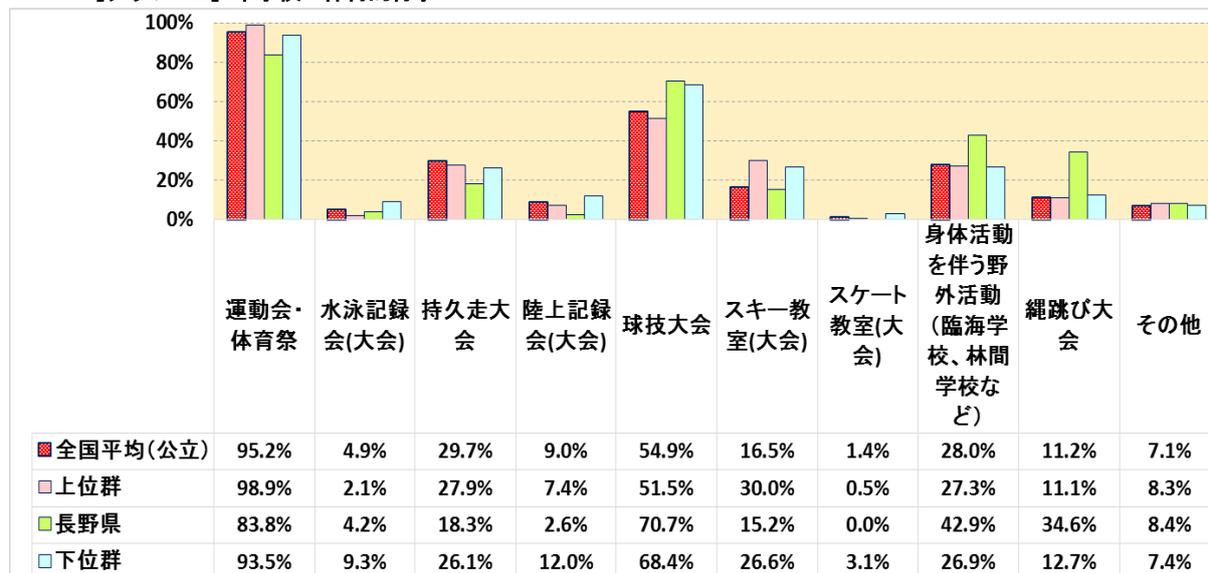


(3) 学校で実施している体育的行事(複数回答可)

【グラフ 158】 小学校 体育的行事



【グラフ 159】 中学校 体育的行事



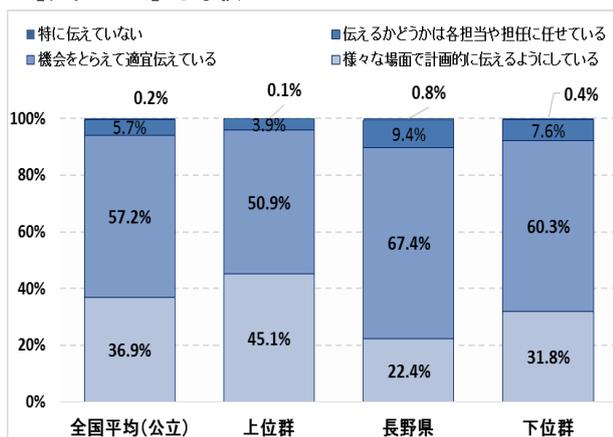
学校における体育・保健体育授業以外の取組

(グラフ 144~159)

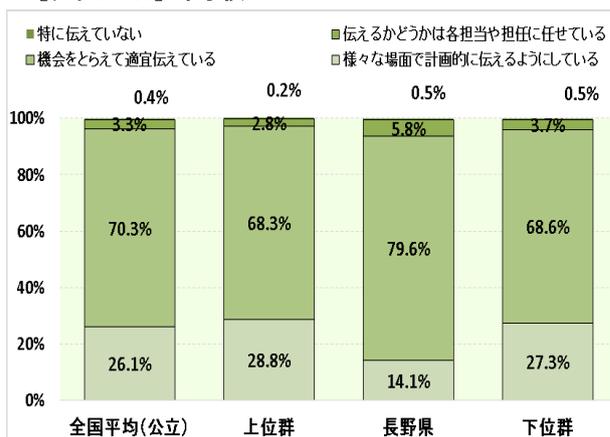
- ・ 体育・保健体育授業以外の体力・運動能力の向上に係る取組は、小学校で上位群と下位群に差が見られるが、中学校においては顕著な差が見られない。
- ・ 本県では、各校が「体力向上プラン」を作成し「1校1運動」の取組を実施していることから、小中学校とも全学年における体育・保健体育授業以外の取組をしている割合が高い。
- ・ 本県の体育・保健体育授業以外の取組期間は、小学校は年間を通じて実施する割合が、中学校は1ヶ月程度実施している割合が高い。
- ・ 本県の体育・保健体育授業以外の取組の実施場面は、小学校は始業前に、中学校はその他等に設定している割合が高く、これは、文化祭準備期間等で学級対抗のミニ運動会等の活動を指すと考えられる。
- ・ 本県の取組内容は、小学校は「運動遊び」が多く、中学校では「縄跳び」が多い。
- ・ 小学校の体育的行事として、スキー教室やスケート教室があるが、本県の特徴を表している。

(4) 健康三原則の大切さの伝達

[グラフ160] 小学校

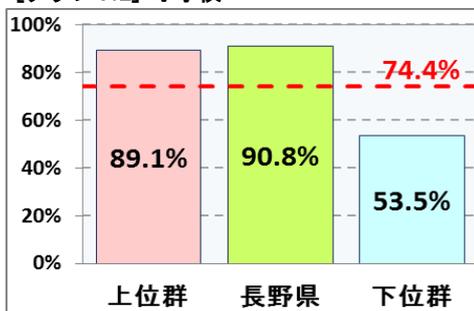


[グラフ161] 中学校

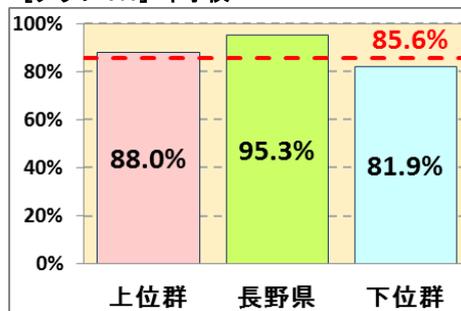


(5 - 1) 前年度、小4・中1の学校外での運動実施状況の把握

[グラフ162] 小学校



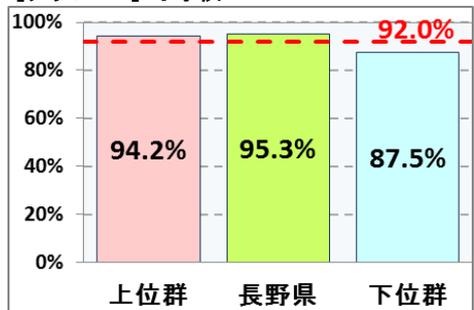
[グラフ163] 中学校



(5 - 2) 他学年の運動実施状況の把握

\* 5 - 1で「把握していた」と回答の学校のみ回答

[グラフ164] 小学校



[グラフ165] 中学校



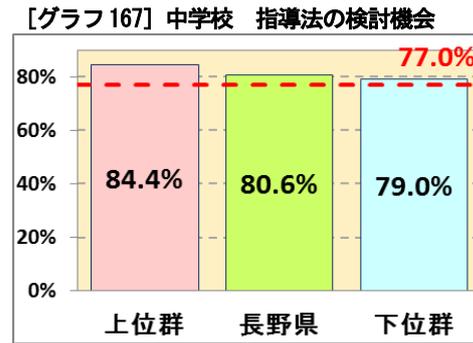
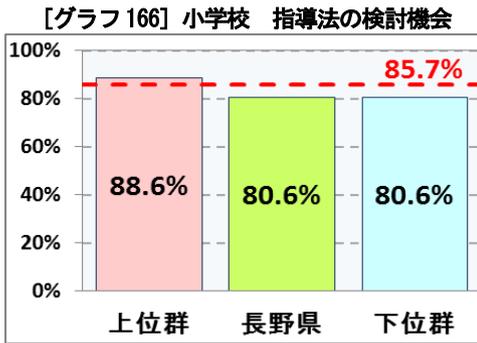
学校における体育授業以外の取組について

(グラフ160~165)

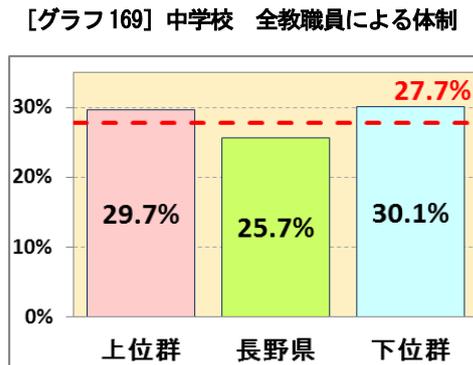
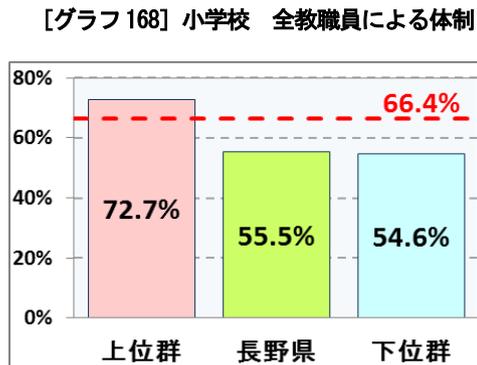
- ・「健康三原則（食事・休養・運動）の大切さの伝達」は、上位群が「様々な場面で計画的に伝えている」の割合が高いのに対し、本県では小中学校とも意識が低く、全国平均を下回った。
- ・「学校外の運動実施の状況の把握」は、悉皆調査学年の前年度となる小4・中1を含めて多学年の状況も把握している割合が、全国平均より高い。
- ・小学校の下位群においては、学校外の運動実施の状況を把握している割合が小さい。

#### 4 学校の組織体制

(1) 教員同士での取組、指導方法の工夫・改善についての検討機会を持った

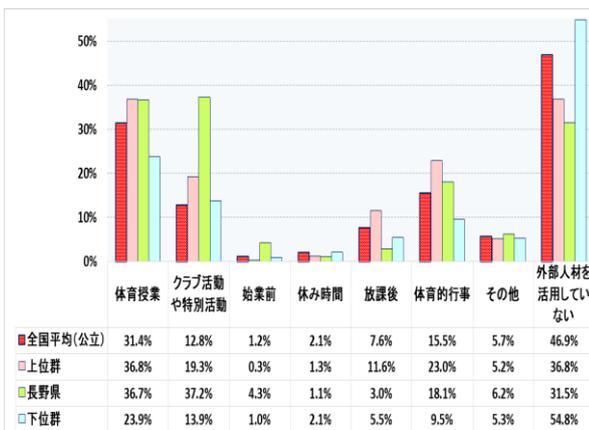


(2) 取組、指導方法の工夫・改善については、全教職員で進めている

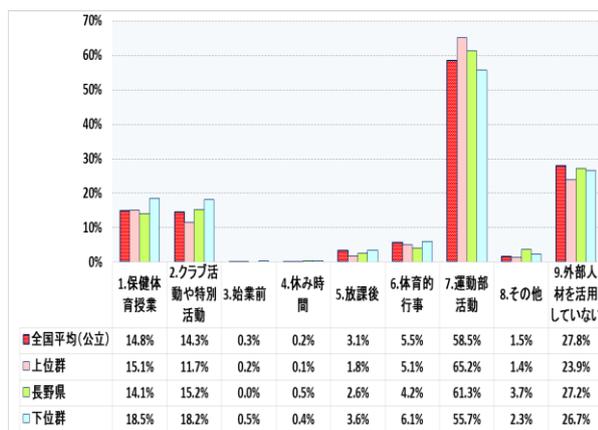


(3) 外部人材の活用場面

【グラフ170】 小学校 外部人材の活用場面



【グラフ171】 中学校 外部人材の活用場面



#### 学校の組織体制

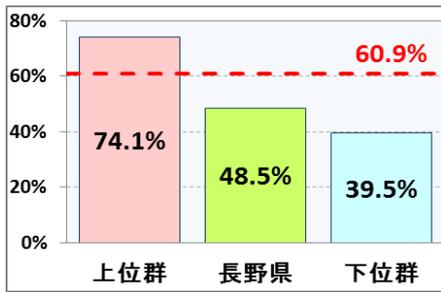
(グラフ166~171)

- ・「教員同士での取組、指導方法の工夫・改善についての検討機会」は、小中学校とも上位群と下位群の差が見られた。
- ・また、教職員の関わり方は、教科担任制の中学校では、上位群と下位群の差が見られないものの、小学校において顕著な差が見られた。
- ・外部人材の活用場面について、本県小学校は、体育授業やクラブ活動や特別活動の場面で上位群と比較しても積極的に活用していることが分かる。
- ・中学校の運動部活動における外部人材の活用は、上位群と下位群にやや差が見られる。

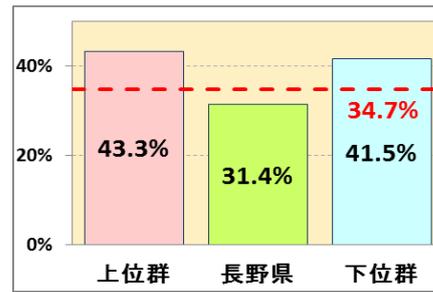
## 5 地域や関係機関、家庭との連携

(1 - 1) 前年度、小4、中1の家庭への体力向上に係る説明・呼びかけを行った

[グラフ172] 小学校 当該学年家庭へ呼びかけ

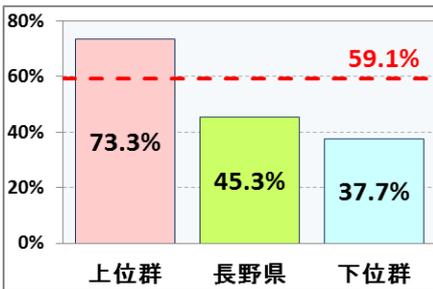


[グラフ173] 中学校 当該学年家庭へ呼びかけ

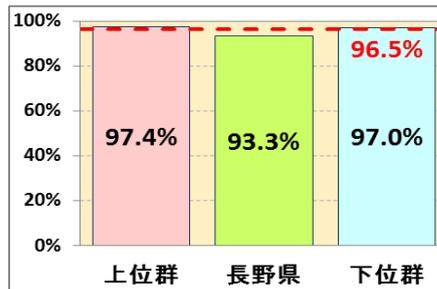


(1 - 2) 他学年の家庭への説明・呼びかけ \* 1 - 1で「行った」回答の学校のみ回答

[グラフ174] 小学校 他学年家庭へ呼びかけ

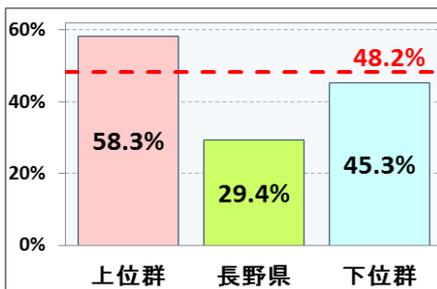


[グラフ175] 中学校 他学年家庭へ呼びかけ

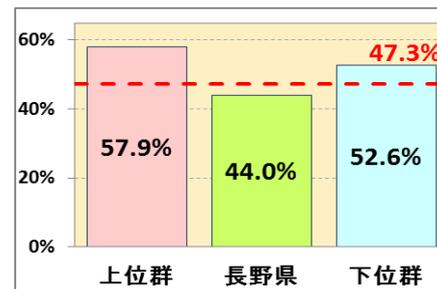


(2 - 1) 児童・生徒の運動やスポーツに関する近隣学校間の連携状況

[グラフ176] 小学校 近隣学校間との連携



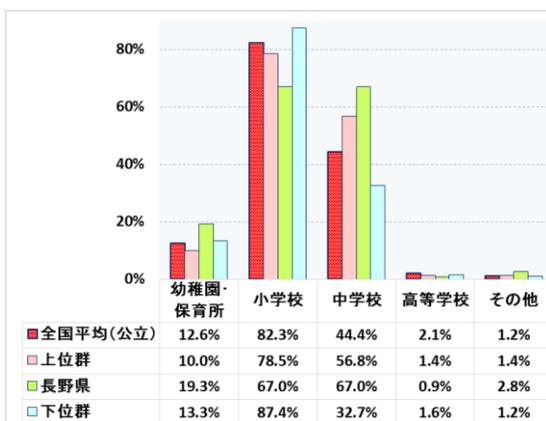
[グラフ177] 中学校 近隣学校間との連携



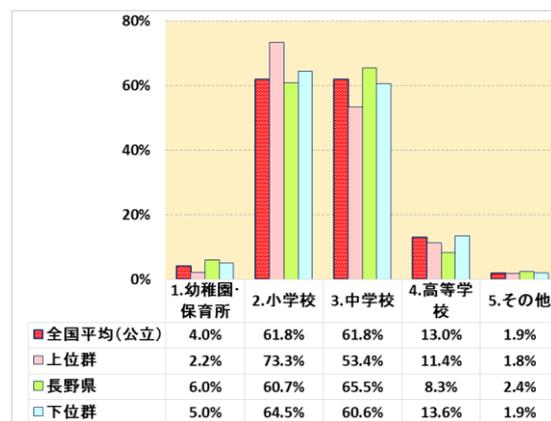
(2 - 2) 児童・生徒の運動やスポーツに関する近隣学校間の連携状況

\* 2 - 1で「連携している」回答の学校のみ回答

[グラフ178] 小学校 連携機関



[グラフ179] 中学校 連携機関



### 地域や関係機関、家庭との連携

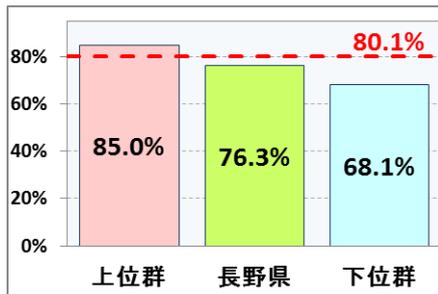
(グラフ172~179)

- ・家庭への体力向上に係る説明や呼びかけは、小学校において上位群と下位群に顕著な差が見られる。
- ・児童・生徒の運動やスポーツに関する近隣学校間の連携状況は、本県小学校は幼稚園や中学校と連携を図る割合が高い一方、近隣の小学校同士が連携する割合は低い。中学校も同様。

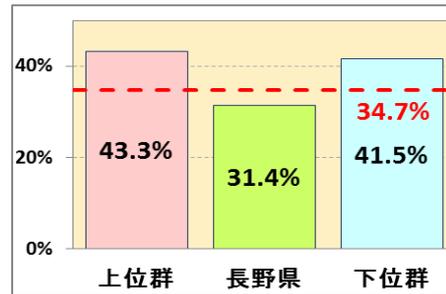
## 6 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用状況

(1) 小5、中2の担当教員以外との調査結果の情報共有

[グラフ180] 小学校 調査結果の情報共有

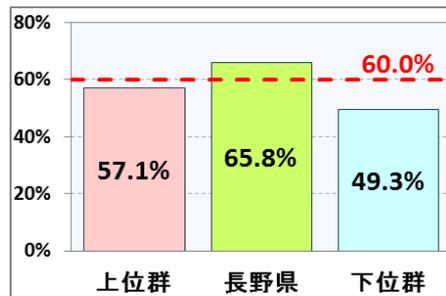


[グラフ181] 中学校 近隣学校間との連携

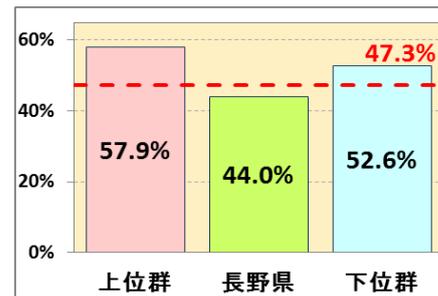


(2) 調査結果資料CDの活用

[グラフ182] 小学校 資料CDの活用

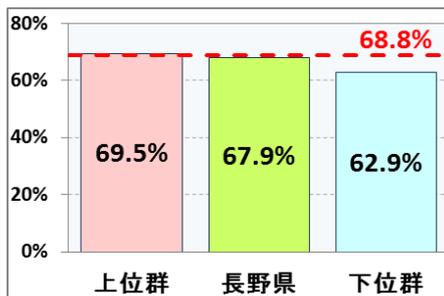


[グラフ183] 中学校 資料CDの活用

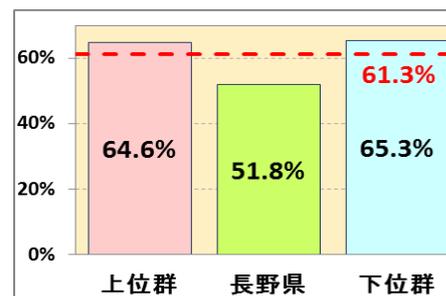


(3) 「記録シート」の活用

[グラフ184] 小学校 記録シートの活用

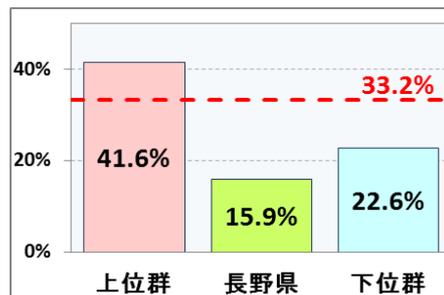


[グラフ185] 中学校 記録シートの活用

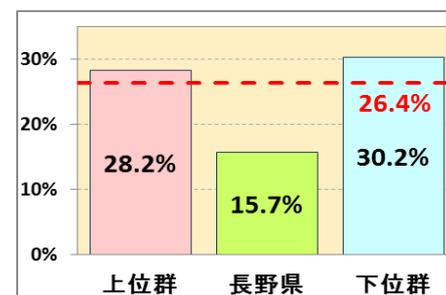


(4) 調査報告書の事例校を参考にした取組

[グラフ186] 小学校 事例校の参考取組

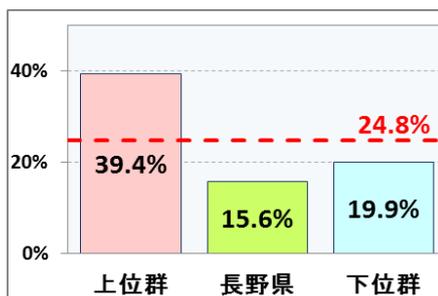


[グラフ187] 中学校 事例校の参考取組

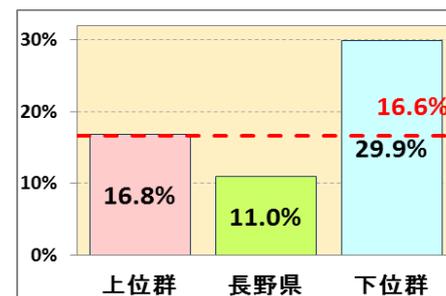


(5-1) 調査結果の公開

[グラフ188] 小学校 調査結果の公開



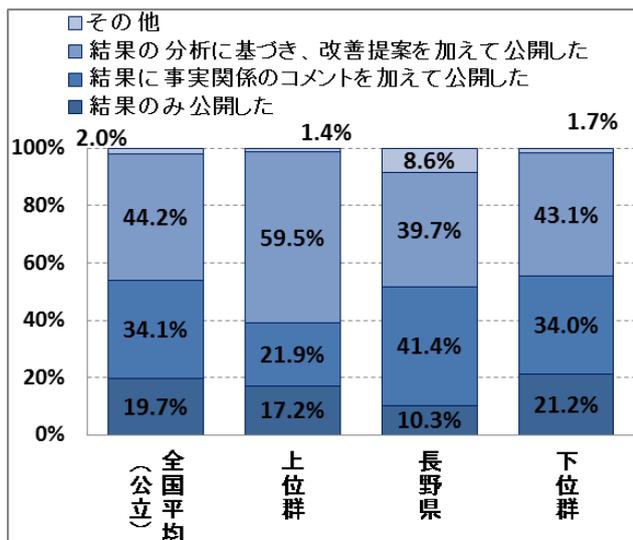
[グラフ189] 中学校 調査結果の公開



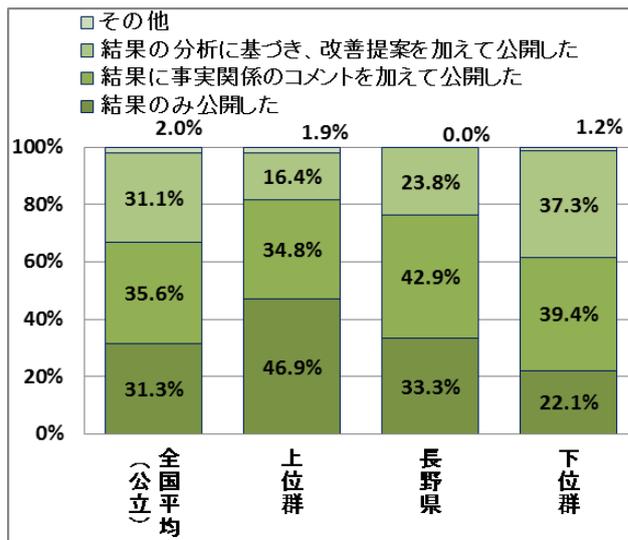
(5-2) 調査結果の公開

\* 5 - 1で「公開している」回答の学校のみ回答

[グラフ190] 小学校 公開内容



[グラフ191] 中学校 公開内容



全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の活用状況

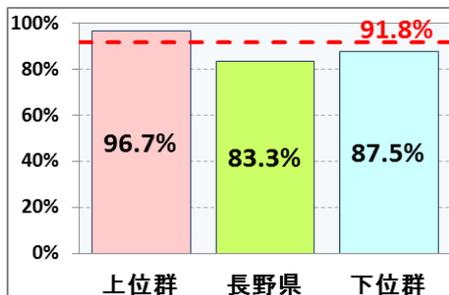
(グラフ180~191)

- ・小学校の上位群は、「小5担当教員以外との調査結果の情報共有」「調査報告書の事例校を参考にした取組」「調査結果の公開」の割合が高く、中学校の上位群は、「中2担当教員以外との調査結果の情報共有」「調査結果資料CDの活用」の割合が高い。

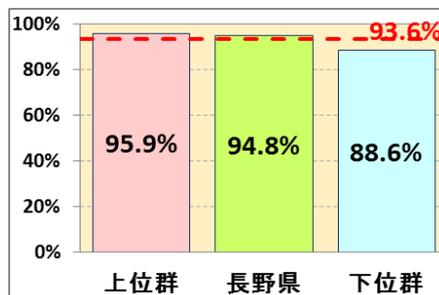
7 新体カテストの実施状況

(1) 新体カテストの実施年数が6年以上

[グラフ192] 小学校 新体カテスト実施年数

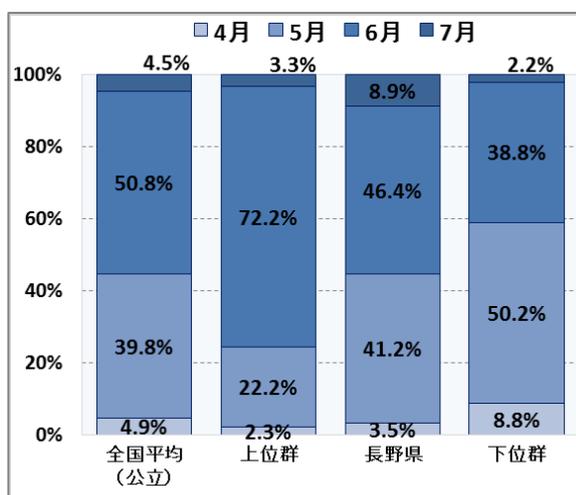


[グラフ193] 中学校 新体カテスト実施年数

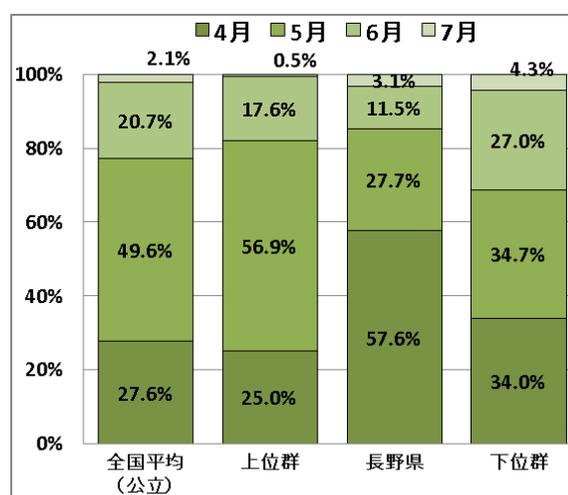


(2) 今年度の実施月

[グラフ194] 小学校 実施月

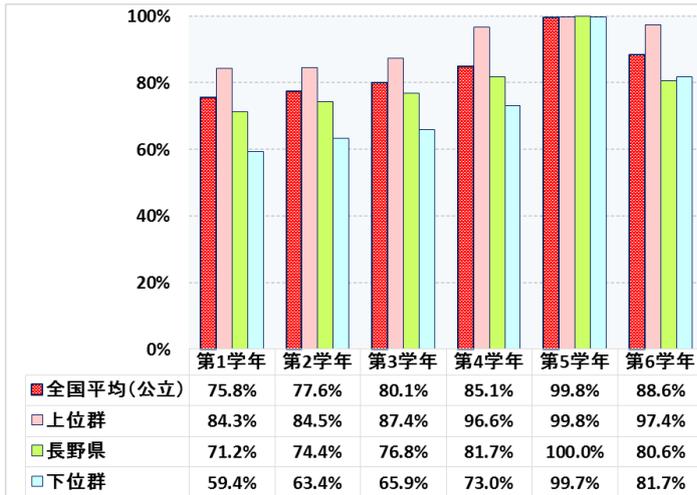


[グラフ195] 中学校 実施月

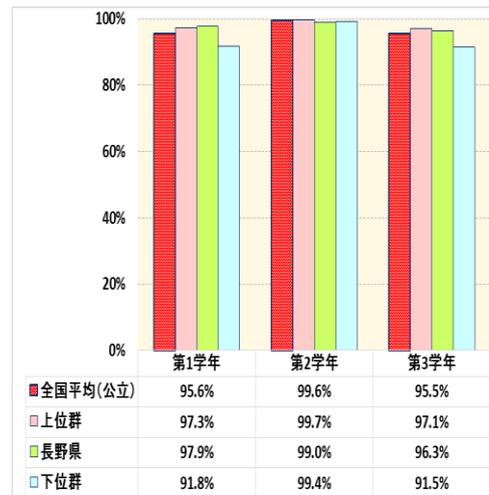


(3) 実施学年

〔グラフ196〕 小学校 実施学年



〔グラフ197〕 中学校 実施学年



新体力テストの実施状況

(グラフ192~197)

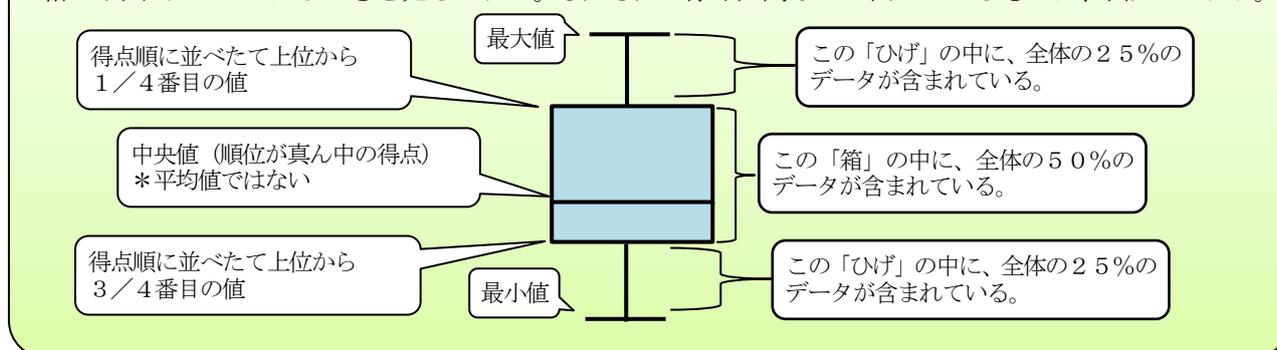
- ・新体力テストの実施年数が6年以上の割合は、上位群と下位群において差が見られる。
- ・本県中学校は、新体力テストの実施年数が全国平均より高い。  
一方、本県小学校は、全国平均及び下位群より低い。
- ・上位群における新体力テストの実施時期は、小学校は6月、中学校は5月の割合が高い。
- ・新体力テストの実施学年は、中学校は調査対象学年に関わらず、上位群、下位群、本県とも90%を超えて差がないものの、小学校においては、上位群、下位群、本県と比較すると顕著な差が見られた。

## Ⅶ 郡市ごとの体力合計点の様子

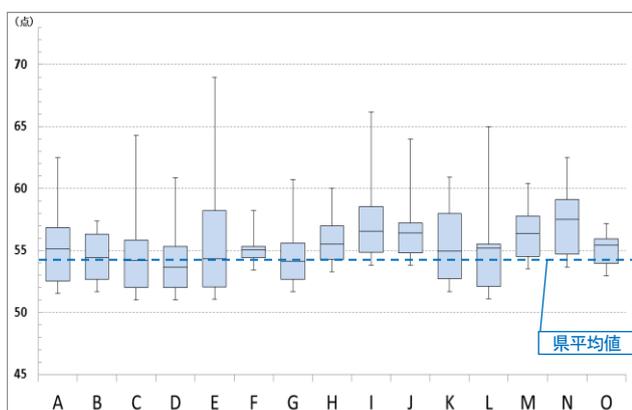


### 1 郡市ごとの学校別体力合計点の分布

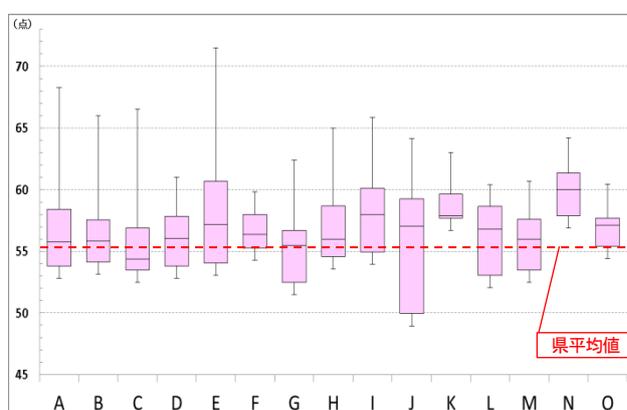
\*箱ひげ図：データのばらつきを見るグラフ。それぞれの線や区間などが表しているものは、下記のとおり。



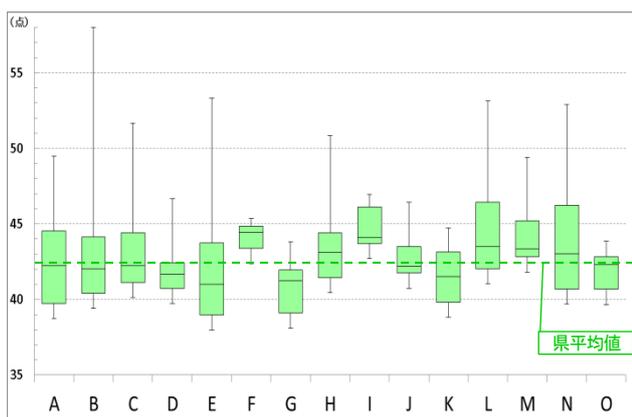
[グラフ198] 小学校男子 郡市学校別体力合計点



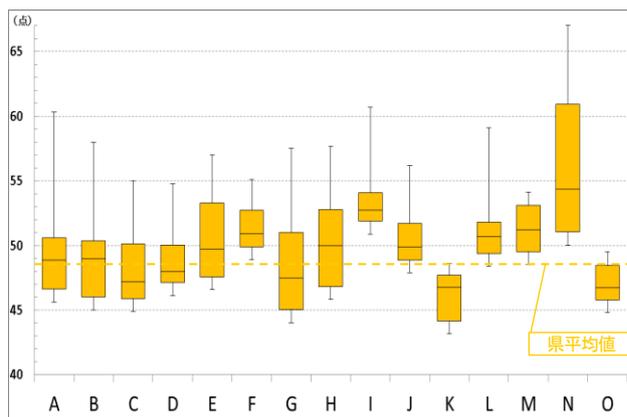
[グラフ199] 小学校女子 郡市学校別体力合計点



[グラフ200] 中学校男子 郡市学校別体力合計点



[グラフ201] 中学校女子 郡市学校別体力合計点

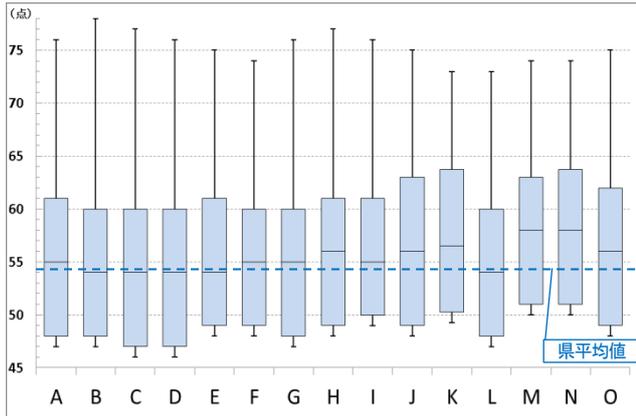


### 郡市学校別体力合計点の分布 (グラフ198~201)

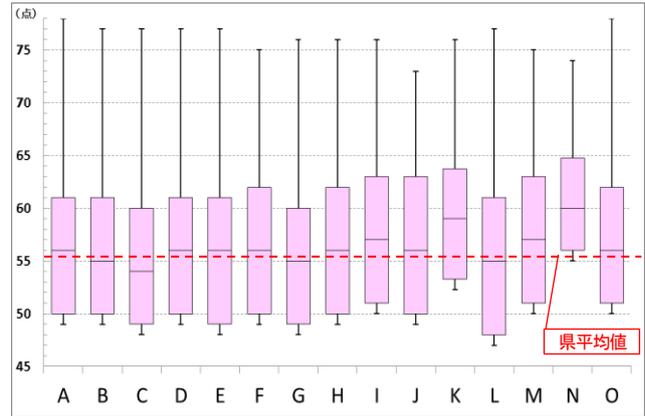
- ・上位から1/4~3/4の学校がある範囲（箱の大きさ）は、郡市によって大きく異なっている。小中学校とも男子より女子の方が箱の大きさが大きく、学校間の差があることが伺える。
- ・各郡市の中央値と県平均値を比較すると、小中学校とも男子より女子の方が大きく異なっている。中学校の女子においては、箱の部分が県平均値を大きく上回る郡市がある一方で、平均値に達しない郡市もあるため、結果として県平均値を下げている。

## 2 郡市ごとの児童生徒別体力合計点の分布

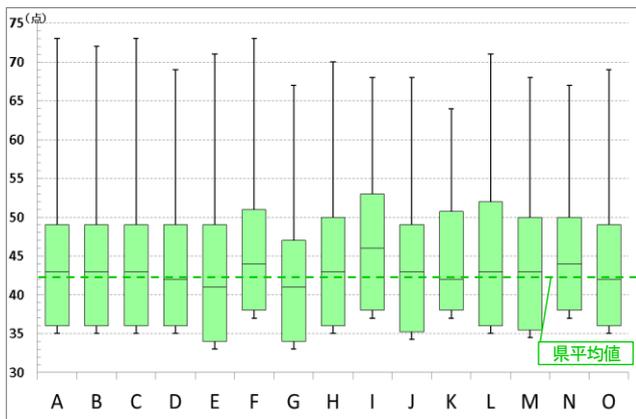
[グラフ 202] 小学校男子 郡市児童別体力合計点



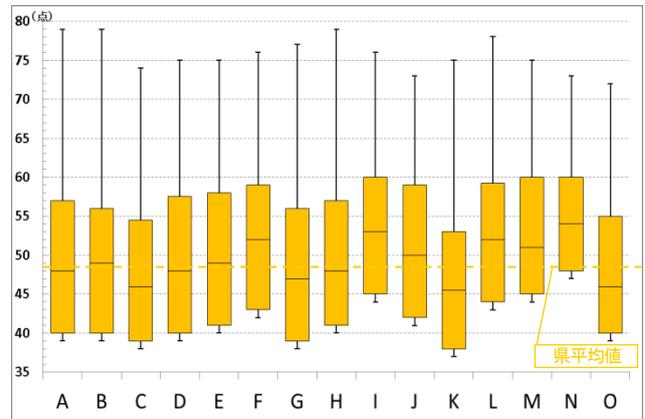
[グラフ 203] 小学校女子 郡市児童別体力合計点



[グラフ 204] 中学校男子 郡市生徒別体力合計点



[グラフ 205] 中学校女子 郡市生徒別体力合計点



### 郡市ごとの児童生徒別体力合計点の分布

(グラフ 202~205)

- 郡市学校別と同様に中学校女子における差が大きく、7 郡市においては、箱の中央値が県平均値に満たない。

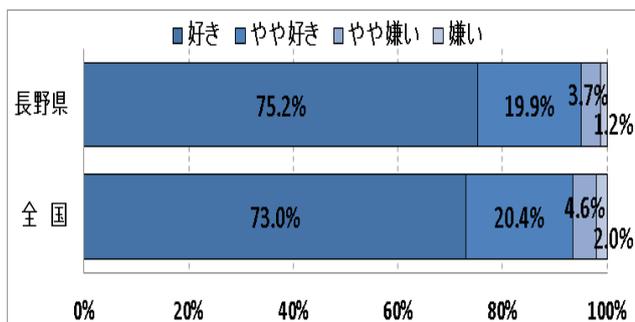
## VIII 運動の好き嫌いとう学前の好き嫌いとの相関



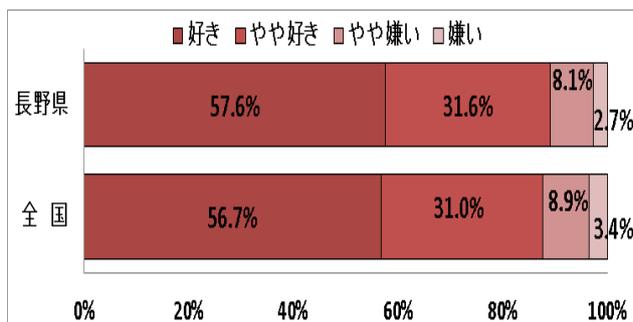
### 1 運動の好き嫌いの全国比

(1) 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きか

【グラフ 206】 小学校男子 運動スポーツは好きか

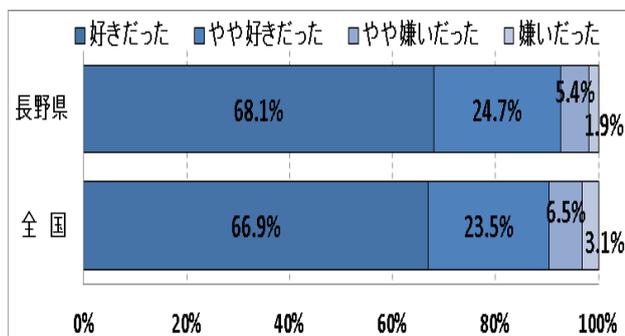


【グラフ 207】 小学校女子 運動スポーツは好きか

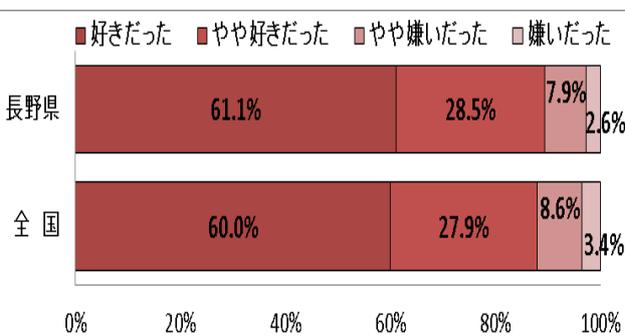


(2) 小学校入学前は体を動かす遊びが好きでしたか

【グラフ 208】 小学校男子 入学前は運動好きか

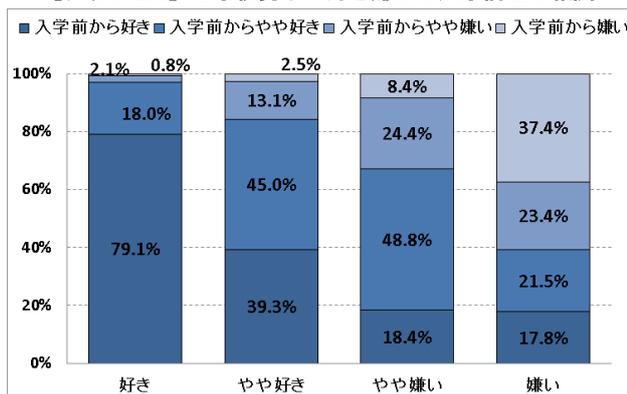


【グラフ 209】 小学校女子 入学前は運動好きか

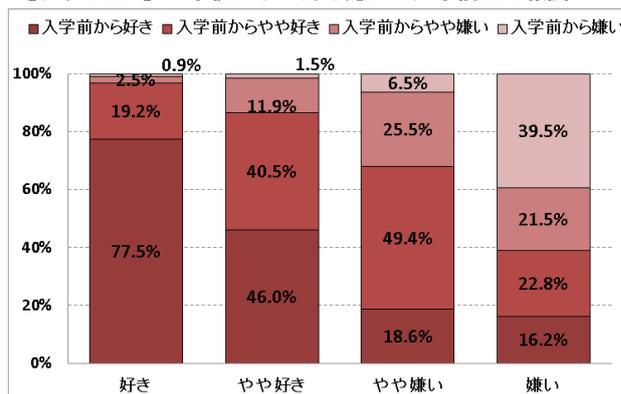


### 2 運動の好き嫌いとう学前の好き嫌いとの相関

【グラフ 210】 小学校男子 好き嫌いの入学前との相関



【グラフ 211】 小学校女子 好き嫌いの入学前との相関



#### 運動の好き嫌いとう学前の好き嫌いの相関 (グラフ 206～211)

- ・ 本県小学校は、全国平均に比べ、男女とも運動が好き又はやや好きの割合が高い。
- ・ 本県小学校は、全国平均に比べ、男女とも小学校入学前から体を動かす遊びが好き又はやや好きの割合が高い。
- ・ 小学校入学前から体を動かす遊びの好き嫌いは、小学校入学後の運動の好き嫌いとう相関関係にある。

## Ⅸ 自己肯定観の全国比と体力との相関

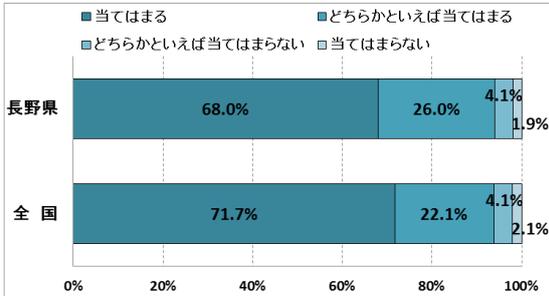


本調査における「児童生徒質問紙」において、今年度、自己肯定観に係る質問項目が新設された。ここでは、自己肯定観に係る本県児童生徒の様子と全国平均を比較するとともに、体力・運動能力との相関を見た。

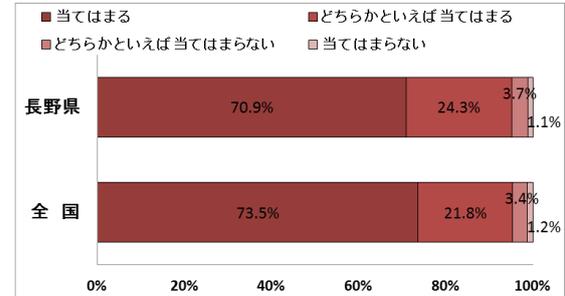
### 1 最後までやり遂げてうれしかったことがある

#### (1) 本県結果と全国比

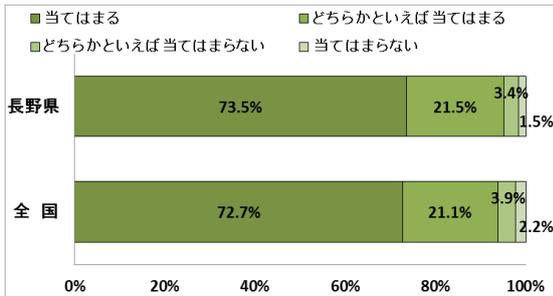
【グラフ 212】 小学校男子 最後までやり遂げる



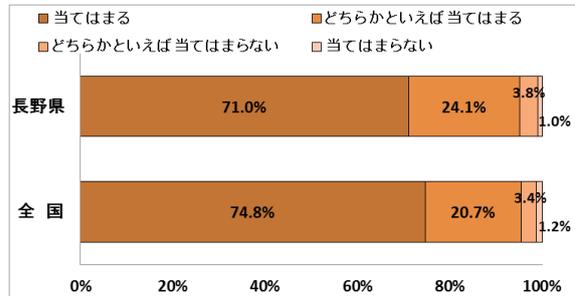
【グラフ 213】 小学校女子 最後までやり遂げる



【グラフ 214】 中学校男子 最後までやり遂げる

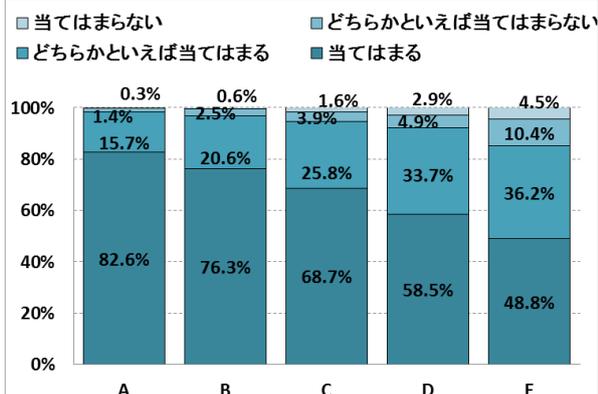


【グラフ 215】 中学校女子 最後までやり遂げる

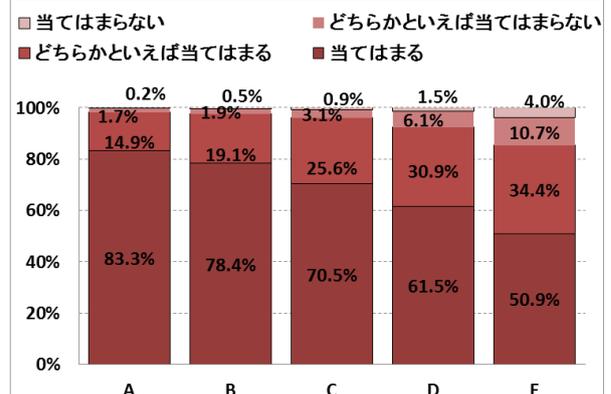


#### (2) 体力総合評価と「最後までやり遂げてうれしかったことがある」

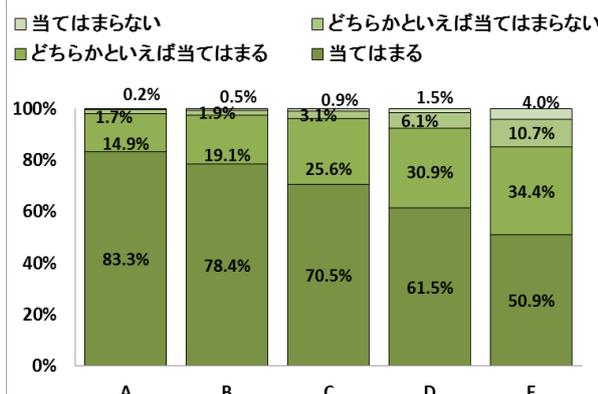
【グラフ 216】 小学校男子 最後までやり遂げると体力相関



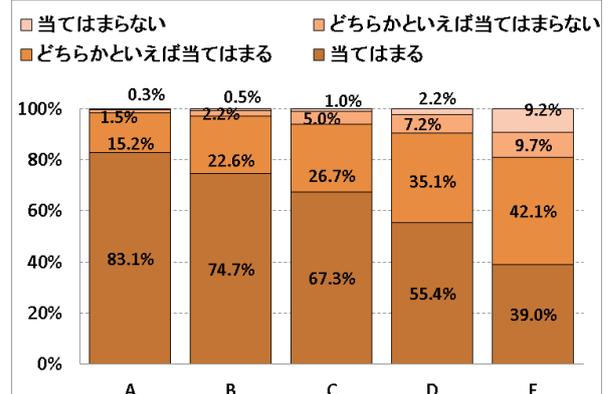
【グラフ 217】 小学校女子 最後までやり遂げると体力相関



【グラフ 218】 中学校男子 最後までやり遂げると体力相関



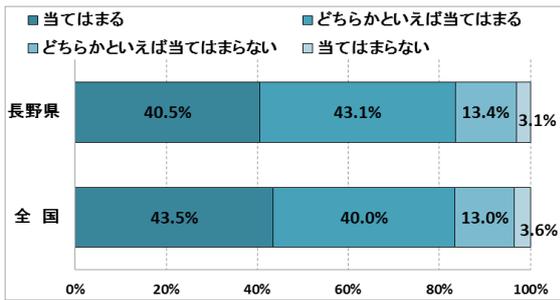
【グラフ 219】 中学校女子 最後までやり遂げると体力相関



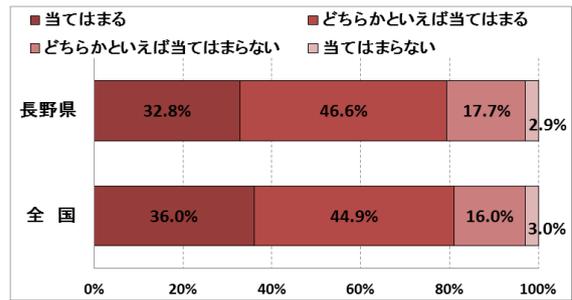
## 2 失敗を恐れなくて挑戦する

### (1) 本県結果と全国比

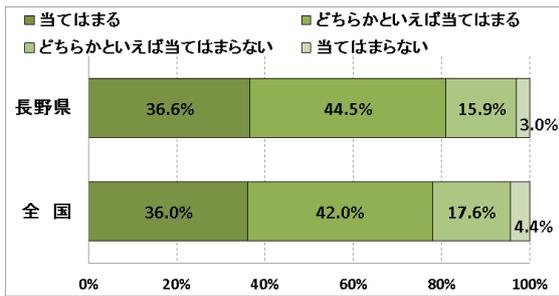
[グラフ 220] 小学校男子 失敗怖れず挑戦する



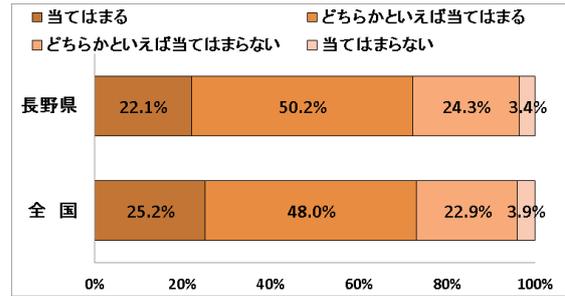
[グラフ 221] 小学校女子 失敗怖れず挑戦する



[グラフ 222] 中学校男子 失敗怖れず挑戦する

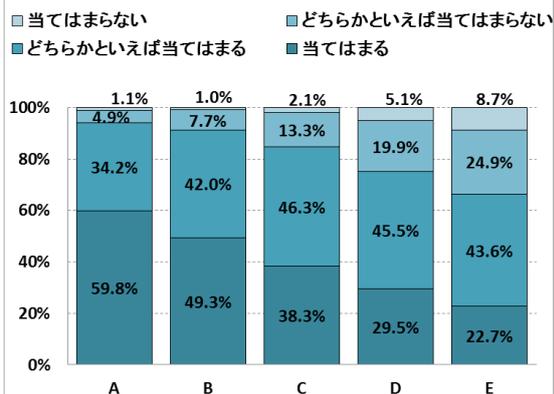


[グラフ 223] 中学校女子 失敗怖れず挑戦する

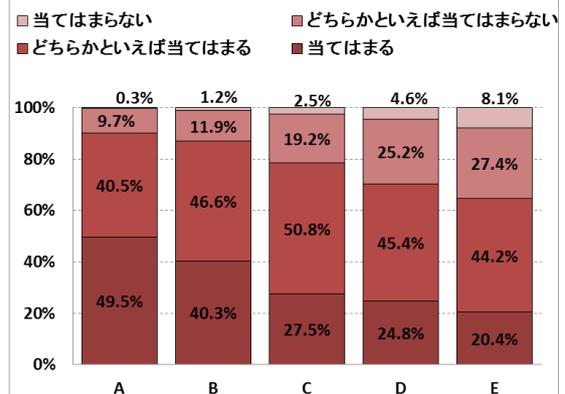


### (2) 体力総合評価と「失敗を恐れなくて挑戦する」

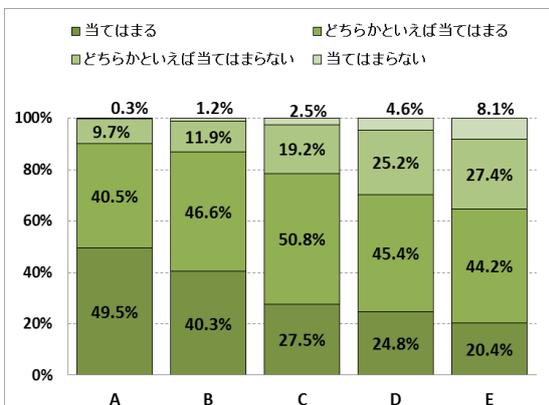
[グラフ 224] 小学校男子 失敗怖れず挑戦すると体力相關



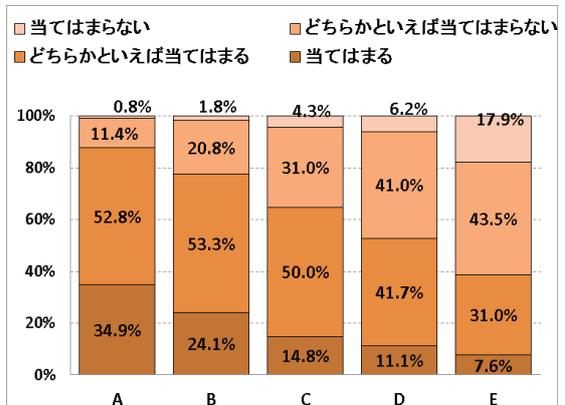
[グラフ 225] 小学校女子 失敗怖れず挑戦すると体力相關



[グラフ 226] 中学校男子 失敗怖れず挑戦すると体力相關



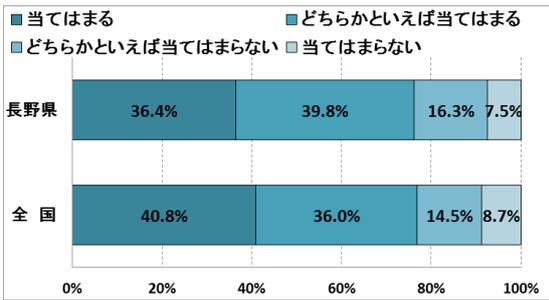
[グラフ 227] 中学校女子 失敗怖れず挑戦すると体力相關



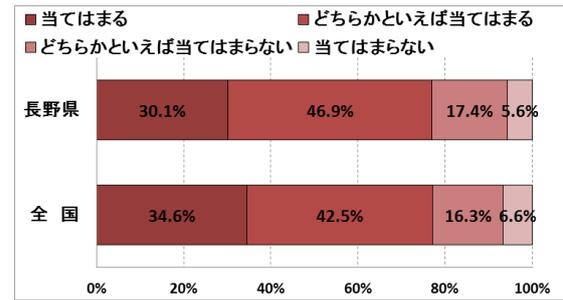
### 3 自分には、よいところがある

#### (1) 本県結果と全国比

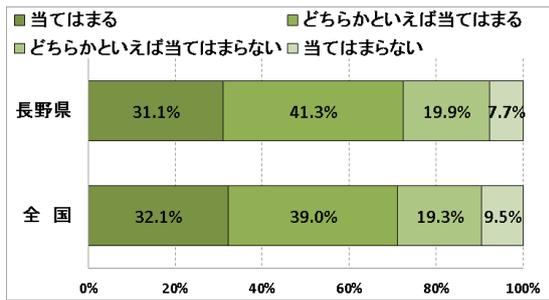
[グラフ 228] 小学校男子 自分に良いところがある



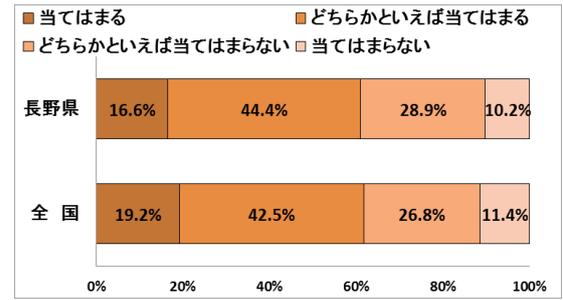
[グラフ 229] 小学校女子 自分に良いところがある



[グラフ 230] 中学校男子 自分に良いところがある

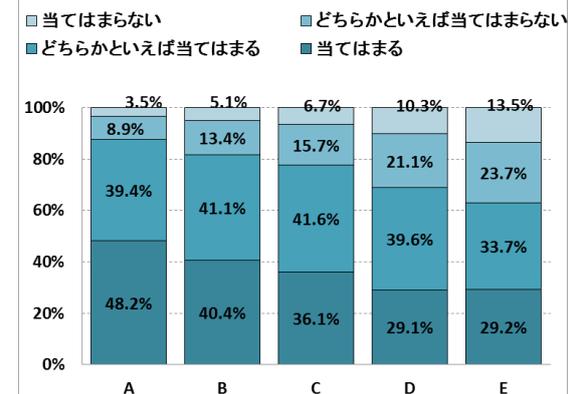


[グラフ 231] 中学校女子 自分に良いところがある

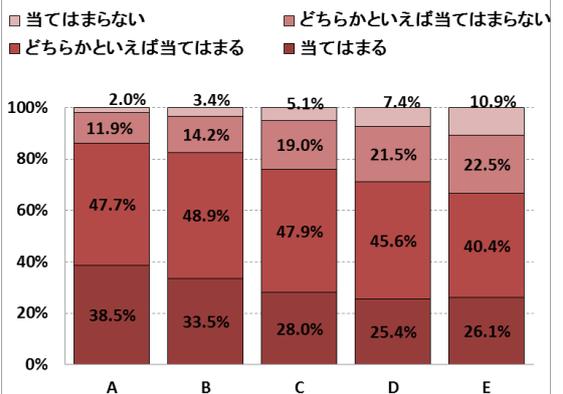


#### (2) 体力総合評価と「自分には、よいところがある」

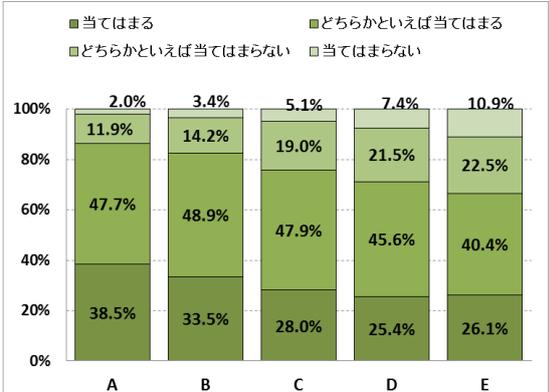
[グラフ 232] 小学校男子 自分に良いところと体力相関



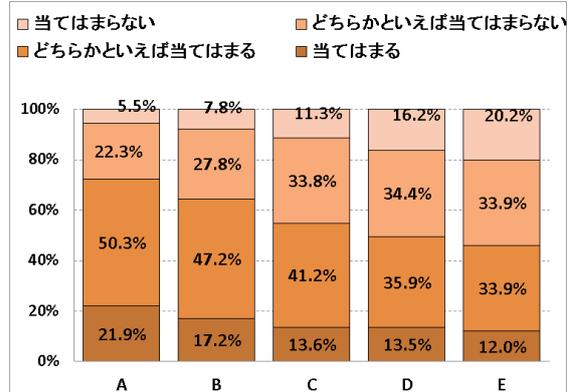
[グラフ 233] 小学校女子 自分に良いところと体力相関



[グラフ 234] 中学校男子 自分に良いところと体力相関



[グラフ 235] 中学校女子 自分に良いところと体力相関



#### 自己肯定観の全国比と体力との相関 (グラフ 212~235)

- ・本県小学校男女と中学校女子は、「最後までやり遂げてうれしかったことがある」「失敗を恐れなくて挑戦する」「自分には、よいところがある」の項目で「あてはまる」の割合が、全国平均より低い。
- ・体力総合評価と自己肯定観の相関を見ると、体力が高い児童・生徒ほど自己肯定観が強いことがわかる。

## X 平成28年度調査（中学2年）と 平成25年度調査（小学5年）の比較



本調査対象の中学2年生は、平成25年度に小学校5年生においても悉皆調査が実施されているので、2つの調査を比較した。

### 1 体力合計点と全国順位の比較

[表16] 体力合計点と全国順位の推移（男子）

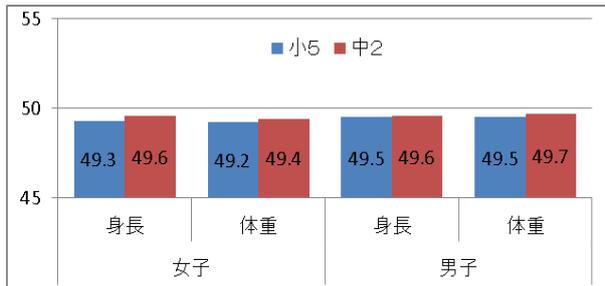
		平成25年度 小学5年生	平成28年度 中学2年生	
男子	全国	体力合計点 53.87	42.13	
	本県	体力合計点	● 54.07	
		全国順位	● 19位	
			● 42.39	● 23位

[表17] 体力合計点と全国順位の推移（女子）

		平成25年度 小学5年生	平成28年度 中学2年生	
女子	全国	体力合計点 54.70	49.56	
	本県	体力合計点	▼ 54.35	
		全国順位	▼ 30位	
			▼ 48.65	▼ 34位

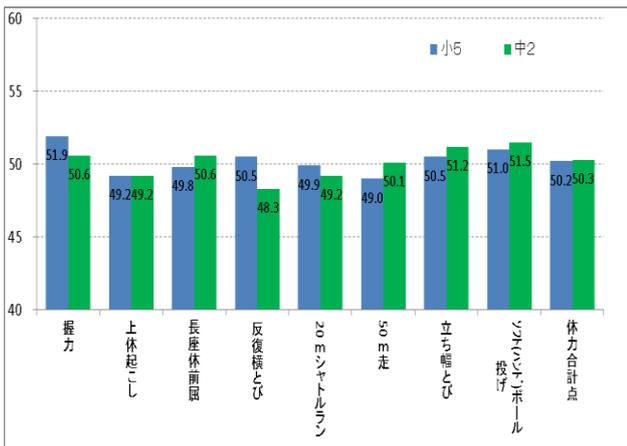
### 2 体格の比較

[グラフ236] T得点による体格の全国比較（男女）

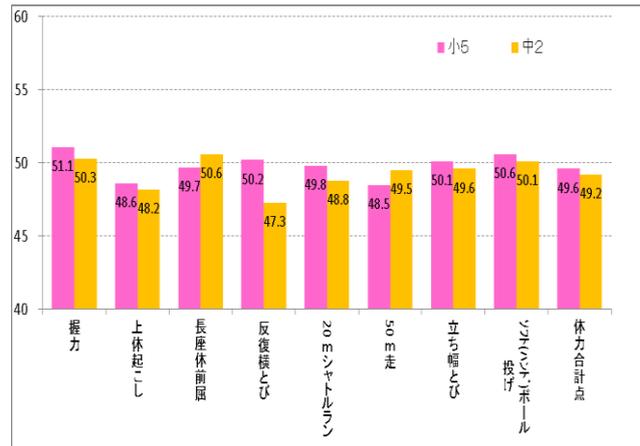


### 3 各種目の比較

[グラフ237] T得点による各種目の全国比較（男子）



[グラフ238] T得点による各種目の全国比較（女子）



### 平成28年度調査と平成25年度調査の全国平均との比較（表16、17、グラフ236～238）

- 体力合計点においては、男子は全国平均より高い得点を維持し、女子は全国平均より低いままで、全国順位は、男女ともに4つ下げている。
- 男女とも体格が全国平均より低いが、中学2年生段階で追いつきつつある。
- 男女とも小学5年生の時には全国平均より高かった反復横とびが、中学2年生では全種目の中で最も全国平均を下回っている。

## XI 今後の体力向上に向けた取組



### 1 学校の組織的な取組

各学校が、児童生徒の体力向上の取組を推進する際には、PDCAサイクルの考え方をを用いて、より効果的・効率的に進めていくとともに、目標を少しずつ高くしてスパイラル（らせん状）にサイクルを回しながら、全体の質を高めていくことが重要となる。

また、それぞれの学校や教育委員会が地域の実態に応じた工夫や、家庭・近隣の学校・地域等との連携を図ることで、より活発に取組が展開されていくことが望まれる。



「子どもの体力向上のための取組ハンドブック」

平成 24 年文部科学省

PDCA：Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の頭文字をとったもので、以下を意味する。

P：目標を設定して、それを達成するための具体的計画を立てる。

D：その計画を実行する。

C：その結果から目標の達成状況を評価する。

A：評価結果を基に、このプロセス全体について改善、向上に必要な措置を行う。

### 具体的な取組として

- 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」や県の体力テストフィードバックシステムを積極的に活用し、自校の成果と課題を踏まえ、「体力向上プラン」の見直しをする。
- 近隣の学校や郡市内の学校で、体力向上の取組に関する情報共有を行う。
- 家庭や地域の指導者の協力を得る。
- 小学校においては、体育専科ではない教職員が体育授業を行うことから、体育主任が中心となってチームとして、授業改善をはじめとした体力向上に係る取組を推進する。
- 保健学習や食に関する教育等とも関連して、総合的な視点で体力向上に係る取組を推進する。

### 2 体育・保健体育授業の指導方法の工夫・改善

現行の小・中学校の体育・保健体育科学習指導要領は、「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現」を重視しており、学年や学校の各段階の接続及び発達段階に応じて指導内容を整理し、体系化が図られた。

特に、小学校においては低学年から「体づくり運動」を規定、中学校においては多くの領域の学習体験をさせた上で自己に適した運動を選択できるようにするため、全ての運動領域を必修化するなどの改善事項が盛り込まれた。

これらの趣旨を踏まえ、自校の体育・保健体育授業の改善を図ることが重要となる。

### 具体的な取組として

- 本調査を踏まえた授業改善とバランスの良い体力づくりを目指す。
  - ・ 個々の体力、運動能力を把握し、運動の得意でない児童生徒への手立てを位置付ける。
  - ・ 体力の意義、健康の三原則の理解の促進。特に中学校においては、運動や健康に対し必要感を持たせる指導を行い、心肺機能が高まる時期であることを理解させ、20mシャトルラン（全身持久力）の向上を図る。
  - ・ 小学校では、県教育委員会が本年度作成する「走運動プログラム」を参考に50m走（疾走能力）の向上を図る。

- ・投能力の向上を図るため、易しいベースボール型単元の指導の充実を図る。
- 児童・生徒の達成感や成就感を味わわせる指導を行う。
  - ・振り返りの場面では、次時の課題を話し合う前に、まずは本時の成果を実感させる。
  - ・教師は「承認」の言葉がけを意識して行う。また、グループ活動においても仲間同士の承認活動を位置づけ、小さな成功体験を実感させていく指導を心がける。
- 教職員の指導力の向上
  - ・教職員の研修や授業研究を充実させ、指導主事・専門主事による支援を活用して共に授業づくりを行う中で改善の方向を共有し、指導力の向上を図る。
  - ・各郡市伝達講習会において、教員研修センター主催の「体力向上指導者養成研修」の内容を学び、各校の授業に活かすようにする。
  - ・体育・保健体育の授業や1校1運動の改善につながるように、県教育委員会が「体づくり運動実技講習会」を開催し、小・中学校の課題となっている体力要素や運動能力の向上に向けて専門的に研究を行っている講師を学校に派遣する。

### 3 運動習慣の確立

児童生徒の運動習慣の確立には、「時間・空間・仲間」は欠かせない要素であり、年間を通じてそれらを創出する工夫を図ることは勿論、児童生徒が主体的に活動に取り組み、達成感を感じながら運動習慣が身に付けていくことが重要である。

小学生は、家庭・地域等の環境の違いもあるが、学校が与える影響も大きく、特に、運動に対して潜在的な欲求を持つ児童には、学校の取組がきっかけとなって運動習慣が身に付くことが多く、体育授業はもとより、教育課程全般において、その「しかけ」を仕組むことが必要である。

中学生は、部活動の影響が大きく、楽しむことを中心とした運動遊びからスポーツやトレーニング的な要素が含まれた活動へと移行していく。また、心身の急激な成長とともに個人差が大きく現れる時期であり、運動を行う生徒と行わない生徒の差が大きくなる時期である。

したがって、保健体育の授業はもちろんであるが、それ以外の時間に運動習慣を確立するための学校教育全体での取組を通じて、運動遊びやスポーツをしたり、積極的に体を動かす習慣を身に付けたりすることが期待される。

#### 具体的な取組として

- 体育・保健体育の授業の学習内容の日常化
  - ・体育授業の学習内容が、休み時間等に個人や仲間ですら実践できるような教材づくり、時間や環境等の整備を行う。
  - ・小学校では、帰宅後や休日に児童が積極的に体を動かすよう保護者への働きかけをする。
  - ・家庭で親子が一緒になって運動遊びができるように「縄跳びカード」や「手作りフリスビー」「手作りボール」等の教材を用いた体育授業を実践する。
  - ・体育・保健体育授業の準備運動において、課題となる種目（体力）を意識した運動を行う。

### 4 中学校運動部活動の活性化の取組

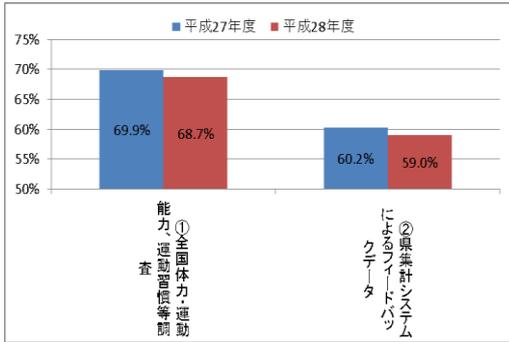
中学校における運動部活動の参加は、体力向上において重要なポイントとなり、運動が苦手な生徒にも参加を促すための工夫が求められる。本報告書の「V中学校の運動部活動」の章にもあるように、参加条件の整備を図ったり、指導内容や指導方法の充実を図ったりすることが重要である。

小規模校においても、地域の指導者やクラブ等と連携を図り、部活動の選択の幅を広げる工夫や、運動部だけではなく文化部も含めて、体力向上に取り組むことも考えられる。

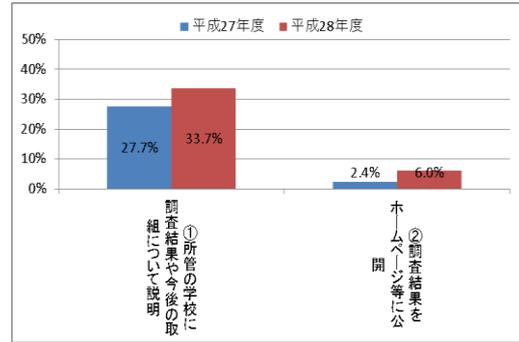
## 5 市町村教育委員会の支援

体力向上施策に係る教育委員会の調査結果（スポーツ課調査）を以下にまとめた。

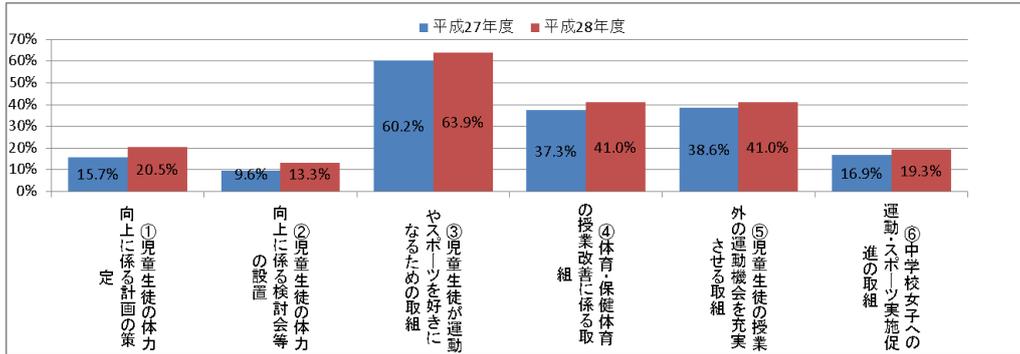
[グラフ 239] 新体力テスト結果の分析・評価について



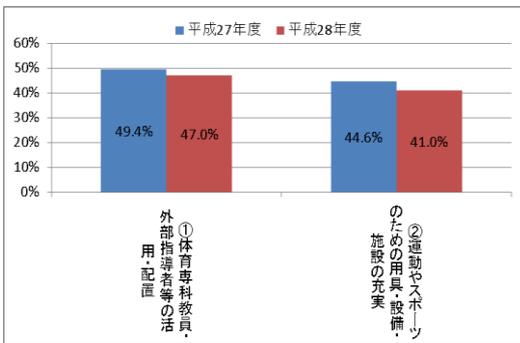
[グラフ 240] 調査結果を受けた取組について



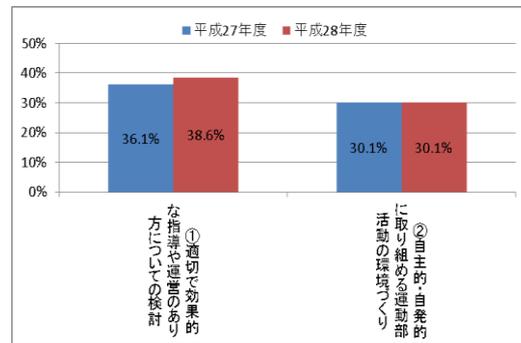
[グラフ 241] 児童生徒の体力向上に向けた取組の内容について



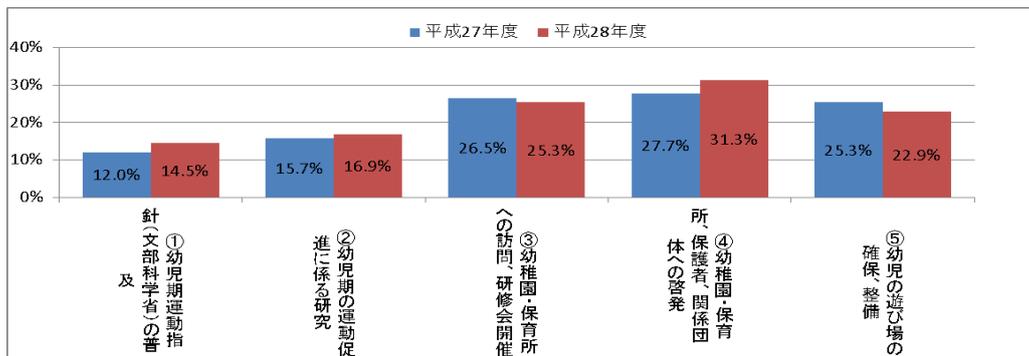
[グラフ 242] 体力向上に係る環境等整備の取組について



[グラフ 243] 運動部活動の充実に向けた取組について



[グラフ 244] 幼児期の運動習慣の形成に向けた取組について



### 具体的な取組として

- 幼児期からの運動遊びの推進。
- 新体力テスト調査結果の分析を業者委託する費の負担や県のフィードバックシステムの活用促進。
- 「走る」「投げる」等の体力・運動能力の計画的継続的な取組。
- 学校に未設定の競技・スポーツの場の提供や地域の指導者の派遣など運動部活動への支援。

## XII 資料



### 1 新体力テスト種目と体力要素及び測定方法

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
① 握力	kg	筋力	左右握力の平均値。
② 上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数。
③ 長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離。
④ 反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数。
⑤-1 持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m, 女子1000mの走行時間。
⑤-2 20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数。
⑥ 50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間。
⑦ 立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離。
⑧ ハンドボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ハンドボール2号球を遠投した距離。
体力合計点	点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。	
総合評価	5段階	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価。	

※上表は中学校の種目。小学校は、⑤-1持久走はなく、ボール投げは、ソフトボール投げとなっている。

### 2 項目別得点表と総合評価基準表

#### 【小学校】

##### 男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	得点
10	26kg以上	26回以上	49cm以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm以上	40m以上	10
9	23~25	23~25	43~48	46~49	69~79	8.1~8.4	180~191	35~39	9
8	20~22	20~22	38~42	42~45	57~68	8.5~8.8	168~179	30~34	8
7	17~19	18~19	34~37	38~41	45~56	8.9~9.3	156~167	24~29	7
6	14~16	15~17	30~33	34~37	33~44	9.4~9.9	143~155	18~23	6
5	11~13	12~14	27~29	30~33	23~32	10.0~10.6	130~142	13~17	5
4	9~10	9~11	23~26	26~29	15~22	10.7~11.4	117~129	10~12	4
3	7~8	6~8	19~22	22~25	10~14	11.5~12.2	105~116	7~9	3
2	5~6	3~5	15~18	18~21	8~9	12.3~13.0	93~104	5~6	2
1	4kg以下	2回以下	14cm以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm以下	4m以下	1

##### 女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	得点
10	25kg以上	23回以上	52cm以上	47点以上	64回以上	8.3秒以下	181cm以上	25m以上	10
9	22~24	20~22	46~51	43~46	54~63	8.4~8.7	170~180	21~24	9
8	19~21	18~19	41~45	40~42	44~53	8.8~9.1	160~169	17~20	8
7	16~18	16~17	37~40	36~39	35~43	9.2~9.6	147~159	14~16	7
6	13~15	14~15	33~36	32~35	26~34	9.7~10.2	134~146	11~13	6
5	11~12	12~13	29~32	28~31	19~25	10.3~10.9	121~133	8~10	5
4	9~10	9~11	25~28	25~27	14~18	11.0~11.6	109~120	6~7	4
3	7~8	6~8	21~24	21~24	10~13	11.7~12.4	98~108	5	3
2	4~6	3~5	18~20	17~20	8~9	12.5~13.2	85~97	4	2
1	3kg以下	2回以下	17cm以下	16点以下	7回以下	13.3秒以上	84cm以下	3m以下	1

#### 総合評価基準表

段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	段階
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上	A
B	33~38	41~46	46~52	52~58	58~64	63~70	B
C	27~32	34~40	39~45	45~51	50~57	55~62	C
D	22~26	27~33	32~38	38~44	42~49	46~54	D
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下	E

【中学校】

男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	得点
10	56kg以上	35回以上	64cm以上	63点以上	4'59"以下	125回以上	6.6秒以下	265cm以上	37m以上	10
9	51~55	33~34	58~63	60~62	5'00"~5'16"	113~124	6.7~6.8	254~264	34~36	9
8	47~50	30~32	53~57	56~59	5'17"~5'33"	102~112	6.9~7.0	242~253	31~33	8
7	43~46	27~29	49~52	53~55	5'34"~5'55"	90~101	7.1~7.2	230~241	28~30	7
6	38~42	25~26	44~48	49~52	5'56"~6'22"	76~89	7.3~7.5	218~229	25~27	6
5	33~37	22~24	39~43	45~48	6'23"~6'50"	63~75	7.6~7.9	203~217	22~24	5
4	28~32	19~21	33~38	41~44	6'51"~7'30"	51~62	8.0~8.4	188~202	19~21	4
3	23~27	16~18	28~32	37~40	7'31"~8'19"	37~50	8.5~9.0	170~187	16~18	3
2	18~22	13~15	21~27	30~36	8'20"~9'20"	26~36	9.1~9.7	150~169	13~15	2
1	17kg以下	12回以下	20cm以下	29点以下	9'21"以上	25回以下	9.8秒以上	149cm以下	12m以下	1

女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	得点
10	36kg以上	29回以上	63cm以上	53点以上	3'49"以下	88回以上	7.7秒以下	210cm以上	23m以上	10
9	33~35	26~28	58~62	50~52	3'50"~4'02"	76~87	7.8~8.0	200~209	20~22	9
8	30~32	23~25	54~57	48~49	4'03"~4'19"	64~75	8.1~8.3	190~199	18~19	8
7	28~29	20~22	50~53	45~47	4'20"~4'37"	54~63	8.4~8.6	179~189	16~17	7
6	25~27	18~19	45~49	42~44	4'38"~4'56"	44~53	8.7~8.9	168~178	14~15	6
5	23~24	15~17	40~44	39~41	4'57"~5'18"	35~43	9.0~9.3	157~167	12~13	5
4	20~22	13~14	35~39	36~38	5'19"~5'42"	27~34	9.4~9.8	145~156	11	4
3	17~19	11~12	30~34	32~35	5'43"~6'14"	21~26	9.9~10.3	132~144	10	3
2	14~16	8~10	23~29	27~31	6'15"~6'57"	15~20	10.4~11.2	118~131	8~9	2
1	13kg以下	7回以下	22cm以下	26点以下	6'58"以上	14回以下	11.3秒以上	117cm以下	7m以下	1

総合評価基準表

段階	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	段階
A	51以上	57以上	60以上	61以上	63以上	65以上	65以上	65以上	A
B	41~50	47~56	51~59	52~60	53~62	54~64	54~64	54~64	B
C	32~40	37~46	41~50	41~51	42~52	43~53	43~53	43~53	C
D	22~31	27~36	31~40	31~40	31~41	31~42	31~42	31~42	D
E	21以下	26以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	E